

添付資料－2 高浜発電所 第3号機 保全計画（第22保全サイクル）

「1.3 構築物、系統及び機器」に示された発電用原子炉施設に係る点検の実施状況等について、「高浜発電所 第3号機 保全計画（第22保全サイクル）」をもとに、点検及び試験の項目、点検頻度等を示す。

高浜発電所 第3号機  
保全計画  
(第22保全サイクル)

## 保守管理の実施に関する計画

## 目 次

1. 保守管理の実施に関する計画の始期（施設定期検査の開始する日をいう。） 及び期間	1
2. 発電用原子炉施設の保安のための点検、検査（定期事業者検査を含む。） 及び補修等の方法、実施頻度及び時期	1
3. 発電用原子炉施設の保安のための点検等を実施する際に行う保安のための 措置	2
4. 特別な保全計画	2
5. 保全に関する実施体制	2

別紙：点検計画（第2.2保全サイクル）

参考資料－1：計画期間中における点検の実施状況等

別紙－1：クラス1機器供用期間中検査10年計画

別紙－2：クラス2機器供用期間中検査10年計画

別紙－3：クラス3機器供用期間中検査10年計画

別紙－4：クラス1機器Ni基合金使用部位特別検査3年計画

別紙－5：クラス2管（原子炉格納容器内）特別検査10年計画

別紙－6：原子炉格納容器供用期間中検査10年計画

別紙－7：重大事故クラス2機器供用期間中検査10年計画

参考資料－2：長期保守管理方針実施状況総括表

## 1. 保守管理の実施に関する計画の始期（施設定期検査の開始する日をいう。）及び期間

本保全計画の適用期間は、第22回施設定期検査開始日から第23回施設定期検査開始日の前日までの期間（第22回施設定期検査終了日以降13ヶ月までの間※）とし、以降、この期間を第22保全サイクルという。

ただし、この期間内に第23回施設定期検査を開始した場合には、その前日までの期間とする。

※：第22回施設定期検査終了日以降13ヶ月までの間を『実運転期間』という。

## 2. 発電用原子炉施設の保安のための点検、検査（定期事業者検査を含む。）及び補修等の方法、実施頻度及び時期

### （1）点検計画

施設定期検査中及びプラント運転中の点検について、あらかじめ保全方式を設定し、点検の方法並びにそれらの実施頻度及び時期を定めた点検計画を「高浜発電所 保修業務所則（平成5高原保所則 第2号）」に基づき策定した「保全指針」に従い策定した。

また、土木建築に関する設備の点検計画については、「高浜発電所 土木建築業務所則（平成19高原土所則 第1号）」に従い策定した。

点検計画のうち、定期事業者検査対象機器等に係る主要な点検の計画に基づく点検計画を別紙に記載する。

附帯設備も含めた各機器の詳細な点検計画は、「保全指針」に規定している。

点検計画を策定又は変更するにあたっては、保全活動から得られた情報等から、保全の有効性を評価し、保全が有効に機能していることを確認するとともに、継続的な改善につなげている。なお、保全の有効性評価は、以下の情報を適切に組み合わせて行った。

- ・保全活動管理指標の監視結果
- ・保全データの推移及び経年劣化の長期的な傾向監視の実績
- ・トラブルなど運転経験
- ・定期安全レビュー結果
- ・他プラントのトラブル及び経年劣化傾向に係るデータ
- ・リスク情報、科学的知見

### （2）補修、取替え及び改造計画

#### a. 1次系強加工曲げ配管取替工事

##### ○工事概要

1次系配管の信頼性向上の観点から、配管製作時の強加工により形成された硬化層を有する曲げ配管について、硬化層が形成されていない曲げ配管に取り替える。

また、配管改造に併せて、当該配管に接続する主要弁についても最新プラント設計に基づく強度上の応力緩和の観点より改造を実施し、1次系配管の信頼性確保に万全を期す。

##### ○予定時期

第22回施設定期検査期間中

b. 1次系試料採取系統配管取替工事

○工事概要

大飯3号機原子炉格納容器内の漏えい事象（H17.3）に鑑み、1次系試料採取系統の小口径配管の接続部について、信頼性向上の観点より、カップリング溶接式継手から、突合せ溶接式継手の配管に取り替える。

○予定時期

第2回施設定期検査期間中

c. 蒸気発生器伝熱管補修工事：届出

（蒸気発生器伝熱管に有意な信号指示が認められた場合に工事計画届出予定）

○工事概要

蒸気発生器伝熱管の渦流探傷検査の結果、有意な信号指示が認められた場合に、蒸気発生器の健全性を確保するため、メカニカルプラグにて施栓を行う。

○予定時期

第2回施設定期検査期間中

3. 発電用原子炉施設の保安のための点検等を実施する際に行う保安の確保のための措置

施設定期検査停止時における保安規定の運転上の制限を遵守するための計画は、別図のとおりである。また、定期事業者検査以外の安全上重要な保守点検活動並びに留意事項等については、特になし。

4. 特別な保全計画

なし

5. 保全に関する実施体制

第2回保全サイクルにおける保全については、高浜発電所原子炉施設保安規定第4条（保安に関する組織）、第5条（保安に関する職務）に基づく事業者管理体制により実施する。

また、第2回保全サイクルの保全の実施にあたり、協力会社に役務を調達する場合には、当該点検及び工事に関する作業経験等の技術的要件（力量）も考慮の上、第120条（保守管理計画）に基づき調達要求等を定める「原子力部門における調達管理通達（平成27調原通達 第1号）」の規定に従い調達する。

なお、第2回保全サイクルにおいて、協力会社に役務を調達する予定の主要な点検工事等を以下に示す。

- ・ 原子炉容器他主要設備定期点検工事
- ・ 発電機他主要電気設備定期点検工事
- ・ 蒸気発生器細管検査他付帯工事
- ・ タービン主機他一般設備定期点検工事
- ・ 1次系大型モータ他定期点検工事
- ・ 1次系強加工曲げ配管取替工事
- ・ 1次系試料採取系統配管取替工事

別紙

点 檢 計 画  
(第22保全サイクル)

## 点検計画の記載について

1. 点検計画については以下の方針に従い記載している。

### (1) 記載している設備について

点検計画には発電所設備の主要機器として、以下設備を対象に記載している。

①核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律第43条の3の14第1項に規定する技術基準が適用される設備

a.定期事業者検査の対象となる設備

b.実用発電用原子炉の設置、運転等に関する規則別表第2において、工事計画書に記載が要求されている設備

なお、工事計画書において仕様が記載されていない設備については、日常の管理の中で健全性が確認でき、かつ、取替が可能な下記のものについて除外する。

(a)防護具、現地操作時に用いる工具類

(b)一般消耗品（電池類他）

(c)一般産業品（可搬型照明、電話・ファクシミリ他）

②保全の重要度が高い設備

保全重要度が高い設備とは、以下の設備を指す。

a.安全機能の重要度が高い設備

b.供給信頼性重要度が高い設備

c.リスク重要度が高い設備

なお、アクシデントマネジメント（AM）対応設備であることにより、保全の重要度を「高」とした設備については、点検計画において「AM（対応するアクシデントマネジメント名）機器」として明示している。

### (2) 記載している点検について

点検計画には上記設備の主要な点検として、以下を記載している。

- ・定期事業者検査に係る点検
- ・施設定期検査の都度性能維持のための措置を伴う点検
- ・施設定期検査対象機器に係る点検のうち、定期事業者検査に係る点検の実施頻度より短い実施頻度で行う性能維持のための措置を伴う点検
- ・記載対象設備において、上記に該当する点検が無い設備については主要な点検

上記以外の点検（主要機器の上記条件以外の点検や附帯設備<sup>※1</sup>の点検等）については、「高浜発電所 保修業務所則（平成5高原保所則 第2号）」に基づき策定した「保全指針」及び「高浜発電所 土木建築業務所則（平成19高原土所則 第1号）」に定めている。

※1：附帯設備の例

〔潤滑油、潤滑水、シール水、冷却設備、電源、制御回路、オリフ  
　　イス、レデューサ、フローグラス 等〕

### (3) 保全の重要度について

「グレード分け通達(平成18原品証通達第2号)」等の考え方従い、「高」又は「低」のいずれかで表記している。

なお、重要度「高」及び定期事業者検査対象の設備については、保全方式として予防保全(時間基準保全、状態基準保全)を選定し、事後保全は選定していない。

### (4) 保全方式について

保全方式について以下のとおり記載している。

- ・ 時間基準保全を採用しているもの：点検頻度
- ・ 状態基準保全を採用しているもの：CBM
- ・ 事後保全を採用しているもの：BM

### (5) 点検頻度について

次の整理により「F」：保全サイクル、「M」：月、「Y」：年で表記している。

- ・ 性能維持のための措置を伴う点検及びそれに伴い実施する点検については、「M」又は「Y」により表記している。なお、記載した頻度のうち「M」は、運転期間(総合負荷性能検査～解列)に対応した値を示している。  
また、複数の機器や複数の点検タスクをまとめて記載した項目については、その点検頻度の最短及び最長のものを記載している。
  - ・ 供用期間中検査のように年度管理するものについては、「Y」により表記している。
  - ・ 機器の分解点検時期に合わせて実施する機能・性能試験については、「B」により表記している。また、その他、性能維持のための措置を伴わない点検のうち、分解・開放点検等の性能維持のための措置を伴う点検と合わせて実施するものについても「B」※2と表記している。なお、回転機器(ポンプ、ファン等)等、本体と駆動部で構成される機器は、一方が分解点検を実施した場合においても、その後の機能・性能試験で本体と駆動部の機能・性能を確認する。
  - ・ これ以外で、性能維持のための措置を伴わない点検については、「F」※2により表記している。また、性能維持のための措置を伴わない点検であっても、当該点検が、プラント運転期間中の発電用原子炉施設の保安の確保に支障がなく、年度管理するものについては、「Y」により表記している。
  - ・ このほか肉厚管理指針に従い管理する肉厚測定は、検査箇所ごとの管理となるため、本表では“肉厚管理指針による”と表記している。
  - ・ 定期的な頻度をもたずに実施する点検については、「X」により表記している。
- ※2：「B」「F」により表記しているものは、基本的に性能維持のための措置を予定していない点検であり、劣化進展がごく軽微なため、分解・開放点検やプラント施設定期検査停止時期に合わせた実施管理が適しているものを対象にしている。

(6) 点検時期について

- ・時間基準保全の点検については、“施設定検起動後”、“プラント運転中”の表現により、備考欄に実施時期を記載している。なお、これらの記載のないものについては、施設定検停止中に実施することとしている。
- ・プラント停止（施設定期検査）に先立ち、プラント運転中に実施する定期的な点検を「先行実施」とし、その対象設備を備考欄に明記し、区別する。

(7) 状態監視方法の記載について

- ・保全方式として状態基準保全を用いる機器については、経年劣化事象等による劣化の有無・劣化の傾向を監視する方法（状態監視技術、定例試験、巡視点検等）及びその頻度を備考欄に記載している。
- ・保全方式として時間基準保全を採用している機器については、保全をより充実する観点で採用している状態監視技術について方法・頻度を備考欄に記載している。

## 目 次

機器又は系統名	ページ
原子炉本体	1/35
[炉心]	
[原子炉容器]	
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設	1/35
[燃料取扱設備]	
[使用済燃料貯蔵設備]	
[使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備]	
[燃料取換用水設備]	
原子炉冷却系統施設	3/35
[一次冷却材の循環設備]	
[主蒸気・主給水設備]	
[余熱除去設備]	
[非常用炉心冷却設備]	
[化学体積制御設備]	
[蒸気タービンの附属設備]	
[原子炉補機冷却設備]	
[原子炉補機冷却海水設備]	
[原子炉格納容器内的一次冷却材の漏えいを監視する装置]	
計測制御系統施設	12/35
[制御材]	
[制御棒駆動装置]	
[工学的安全施設等の作動信号]	
[ほう酸注入機能を有する設備]	
[ほう素再生設備]	
[制御用空気設備]	
[その他設備]	
放射性廃棄物の廃棄施設	16/35
[気体、液体又は固体廃棄物処理設備]	
[原子炉格納容器本体外の廃棄物貯蔵設備又は廃棄物処理設備からの液体状の放射性廃棄物の漏えいの検出装置又は自動警報装置]	
放射線管理施設	18/35
[放射線管理用計測装置]	
[生体遮蔽装置]	
[換気設備]	
[その他設備]	
原子炉格納施設	23/35
[原子炉格納容器]	
[圧力低減設備その他の安全設備]	
原子力設備	27/35
[その他設備]	

機器又は系統名	ページ
原子力設備・タービン設備	28/35
[その他設備]	
蒸気タービン	28/35
[車室、円板、隔板、噴口、翼、車軸]	
[調速装置及び非常調速装置並びに調速装置で制御される主要弁]	
[復水器]	
[蒸気タービンに附属する熱交換器]	
[蒸気タービンに附属する給水ポンプ及び貯水設備並びに給水処理設備]	
[蒸気タービンに附属する管等]	
[その他設備]	
補助ボイラー	32/35
その他発電用原子炉の附属施設	33/35
[浸水防護施設]	
[常用電源設備]	
[火災防護施設]	
[非常用発電装置]	
[その他の電源装置]	
土木建築設備	35/35
敷地内土木構造物	35/35
プラント総合	35/35
非常用取水設備	35/35
[取水設備]	
補機駆動用燃料設備	35/35
[燃料貯蔵設備]	

## 1. 点検計画

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度 又は類型	保全方法	検査名	備考
原子炉本体 【炉心】	照射済燃料集合体 照射済燃料集合体(取出燃料) 燃料集合体 内核物 (1) 制御棒クラスター (2) バーナブルボイズン (3) プラギングデバイス (4) 2次中性子遮蔽	※ 1式 157体 ※ 1式	1.外観点検 1.外観点検(炉内配設) 1.外観点検(炉内配設)	高 高 高	I/F I/F I/F	燃料集合体外観検査 燃料集合体炉内観察検査 燃料集合体炉内観察検査
原子炉本体のうち炉心		1.機能・性能試験	高	I/F	原子炉停止余裕検査 物理検査	※ :炉心設計による ※ :炉心設計による ※ :炉心設計による
原子炉本体 【原子炉容器】	前部構クラスター冷却管支持ピン	104本	1.開放点検	高	13M	
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 【燃料取扱設備】	燃料移送装置	1式	1.外観点検 1.機能・性能試験(リフレーム) 1.機能・性能試験	高 高 高	3F I/F I/F	構造健全性検査 燃料取扱設備機能検査 燃料取扱設備機能検査(動作・インター ロック試験等)
燃料取替クレーン		2.分解点検地	高	39M~195M		
		1.機能・性能試験	高	I/F	燃料取扱装置機能検査 燃料取扱設備検査(動作・インター ロック試験等)	
		2.分解点検地	高	39M~195M		
		1.機能・性能試験	高	I/F	燃料取扱装置機能検査 1次系換気空調設備機能検査 燃料取扱設備検査(動作・インター ロック試験等)	
東川済燃料ビットクレーン		2.分解点検地	高	12M~195M		
		1.機能・性能試験	高	I/F	燃料取扱設備機能検査 燃料取扱設備検査(動作・インター ロック試験等)	
新燃料エレベータ		2.分解点検地	高	39M~195M		
		1.機能・性能試験	高	I/F	燃料取扱設備機能検査 燃料取扱設備検査(動作・インター ロック試験等)	
燃料取扱建替クレーン		2.分解点検(炉内点検)	高	I/F	燃料取扱設備機能検査 燃料取扱設備検査(動作・インター ロック試験等)	先行実施
燃料取扱工具	1式	1.外観点検 1.機能・性能試験	高 高	I/F X※	燃料取扱設備機能検査 燃料取扱設備機能検査(動作・インター ロック試験等)	先行実施
ワラン・ブルトニカム混合液化物新燃料取扱 装置	1台	2.外観点検	高	I/F	燃料取扱設備機能検査 燃料取扱設備検査(動作・インター ロック試験等)	※ MOX新燃料受入時のみ実施 プラント運転中又は施設定期検査中に
燃料保管ラック		1.外観点検	高	I/F	燃料取扱設備機能検査 燃料取扱設備検査(動作・インター ロック試験等)	
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設	「燃料取 1式 及設備」その他機器	1.分解点検地	高・低	13M~91M		一部BMあり 一部プラン遮蔽時に設置
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 【使用済燃料貯蔵設備】	炉内監視計器 水位監視計器 温度監視計器 1次系計測制御装置	2個 2個 1式	1.特性能試験 1.特性能試験 1.特性能試験	0.5 0.5 0.5	13M 13M 13M	プラント状態監視機能検査 計測制御系監視機能検査 計測制御系監視機能検査
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設「使用済 燃料計量設備」その他機器						一部2回施設定期検査時に設置

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方法 又は頻度	検査名	備考
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 〔使用済燃料貯蔵槽冷却汎化設備〕	可搬式代替低圧注水ポンプ・電動機 消防ポンプ	3台	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (ポンプ) 1. 機能・性能試験 2. 外観・機能点検 1. 機能・性能試験 2. 分解点検	Y 6Y Y 6M Y 6Y 10Y	可搬型重大事故等対処設備機能検査 可搬型重大事故等対処設備機能検査 可搬型重大事故等対処設備機能検査 可搬型重大事故等対処設備機能検査 可搬型重大事故等対処設備機能検査 可搬型重大事故等対処設備機能検査 可搬型重大事故等対処設備機能検査	( ) 内は適用する 設備診断技術 プラント運転中又は施設定期検査中に 2回施設定期検査時に設置 2回施設定期検査より追加 プラント運転中又は施設定期検査中に 2回施設定期検査時に設置 2回施設定期検査より追加 プラント運転中又は施設定期検査中に 2回施設定期検査時に設置 2回施設定期検査より追加
大容量ポンプ (R&K社製)	3台	1. 機能・性能試験 2. 分解点検	Y 10Y	可搬型重大事故等対処設備機能検査	21回施設定期検査より追加	
使用済燃料ビット冷却装置		1. 機能・性能試験 (ポンプ、 電動機含む)	低	使用済燃料冷却装置冷却系機能検査	21回施設定期検査より追加	
A使用済燃料ビットポンプ・電動機		1. 分解点検 (ポンプ) 1. 分解点検 (電動機)	低 CBM	先行実施 (振動診断 : 3M)		
B使用済燃料ビットポンプ・電動機		1. 分解点検 (ポンプ) 2. 簡易点検 (潤滑油入替)	低 CBM	先行実施 (振動診断 : 3M)		
A使用済燃料ビットフィルタ		1. 開放点検	低	先行実施 保全の有効性評価No. 17の反映		
B使用済燃料ビットフィルタ		1. 開放点検 (管側) 1. 開放点検 (側面)	低 CBM	先行実施 保全の有効性評価No. 17の反映		
A使用済燃料ビット冷却器		2. 非破壊試験	13M	先行実施 保全の有効性評価No. 17の反映		
B使用済燃料ビット冷却器		1. 開放点検 (管側) 1. 開放点検 (側面)	低 CBM	先行実施 保全の有効性評価No. 17の反映		
C使用済燃料ビット冷却器		2. 非破壊試験	13M	先行実施 保全の有効性評価No. 17の反映		
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設「使用済燃料貯蔵槽冷却汎化設備」その他の弁		1. 分解点検 (ガスケット・バッキン貯蔵)	低 B	1次系熱交換器検査	先行実施 13回施設定期検査時に設置	
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設「使用済燃料貯蔵槽冷却汎化設備」その他の弁		2. 分解点検	130M	1次系弁検査	部先行実施	
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設「使用済燃料貯蔵槽冷却汎化設備」その他の弁		1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (耐性試験)	高・低 B 65M	1次系弁検査	部先行実施 保全の有効性評価No. 17の反映	
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設「使用済燃料貯蔵槽冷却汎化設備」その他の機器		3. 簡易点検	65M	10M~130M	部先行実施 保全の有効性評価No. 17の反映	
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設「使用済燃料貯蔵槽冷却汎化設備」その他の弁		1. 分解点検	低	13M~130M	部先行実施 保全の有効性評価No. 17の反映	
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設「使用済燃料貯蔵槽冷却汎化設備」その他の機器		2. 分解点検 (ポンプ) 3. 簡易点検 (潤滑油入替他)	B※ 52M 13M	1次系ポンプ機能検査	先行実施 (振動診断 : 3M)	
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 〔燃料取扱用水設備〕	A燃料取扱用水ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (ポンプ)	高 B※ 52M	1次系ポンプ機能検査	※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施	
B燃料取扱用水ポンプ・電動機	2. 分解点検 (電動機) 3. 簡易点検 (潤滑油入替)	13M	130M 52M 13M	1次系ポンプ機能検査	先行実施 (振動診断 : 3M) ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施	

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 (○内は適用する 設備箇所)
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 【燃料取扱用海水設備】	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設「燃料取扱用海水設備」その他の弁	1.機能・性能試験 2.分解点検	高	3 1次系弁検査 1次系弁検査	1次系弁検査 1次系弁検査	
	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設「燃料取扱用海水設備」その他の弁駆動部	1.機能・性能試験 2.分解点検	高	130M 3 1次系弁検査	1次系弁検査	
	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設「燃料取扱用海水設備」その他の機器	1.分解点検 1.分解点検 1.分解点検 1.分解点検	高 136W 高 10M~130M 低	136W 10M~130M 10M~130M 13W	部先行実施 保全の効率性評価No.7の反映	一部BMあり 一部先行実施
貯音室冷却系装置設置 【一次冷却材の循環設備】	A蒸気発生器 B蒸気発生器	伝熱管 3,274本	1.分解点検 2.開放点検 3.簡易点検(スラッジランシング) 4.簡易点検(ガスケット取替 他)	高 13W 13W 13W 13W	蒸気発生器伝熱管体積検査	
	A蒸気発生器給水入口管台 B蒸気発生器	1箇所 伝熱管 3,248本	1.非破壊試験 2.開放点検 3.簡易点検(スラッジランシング) 4.簡易点検(ガスケット取替 他)	高 10V 13M 13W 13W	蒸気発生器伝熱管体積検査	
	B蒸気発生器給水入口管台 C蒸気発生器	1箇所 伝熱管 3,263本	1.非破壊試験 2.開放点検 3.簡易点検(スラッジランシング) 4.簡易点検(ガスケット取替 他)	高 10V 13M 13W 13W	蒸気発生器伝熱管体積検査	
C蒸気発生器給水入口管台 加压器安全弁	1箇所 3V-RC-055 3V-RC-056 3V-RC-057	1.機能・性能試験 2.漏えい試験 3.分解点検	高 1F 3 13M	加压器安全弁機能検査 加压器安全弁漏えい検査 加压器安全弁分解検査	加压器安全弁機能検査	
加压器逃がし弁	3-PCV-454C	1.機能・性能試験 2.漏えい試験 3.分解点検	高 1F 1F 13M	加压器逃がし弁機能検査 加压器逃がし弁漏えい検査 加压器逃がし弁分解検査	加压器逃がし弁機能検査	
加压器逃がし弁駆動部	3-PCV-454C	1.分解点検 2.簡易点検(特性試験)	高 13M	1F 13M	加压器逃がし弁機能検査	
加压器逃がし弁	3-PCV-455A	1.機能・性能試験 2.漏えい試験 3.分解点検	高 1F 1F 13M	加压器逃がし弁機能検査 加压器逃がし弁漏えい検査 加压器逃がし弁分解検査	加压器逃がし弁機能検査	
加压器逃がし弁駆動部	3-PCV-455A	1.分解点検 2.簡易点検(特性試験) 3.分解点検	高 13M 13M 13M	1F 26M 1F 26M 13W	加压器逃がし弁機能検査 加压器逃がし弁漏えい検査 加压器逃がし弁分解検査	
加压器逃がし弁	3-PCV-455A	1.機能・性能試験 2.漏えい試験 3.分解点検	高 1F 1F 13M	1F 1F 13M	加压器逃がし弁機能検査 加压器逃がし弁漏えい検査 加压器逃がし弁分解検査	
加压器逃がし弁駆動部	3-PCV-455A	1.分解点検 2.簡易点検(特性試験)	高 13M	13M	加压器逃がし弁機能検査	
加压器逃がし弁	3-PCV-455A	1.機能・性能試験 2.漏えい試験 3.分解点検	高 1F 1F 13M	1F 1F 13M	加压器逃がし弁機能検査 加压器逃がし弁漏えい検査 加压器逃がし弁分解検査	
加压器逃がし弁駆動部	3-PCV-455A	1.分解点検 2.簡易点検(特性試験)	高 13M	13M	加压器逃がし弁機能検査	

機器又は系統名 原子炉系装置設 〔一次冷却材の循環設備〕	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	備考	
				度	( ) 内は適用する 設備箇所
加圧器逃がし弁元部	3V-RC-054A	1. 機能・性能試験 (駆動部含 む) 2. 分解点検 (グランドバッキ ン取替) 3. 簡易点検	高 1F 130M	加圧器逃がし弁元部機能検査	
加圧器逃がし弁元部駆動部	3V-RC-054A	1. 分解点検 (駆動部含 む) 2. 分解点検 (グランドバッキ ン取替) 3. 簡易点検	高 1F 130M	加圧器逃がし弁元部機能検査	
加圧器逃がし弁元部	3V-RC-054B	1. 分解点検 (駆動部含 む) 2. 分解点検 (グランドバッキ ン取替) 3. 簡易点検	高 1F 130M	加圧器逃がし弁元部機能検査	
加圧器逃がし弁元部駆動部	3V-RC-054B	1. 分解点検 (駆動部含 む) 2. 分解点検 (グランドバッキ ン取替) 3. 簡易点検	高 1F 130M	加圧器逃がし弁元部機能検査	
加圧器逃がし弁元部駆動部	3V-RC-054C	1. 分解点検 (駆動部含 む) 2. 分解点検 (グランドバッキ ン取替) 3. 簡易点検	高 1F 130M	加圧器逃がし弁元部機能検査	
加圧器逃がし弁元部駆動部	3V-RC-054C	1. 分解点検 (駆動部含 む) 2. 分解点検 (ポンプ) 3. 簡易点検 (電動機)	高 1F 130M	加圧器逃がし弁元部機能検査	
Δ 1 次冷却材ポンプ・電動機		1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (ポンプ) 3. 簡易点検 (電動機)	高 1F 130M	1 次冷却材ポンプ・電動機 機能検査	一部随時検査記録後 一部先行実施
B 1 次冷却材ポンプ・電動機		1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (ポンプ) 3. 簡易点検 (電動機)	高 1F 130M	1 次冷却材ポンプ・電動機 機能検査	一部随時検査記録後 一部先行実施
C 1 次冷却材ポンプ・電動機		1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (ポンプ) 3. 簡易点検 (電動機)	高 1F 130M	1 次冷却材ポンプ・電動機 機能検査	一部随時検査記録後 一部先行実施
加圧器		1. 傷陥点検 2. 簡易点検 (マンホールガス ケット溶解)	高 1F 130M	1 次冷却材ポンプ・電動機 機能検査	一部随時検査記録後 一部先行実施
原子炉冷却系装置設〔一次冷却材の循環設 備〕その他の弁	1式	1. 機能・性能試験 2. 分解点検	高 B 26W	1 次冷却材ポンプ・電動機 機能検査	
原子炉冷却系装置設〔一次冷却材の循環設 備〕その他の弁駆動部	1式	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 簡易点検 (特性試験地)	高 B 13W	1 次冷却材ポンプ・電動機 機能検査	
原子炉冷却系装置設〔一次冷却材の循環設 備〕その他の機器	1式	1. 分解点検地	65W～660W 52W～130W	保全の有効性評価No. 2の反映	一部BMあり

機器又は系統名 原子炉冷却系施設 〔主蒸気・主給水設備〕	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度 6級	保全方式 又は頻度 1F B 26M	機会名		備考 ( ) 内は適用する 設備技術)
					主蒸気安全弁機能検査 主蒸気安全弁漏えい検査		
	3V-MS-526A 3V-MS-527A 3V-MS-528A 3V-MS-529A 3V-MS-530A 3V-MS-531A 3V-MS-532A 3V-MS-526C 3V-MS-527C 3V-MS-528C 3V-MS-529C	1.機能・性能試験 2.漏えい試験 3.分解点検					
	3V-MS-526B 3V-MS-527B 3V-MS-528B 3V-MS-529B 3V-MS-530B 3V-MS-531B 3V-MS-532B 3V-MS-530C 3V-MS-531C 3V-MS-532C 3-PCV-3610 3-PCV-3620 3-PCV-3630	1.機能・性能試験 2.漏えい試験 3.分解点検					
主蒸気逃がし弁	3-PCV-3610 3-PCV-3620 3-PCV-3630	1.機能・性能試験(駆動部含む) 2.漏えい試験 3.分解点検			1F B 13M	主蒸気逃がし弁機能検査 最終ヒートシングル熱輸送設備作動検査 主蒸気逃がし弁漏えい検査	最終ヒートシングル熱輸送設備作動検査 は21回施設定期検査より追加
主蒸気逃がし弁駆動部	3-PCV-3610 3-PCV-3620 3-PCV-3630	1.分解点検 2.簡易点検(特性試験)			13M		
主蒸気隔離弁	3V-MS-533A 3V-MS-533B 3V-MS-533C	1.機能・性能試験(駆動部含む) 2.分解点検			1F B 13M	主蒸気隔離弁機能検査	
主蒸気隔離弁駆動部	3V-MS-533A 3V-MS-533B 3V-MS-533C	1.分解点検 2.分解点検			13M		
原子炉冷却系施設「主蒸気・主給水設備」 その他の弁	3V-MS-533A 3V-MS-533B 3V-MS-533C	1.分解点検 2.分解点検			13M		
原子炉冷却系施設「主蒸気・主給水設備」 その他の弁	1式	3.簡易点検グランンドハッキン 取替			65M		
原子炉冷却系施設「主蒸気・主給水設備」 その他の弁駆動部	1式	1.機能・性能試験 2.分解点検 3.簡易点検(特性試験)			1F B 32M~156M 20M~52M	2次系弁検査 2次系弁検査	
原子炉冷却系施設「主蒸気・主給水設備」 その他の機器	1式	1.分解点検地 1.分解点検地			13M~260M 130M~130M	13M~260M 130M~130M	供合の有効性評価No. 1の反映 一部BMあり

機器又は系統名 原子炉冷却系施設 「余熱除去設備」	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方法 又は軽度	備考
A余熱除去ポンプ・電動機		1.機能・性能試験 2.分解点検 (ポンプ) 2.分解点検 (電動機) 3.簡易点検 (潤滑油入替他)	高 B※ 78M 130M 13M	1次系ポンプ機能検査 非溶出心冷却系ポンプ分解検査 その他原子炉水系ポンプ分解検査 1次系ポンプ機能検査 非溶出心冷却系ポンプ分解検査 その他原子炉水系ポンプ分解検査	( ) 内は適用する 設備技術 (振動診断 : 1M) ※ボンプまたは電動機の分解点検に合 わせて実施 その他原子炉水系ポンプ分解検査は 21回施設定期検査より追加
B余熱除去ポンプ・電動機		1.機能・性能試験 2.分解点検 (ポンプ) 2.分解点検 (電動機) 3.簡易点検 (潤滑油入替他)	高 B※ 78M 130M 13M	1次系ポンプ機能検査 非溶出心冷却系ポンプ分解検査 その他原子炉水系ポンプ分解検査 1次系ポンプ機能検査 非溶出心冷却系ポンプ分解検査 その他原子炉水系ポンプ分解検査	(振動診断 : 1M) ※ボンプまたは電動機の分解点検に合 わせて実施 その他原子炉水系ポンプ分解検査は 21回施設定期検査より追加
A余熱除去冷却器		1.開閉点検 2.半破壊試験	高 B※	130M 130M	1次系熱交換器検査 1次系熱交換器検査
B余熱除去冷却器		1.開閉点検 2.半破壊試験	高 B※	130M 130M	1次系熱交換器検査 1次系熱交換器検査
低圧注入系主要弁	3V-RH-041A	1.分解点検 3V-RH-041B	高 高	130M 130M	非溶出心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉水系主要弁分解検査 1次系熱交換器検査
3 PCV-601	1.分解点検 3 PCV-611	高 高	130M 130M	非溶出心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉水系主要弁分解検査	その他原子炉水系主要弁分解検査 1次系熱交換器検査
3V-SI-193A	1.分解点検 3V-SI-1933	高 B※	130M 130M	非溶出心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉水系主要弁分解検査	その他原子炉水系主要弁分解検査 1次系熱交換器検査
3V-SI-202A	1.分解点検 3V-SI-2023	高 高	130M 130M	非溶出心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉水系主要弁分解検査	その他原子炉水系主要弁分解検査 1次系熱交換器検査
3V-SI-203C	1.分解点検 3V-SI-203A	高 高	130M 130M	非溶出心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉水系主要弁分解検査	その他原子炉水系主要弁分解検査 1次系熱交換器検査
3V-SI-203B	1.分解点検 3V-SI-203C	高 高	130M 130M	非溶出心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉水系主要弁分解検査	その他原子炉水系主要弁分解検査 1次系熱交換器検査
3V-SI-208A	1.分解点検 3V-SI-2083	高 高	130M 130M	非溶出心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉水系主要弁分解検査	その他原子炉水系主要弁分解検査 1次系熱交換器検査
3V-SI-209A	1.分解点検 3V-SI-2093	高 高	130M 130M	非溶出心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉水系主要弁分解検査	その他原子炉水系主要弁分解検査 1次系熱交換器検査
底圧注入系主要弁運動部	1次	1.分解点検	高	156M	

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	検査名	備考
原子炉冷却系系統施設 「余熱除去設備」	原子炉冷却系系統施設「余熱除去設備」その他 「余熱除去設備」	1.機能・性能試験 2.分解点検 3.簡易点検(グランドベッキン 取替)	B B B	1次系弁検査 1次系安全弁検査 65M	1次系弁検査 1次系弁検査	( ) 内は適用する 設備技術
原子炉冷却系系統施設「余熱除去設備」その他 の充電動力部	1式	1.機能・性能試験 2.分解点検	B	52M~130M 65M	1次系弁検査	
原子炉冷却系系統施設「余熱除去設備」その他 の充電動力部	1式	3.簡易点検(特性試験)	B	13M~52M 130M~260M	1次系弁検査	保全の有効性評価No.2の反映
原子炉冷却系系統施設「余熱除去設備」その他 機器	1式	1.分解点検他 1.分解点検地 1.機能・性能試験(ポンプ、 往復機、弁、駆動油等合 む)	B B B	13M~156M 11F	非常用炉心冷却系機能検査	12回施設定期検査時に設置
原子炉冷却系系統施設「余熱除去設備」機器 その他AM(代替浮子循環)機器 高圧及び低圧注入系 「余熱除去設備(低圧注入機器)を含む」 「余熱除去設備(低圧注入機器)を含む」	1式	2.機能・性能試験(状態監視 合む)	M	逆転用の主要機器機能検査	プラント運転中 ・A、B、C充てん／高圧注入ポンプ ・A、B、C充てん／高圧注入ポンプ	
原子炉冷却系系統施設 「非常用炉心冷却系設備」	1式	1.機能・性能試験	B	1F	その他原子炉水系機能検査	【対象設備】 ・A高圧注入系 ・B高圧注入系(自己冷却) ・C高圧注入系(海水による電動機冷却) ・A低圧注入系 ・B低圧注入系(海水による電動機冷却) 21回施設定期検査より追加
高圧注入系主要弁	3-LCV-121D 3-LCV-121E 3V-SI-023A 3V-SI-023B 3V-SI-042A 3V-SI-042B 3V-SI-099A 3V-SI-099B 3V-SI-099C 3V-SI-018A 3V-SI-048B 3V-SI-048C 高圧注入系主要弁	1.分解点検 1.分解点検 1.分解点検 1.分解点検 1.分解点検 1.分解点検 1.分解点検 1.分解点検 1.分解点検 1.分解点検 1.分解点検 1.分解点検	B B B B B B B B B B B B	130M 130M 130M 130M 130M 130M 130M 130M 130M 130M 130M 130M	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 非常用炉心冷却系主要弁分解検査	その他原子炉水系主要弁分解検査 その他原子炉水系主要弁分解検査 その他原子炉水系主要弁分解検査 その他原子炉水系主要弁分解検査 その他原子炉水系主要弁分解検査 その他原子炉水系主要弁分解検査 その他原子炉水系主要弁分解検査 その他原子炉水系主要弁分解検査 その他原子炉水系主要弁分解検査 その他原子炉水系主要弁分解検査 その他原子炉水系主要弁分解検査 その他原子炉水系主要弁分解検査 【対象設備】 ・A高圧注入系 ・B高圧注入系(自己冷却) ・C高圧注入系(海水による電動機冷却) 21回施設定期検査より追加

機器又は系統名 「非常用心冷却設備」	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式 又は頻度	備考	
					( ) 内に記載する 設備診断技術	
原子炉冷却系施設	常圧注入系 常圧注入系主要弁	1.機能・性能試験 (弁、弁駆動部含む) 1.分解点検	65 高	非常用が心冷却系機能検査 その他原子炉水系主要弁分解検査	その他原子炉水系主要弁分解検査は21回施設定期検査より追加	
	3V-SI-132A	1.分解点検	65 高	非常用が心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉水系主要弁分解検査	その他原子炉水系主要弁分解検査は21回施設定期検査より追加	
	3V-SI-132B	1.分解点検	65 高	非常用が心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉水系主要弁分解検査	その他原子炉水系主要弁分解検査は21回施設定期検査より追加	
	3V-SI-132C	1.分解点検	65 高	非常用が心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉水系主要弁分解検査	その他原子炉水系主要弁分解検査は21回施設定期検査より追加	
	3V-SI-134A	1.分解点検	65 高	非常用が心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉水系主要弁分解検査	その他原子炉水系主要弁分解検査は21回施設定期検査より追加	
	3V-SI-134B	1.分解点検	65 高	非常用が心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉水系主要弁分解検査	その他原子炉水系主要弁分解検査は21回施設定期検査より追加	
	3V-SI-134C	1.分解点検	65 高	非常用が心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉水系主要弁分解検査	その他原子炉水系主要弁分解検査は21回施設定期検査より追加	
	3V-SI-136A	1.分解点検	65 高	非常用が心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉水系主要弁分解検査	その他原子炉水系主要弁分解検査は21回施設定期検査より追加	
	3V-SI-136B	1.分解点検	65 高	非常用が心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉水系主要弁分解検査	その他原子炉水系主要弁分解検査は21回施設定期検査より追加	
	3V-SI-136C	1.分解点検	65 高	非常用が心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉水系主要弁分解検査	その他原子炉水系主要弁分解検査は21回施設定期検査より追加	
常圧注入系主要弁駆動部	1式	1.分解点検	65 高	1. 分解点検 1.開閉点検 1.開閉点検 1.開閉点検 1.外観点検 1.外観点検 1.外観点検	21回施設定期検査より追加	
A常圧タンク		1.開閉点検	65 高			
B常圧タンク		1.開閉点検	65 高			
C常圧タンク		1.開閉点検	65 高			
ほう酸注入タンク		1.開閉点検	65 高			
燃料取扱い水タンク		1.開閉点検	65 高			
格納容器貯蔵環境サンプル		1.外観点検	65 高			
格納容器貯蔵環境サンプルスクリーン		1.外観点検	65 高			
燃料取扱い水タンク補給用移送ポンプ・空気機		1.機能・性能試験 2.分解点検 (ポンプ)	65 130M	1.機能・性能試験 (ポンプ)、 2.分解点検 (電動機)	21回施設定期検査時に設置	
		3.簡易点検 (潤滑油入替他)	78M 1F	3.簡易点検 (潤滑油入替他)	21回施設定期検査時に設置	
恒温水槽底圧注水系		1.機能・性能試験 (ポンプ、 電動機含む)	65 1F	原子炉格納容器安全系機能検査 原子炉格納容器安全系機能検査	21回施設定期検査時に設置	
恒温水槽底圧注水ポンプ・空気機		1.機能・性能試験 2.分解点検 (ポンプ)	65 130M	1.機能・性能試験 (ポンプ)、 2.分解点検 (電動機)	21回施設定期検査時に設置	
		3.簡易点検 (潤滑油入替他)	78M 1F	3.簡易点検 (潤滑油入替他)	21回施設定期検査時に設置	

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	検査名	備考
原子炉冷却系系統施設 〔非常用ポンプ設備〕	原子炉冷却系系統施設〔非常用ポンプ設備〕その他の弁	1.機能・性能試験 2.分解点検	高・低	B 32M~260M 1次系安全弁検査 1次系弁検査 1次系逆止弁板査	1次系弁検査 1次系安全弁検査 1次系弁検査	( ) 内は適用する 設備診断技術
原子炉冷却系系統施設〔非常用ポンプ設備〕	原子炉冷却系系統施設〔非常用ポンプ設備〕その他の弁 運動部	1.機能・性能試験 2.分解点検 3.簡易点検(特性試験他)	高 52M~56M 13M~10M	B 26M~260M	1次系弁検査	
原子炉冷却系系統施設〔非常用ポンプ設備〕	原子炉冷却系系統施設〔非常用ポンプ設備〕その他の機器	1.分解点検地 1.分解点検地	高 低	13M~10M 13M~260M	1次系弁検査	保全の有効性評価No.2の反映
原子炉冷却系系統施設 〔化学体積制御設備〕	化学体積制御系 A充てん／高圧注入ポンプ・電動機	1.分解点検(ポンプ) 1.分解点検(電動機) 2.簡易点検(潤滑油入替他)	高 高 高	1F 117M 101M 26M	化学体積制御系機械検査 非溶性中性冷却系ポンプ分解検査 非溶性中性冷却系ポンプ分解検査	施設改定期検後 (振動診断：3M) その他原子炉水系ポンプ分解検査 21回施設定期検査より追加
A充てん／高圧注入ポンプ・電動機	1.分解点検(ポンプ) 2.簡易点検(電動機)	高 高	117M 104M	117M 104M	非溶性中性冷却系ポンプ分解検査 その他原子炉水系ポンプ分解検査	保全の有効性評価No.10の反映
C充てん／高圧注入ポンプ・電動機	1.分解点検(ポンプ) 2.簡易点検(電動機)	高 高	26M 117M 104M	26M 117M 104M	非溶性中性冷却系ポンプ分解検査 その他原子炉水系ポンプ分解検査 21回施設定期検査より追加	保全の有効性評価No.10の反映
体積制御タンク	1.開放点検 1.開放点検 1.開放点検 1.開放点検(管側) 1.開放点検(管側) 2.非破壊試験	高 高 高 高 高 高	130M 130M 130M 130M 130M 130M	130M 130M 130M 130M 130M 130M	1次系熱交換器検査 1次系熱交換器検査 1次系熱交換器検査 1次系熱交換器検査 1次系熱交換器検査 1次系熱交換器検査	保全の有効性評価No.10の反映
冷却材フィルタ A冷却材脱脂器入／フィルタ B省冷却材脱脂器入／フィルタ 非再生冷却器	1.開放点検 1.開放点検 1.開放点検 1.開放点検(管側) 1.開放点検(管側) 2.非破壊試験	高 高 高 高 高 高	130M 130M 130M 130M 130M 130M	130M 130M 130M 130M 130M 130M	1次系熱交換器検査 1次系熱交換器検査 1次系熱交換器検査 1次系熱交換器検査 1次系熱交換器検査 1次系熱交換器検査	21回施設定期検査より追加
その他原子炉水系主要弁	3V-CS-218 3V-CS-219 3V-CS-233 3V-CS-234	1.分解点検 1.分解点検 1.分解点検 1.分解点検	高 高 高 高	130M 130M 130M 130M	1次系弁検査 1次系弁検査 1次系弁検査 1次系弁検査	21回施設定期検査より追加
原子炉冷却系系統施設〔化学体積制御設備〕その他	1式	1.機能・性能試験 2.分解点検 3.簡易点検(特性試験他)	高・低 B B B	13M~65M 13M~260M 1次系弁検査 1次系逆止弁検査 1次系弁検査	1次系弁検査 1次系安全弁検査 1次系弁検査 1次系弁検査	21回施設定期検査より追加
原子炉冷却系系統施設〔化学体積制御設備〕その他	1式	1.機能・性能試験 2.分解点検 3.簡易点検(特性試験他)	高 13M~156M	13M~260M	1次系弁検査 1次系弁検査	21回施設定期検査より追加
原子炉冷却系系統施設〔化学体積制御設備〕その他	1式	1.分解点検地	高 低	13M~23M 13M~23M	1次系弁検査 1次系弁検査	保全の有効性評価No.2の反映
原子炉冷却系系統施設〔化学体積制御設備〕その他	1式	1.分解点検地	高 B B	13M~23M 13M~260M	1次系弁検査 1次系弁検査	保全の有効性評価No.2の反映

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	検査名	備考
原子炉冷却系系統施設 [蒸気タービンの附属設備]	補助給水系	1. 機能・性能試験 (ポンプ、電動機) 2. 簡易点検 (潤滑油入替他)	高	1F 130M 104M 13M	補助給水系機能検査 補助給水系ポンプ分解検査	( ) 内は適用する 設備診断技術
A電動補助給水ポンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ) 2. 簡易点検 (潤滑油入替他)	高	130M 104M 13M			(振動診断 : 1M)
B電動補助給水ポンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ) 2. 簡易点検 (潤滑油入替他)	高	130M 104M 13M			(振動診断 : 1M)
タービン動輪助給水ポンプ	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 簡易点検 (潤滑油入替他)	高	B 52M 13M	2次系ポンプ機能検査 補助給水系ポンプ分解検査	駆動部のタービン含む	
原子炉冷却系統施設[蒸気タービンの附属設備] [その他の弁]	1式	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (グランド入替) 3. 簡易点検 (特に試験)	高	B 52M~130M 2次系弁検査 2次系弁検査		保全の有効性評価No. 6の反映
原子炉冷却系統施設[蒸気タービンの附属設備] [その他の弁・運動部]	1式	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 簡易点検	高	B 52M~156M 13M~52M		
原子炉冷却系統施設[蒸気タービンの附属設備] [他の機器]	1式	1. 分解点検他	高	26M~260M		第2回施設定期検査時に設置
A原子炉補機冷却系	1. 分解点検他 2. 分解点検 (ポンプ・駆動) 3. 簡易点検 (潤滑油入替他)	高	65M~130M 104M 130M	原子炉補機冷却系機能検査 原子炉補機冷却系機能検査	先行実施 (振動診断 : 3M)	
B原子炉補機冷却水ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (ポンプ) 3. 簡易点検 (潤滑油入替他)	高	B※ 26M 104M	1次系ポンプ機能検査	保全の有効性評価No. 11の反映	※ポンプまたは電動機の分解点検に合 わせて実施
C原子炉補機冷却水ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (ポンプ) 3. 簡易点検 (潤滑油入替他)	高	B※ 130M 104M 26M	1次系ポンプ機能検査	保全の有効性評価No. 11の反映	※ポンプまたは電動機の分解点検に合 わせて実施
D原子炉補機冷却水ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (ポンプ) 2. 分解点検 (電動機) 3. 簡易点検 (潤滑油入替他)	高	B※ 130M 104M 26M	1次系ポンプ機能検査	保全の有効性評価No. 11の反映	先行実施 (振動診断 : 3M)
E原子炉補機冷却水ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (ポンプ) 2. 分解点検 (電動機) 3. 簡易点検 (潤滑油入替他)	高	B※ 130M 104M 26M	1次系ポンプ機能検査	保全の有効性評価No. 11の反映	※ポンプまたは電動機の分解点検に合 わせて実施
大容量ポンプ	1. 機能・性能試験 2. 分解点検	高	1Y 10Y	可搬型重大事故等対応設備機能検査 プラント選定定期検査より追加	21回施設定期検査時に設置	

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	検査名	備考
原子炉系給水設備 〔原子炉補機冷却設備〕	A原子炉補機冷却水冷却器	1.開放点検 2.半破裂試験 3.漏えい試験 4.機能・性能試験 5.開放点検	高 13M X※ X※ X※	1次系熱交換器検査 原子炉補機冷却水冷却器部熱管補修工事 原子炉補機冷却水冷却器部熱管補修工事 原子炉補機冷却水冷却器部熱管補修工事	X※ X※ X※ X※	( ) 内は適用する 設備技術基準
B原子炉補機冷却水冷却器		1.開放点検 2.半破裂試験 3.漏えい試験 4.機能・性能試験	高 13M X※ X※	原子炉補機冷却水冷却器部熱管補修工事 原子炉補機冷却水冷却器部熱管補修工事	X※ X※	※：1次系熱交換器検査結果にて有意 な信号指示が認められた場合に実施
C原子炉補機冷却水冷却器		1.開放点検 2.半破裂試験 3.漏えい試験 4.機能・性能試験 5.開放点検	高 13M X※ X※ X※	原子炉補機冷却水冷却器部熱管補修工事 原子炉補機冷却水冷却器部熱管補修工事 原子炉補機冷却水冷却器部熱管補修工事	X※ X※ X※	※：1次系熱交換器検査結果にて有意 な信号指示が認められた場合に実施
D原子炉補機冷却水冷却器		1.開放点検 2.半破裂試験 3.漏えい試験 4.機能・性能試験 5.開放点検	高 13M X※ X※ X※	原子炉補機冷却水冷却器部熱管補修工事 原子炉補機冷却水冷却器部熱管補修工事 原子炉補機冷却水冷却器部熱管補修工事	X※ X※ X※	※：1次系熱交換器検査結果にて有意 な信号指示が認められた場合に実施
原子炉補機冷却水サージタンク 可搬型原子炉補機冷却水循環ポンプ	2台	1.分解点検 1.機能・性能試験	高 高 II	1次系熱交換器検査 原子炉補機冷却水冷却器部熱管補修工事	X※ X※	※：1次系熱交換器検査結果にて有意 な信号指示が認められた場合に実施
原子炉冷却系系統施設「原子炉補機冷却設備」 その他の弁	1式	1.機能・性能試験 2.分解点検	高・低 B	1次系弁検査 1次系弁検査	X※ X※	※：1次系熱交換器検査結果にて有意 な信号指示が認められた場合に実施
原子炉冷却系系統施設「原子炉補機冷却設備」 その他の弁	1式	1.機能・性能試験 2.分解点検 3.簡易点検(特性試験値)	高 B B	1次系弁検査 1次系弁検査 1次系弁検査	X※ X※ X※	※：1次系熱交換器検査結果にて有意 な信号指示が認められた場合に実施
原子炉冷却系系統施設「原子炉補機冷却設備」 その他機器	1式	1.分解点検 1.分解点検 1.分解点検	高 65M～156M 65M	1次系弁検査 1次系弁検査 1次系弁検査	X※ X※ X※	※：1次系熱交換器検査結果にて有意 な信号指示が認められた場合に実施
その他AM(代替補機冷却器、格納容器自然対流冷却)機器	1式	1.分解点検 1.分解点検	高 高	65M～195W 52M～130W	低 低	一部BMあり 一部BMあり
						12回施設定期時に設置

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方法又は頻度	検査名	備考
「原子炉冷却系施設」 「原子炉補機冷却海水設備」	原子炉補機冷却海水系					( ) 内に適用する 設備診断技術)
A海水ポンプ・電動機	原子炉補機冷却海水系	1. 機能・性能試験 (弁、弁駆動部含む)	高	1F B※	原子炉補機冷却系機能検査	先行実施 ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施
		1. 機能・性能試験	高	2次系ポンプ機能検査		先行実施 ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施
		2. 分解点検 (ポンプ)	52W	2次系ポンプ分解検査		先行実施 保全の有効性評価No. 13の反映
		2. 分解点検 (電動機)	104W			先行実施
		3. 簡易点検 (潤滑油入替)	26M			先行実施
B海水ポンプ・電動機	原子炉ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	高	B※	2次系ポンプ機能検査	先行実施 ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施
		2. 分解点検 (ポンプ)	52W	2次系ポンプ分解検査		先行実施 保全の有効性評価No. 13の反映
		2. 分解点検 (電動機)	104W			先行実施
		3. 簡易点検 (潤滑油入替)	26M			先行実施
C海水ポンプ・電動機	原子炉ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	高	B※	2次系ポンプ機能検査	※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施
		2. 分解点検 (ポンプ)	52W	2次系ポンプ分解検査		先行実施 保全の有効性評価No. 13の反映
		2. 分解点検 (電動機)	104W			先行実施
		3. 簡易点検 (潤滑油入替)	26M			先行実施
原子炉冷却系施設	【原子炉補機冷却海水設】1式	1. 分解点検	高	117M	2次系介換検査	※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施
		2. 簡易点検 (弁クリアッシュ)	13M			保全の有効性評価No. 13の反映
原子炉冷却系施設	【原子炉補機冷却海水設】1式	1. 機能・性能試験	高	B		
原子炉冷却系施設	【原子炉補機冷却海水設】1式	2. 分解点検	26M			
原子炉冷却系施設	【原子炉補機冷却海水設】1式	1. 分解点検地	高	13M～195M		保全の有効性評価No. 5、7の反映
原子炉冷却系施設	【原子炉補機冷却海水設】1式	2. 簡易点検地	低	13M～195M		一部BMあり
原子炉冷却系施設	【原子炉補機冷却海水設】1式	1. 分解点検地	高	1F	格納容器サンプル水位上昇率測定装置及び格納容器内底部給排水装置測定装置	※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施
原子炉冷却系施設	【原子炉補機冷却海水設】1式	2. 特性試験	13M		格納容器サンプル水位上昇率測定装置及び格納容器内底部給排水装置測定装置	※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施
計測制御系施設	照射計制御棒クラスター	1. 外観点検	高	1F	制御棒クラスター検査	※：外心設計による
「制御材」	照射計バーナルブルホイズン	1. 外観点検	高	1F	制御棒クラスター検査	※：外心設計による
	照射計フランクテベイス	1. 外観点検	高	1F	制御棒クラスター検査	※：外心設計による
	照射計2次中性子源	1. 外観点検	高	1F	制御棒クラスター検査	※：外心設計による
	制御棒クラスター	1. 機能・性能試験	高	1F	制御棒運動系機能検査	
A制御棒運動装置MGセット (発電機・電動機)	148本	2. 分解点検 (発電機)	78M		制御棒運動系機能検査	(振動診断： 3M) ※発電機または電動機の分解点検に合わせて実施
B制御棒運動装置MGセット (発電機・電動機)	1. 機能・性能試験	高	B※			
	3. 簡易点検 (潤滑油入替)	13M				
	2. 分解点検 (発電機)	78M				
	3. 簡易点検 (潤滑油入替)	13M				

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方法 又は頻度	検査名	備考
計測制御系施設 「工事行為合施設等の作動(信号)」	A TWS 緩和設備	1式	1F	重大事故時安全停止回路機能検査	21回施設定期検査時に行なう 設備診断技術	( ) 内は適用する 設備診断技術
計測制御系施設 「ほう酸注入機能を有する設備」	Aほう酸ポンプ・電動機	1.機能・性能試験 2.分解点検(ポンプ) 3.簡易点検(潤滑油入替他)	B※ 78M 78M	ほう酸ポンプ機能検査 ほう酸ポンプ分解検査	21回施設定期検査により追加 保全の有効性評価No. 6の反映	
Bほう酸ポンプ・電動機	1.機能・性能試験 2.分解点検(ポンプ) 3.簡易点検(潤滑油入替他)	B※ 78M 78M	ほう酸ポンプ機能検査 ほう酸ポンプ分解検査	ボンブまたは電動機の分解点検に合 わせて実施	(振動診断 : 1W) ※ボンブまたは電動機の分解点検に合 わせて実施	
Cほう酸ポンプ・電動機	1.機能・性能試験 2.分解点検(ポンプ) 3.簡易点検(潤滑油入替他)	B※ 78M 78M	ほう酸ポンプ機能検査 ほう酸ポンプ分解検査	ボンブまたは電動機の分解点検に合 わせて実施	(振動診断 : 1W) ※ボンブまたは電動機の分解点検に合 わせて実施	
A 1次系補給水ポンプ・電動機	1.機能・性能試験 2.分解点検(ポンプ) 3.簡易点検(潤滑油入替他)	低	B※ 78M 78M	1次系ポンプ機能検査 ほう酸ポンプ分解検査	ボンブまたは電動機の分解点検に合 わせて実施	(振動診断 : 1W) ※ボンブまたは電動機の分解点検に合 わせて実施
B 1次系補給水ポンプ・電動機	1.機能・性能試験 2.分解点検(電動機) 3.簡易点検(潤滑油入替)	低	B※ 78M 78M	1次系ポンプ機能検査 ほう酸ポンプ分解検査	ボンブまたは電動機の分解点検に合 わせて実施	(振動診断 : 6M (対象 : ボンブ)) ※ボンブまたは電動機の分解点検に合 わせて実施
Aほう酸タンク	1.開閉点検 2.分解点検(潤滑油入替)	B※	CBM	1次系ポンプ機能検査	ボンブまたは電動機の分解点検に合 わせて実施	(振動診断 : 6M (対象 : ボンブ)) ※ボンブまたは電動機の分解点検に合 わせて実施
Bほう酸タンク	1.開閉点検 2.分解点検(潤滑油入替)	B※	195M	1次系ポンプ機能検査	ボンブまたは電動機の分解点検に合 わせて実施	(振動診断 : 6M (対象 : ボンブ)) ※ボンブまたは電動機の分解点検に合 わせて実施
Aほう酸タンクアトモス弁	1.分解点検 1.分解点検	B※ B※	195M	1次系ポンプ機能検査	ボンブまたは電動機の分解点検に合 わせて実施	(振動診断 : 6M (対象 : ボンブ)) ※ボンブまたは電動機の分解点検に合 わせて実施
Aほう酸タンクバキュームリーフ弁	1.分解点検 1.分解点検	B※ B※	130M	1次系ポンプ機能検査	ボンブまたは電動機の分解点検に合 わせて実施	(振動診断 : 6M (対象 : ボンブ)) ※ボンブまたは電動機の分解点検に合 わせて実施
Bほう酸タンクアトモス弁	1.分解点検 1.分解点検	B※ B※	130M	1次系ポンプ機能検査	ボンブまたは電動機の分解点検に合 わせて実施	(振動診断 : 6M (対象 : ボンブ)) ※ボンブまたは電動機の分解点検に合 わせて実施
Bほう酸タンクバキュームリーフ弁	1.分解点検 1.分解点検	B※ B※	130M	1次系ポンプ機能検査	ボンブまたは電動機の分解点検に合 わせて実施	(振動診断 : 6M (対象 : ボンブ)) ※ボンブまたは電動機の分解点検に合 わせて実施
1次系純水タンク	1.分解点検 1.分解点検	低	195M	1次系ポンプ機能検査	ボンブまたは電動機の分解点検に合 わせて実施	(振動診断 : 6M (対象 : ボンブ)) ※ボンブまたは電動機の分解点検に合 わせて実施
1次系純水タンクアトモス弁	1.分解点検 1.分解点検	低	130M	1次系ポンプ機能検査	ボンブまたは電動機の分解点検に合 わせて実施	(振動診断 : 6M (対象 : ボンブ)) ※ボンブまたは電動機の分解点検に合 わせて実施
1次系純水タンクバキュームリーフ弁	1.分解点検 1.分解点検	低	130M	1次系ポンプ機能検査	ボンブまたは電動機の分解点検に合 わせて実施	(振動診断 : 6M (対象 : ボンブ)) ※ボンブまたは電動機の分解点検に合 わせて実施
ほう酸フィルタ	1.機能・性能試験 2.分解点検	高・低	B	1次系ポンプ機能検査 1次系安全弁検査	ボンブまたは電動機の分解点検に合 わせて実施	(振動診断 : 6M (対象 : ボンブ)) ※ボンブまたは電動機の分解点検に合 わせて実施
計測制御系施設「ほう酸注入機能を行する」 「その他」その他の介	1.機能・性能試験 2.分解点検	B B	130M 130M	1次系ポンプ機能検査 1次系安全弁検査	ボンブまたは電動機の分解点検に合 わせて実施	(振動診断 : 6M (対象 : ボンブ)) ※ボンブまたは電動機の分解点検に合 わせて実施
計測制御系施設「ほう酸注入機能を行する」 「その他」その他の介	1.機能・性能試験 2.分解点検	B B	130M 130M	1次系ポンプ機能検査 1次系安全弁検査	ボンブまたは電動機の分解点検に合 わせて実施	(振動診断 : 6M (対象 : ボンブ)) ※ボンブまたは電動機の分解点検に合 わせて実施
計測制御系施設「ほう酸注入機能を行する」 「計測制御系施設」その他機器	1.分解点検 1.分解点検	低	101M~130M	1次系ポンプ機能検査 1次系安全弁検査	一部BMあり 一部先行実施	(振動診断 : 6M (対象 : ボンブ)) ※ボンブまたは電動機の分解点検に合 わせて実施

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方法又は頻度	機器名		備考 (○内は適用する 設備技術支店)
					点検	検査	
計測制御系絶縁装置 〔ほう素再生装置〕	ほう素再生用抽出水冷却器	1. 開放点検(管側) 2. 非破壊検査	高	130W 135W			先行実施
ほう素再生用熱器		1. 開放点検(管側) 2. 非破壊検査	中	130W 135W	1次系統交換器検査		先行実施
ほう素再生用潤滑交換器		1. 開放点検(管側) 2. 非破壊検査	高	130W	1次系統交換器検査		先行実施
計測制御系統施設「ほう素再生装置」その他 1式		1. 開放点検(管側) 2. 非破壊検査	中	130W 135W	1次系統交換器検査		先行実施
計測制御系統施設「ほう素再生装置」その他 のみ		1. 機能・性能試験 2. 分解点検	高・低	130W 130W	1次系統交換器検査 1次系統安全弁検査 1次系統並行弁検査		部先行実施
計測制御系統施設「ほう素再生装置」その他 1式		1. 分解点検 1. 分解点検他	高	104W～130W 104W～156W	1次系統安全弁検査 一部先行実施 一部BMあり		一部先行実施
格納容器外制御用空気压缩機	2台	1. 機能・性能試験(圧縮機、 電動機合計)	高	1P	制御用空気压缩機検査		
A格納容器外制御用空気压缩機・電動機		1. 分解点検(圧縮機) 2. 簡易点検(V-ベルト調整 etc.)	中	26W 26W			(振動解析: 3W(対象: 電動機))
B格納容器外制御用空気压缩機		2. 簡易点検(潤滑油入替他)	中	13W			
B格納容器外制御用空気压缩機・電動機		1. 分解点検(圧縮機) 1. 分解点検(電動機) 2. 簡易点検(V-ベルト調整 etc.)	高	26W CBM 26W			(振動解析: 3W(対象: 電動機))
格納容器内制御用空気压缩機	2台	2. 簡易点検(潤滑油入替他)	中	13W			
A格納容器内制御用空気压缩機・電動機		1. 機能・性能試験(圧縮機、 電動機合計)	高	1P	制御用空気压缩機検査		
B格納容器内制御用空気压缩機		1. 分解点検(圧縮機) 1. 分解点検(電動機) 2. 簡易点検(V-ベルト調整 etc.)	中	26W 78W 26W			(振動解析: 3W(対象: 電動機))
B格納容器内制御用空気压缩機・電動機		2. 簡易点検(潤滑油入替他)	中	13M			
計測制御系統施設「制御用空気装置」その他 1式		1. 分解点検(圧縮機) 1. 分解点検(電動機) 2. 簡易点検(V-ベルト調整 etc.)	中	26W 78W 26W			(振動解析: 3W(対象: 電動機))
計測制御系統施設「制御用空気装置」その他 1式		2. 簡易点検(潤滑油入替他)	中	13M			
計測制御系統施設「制御用空気装置」その他 1式		1. 機能・性能試験 2. 分解点検	高	3 130W～260W	1次系統安全弁検査 1次系統並行弁検査		保全の有効性評価No. 3)反映
計測制御系統施設「制御用空気装置」その他 1式		1. 分解点検	中	156W			
計測制御系統施設「制御用空気装置」その他 1式		1. 分解点検他	高	13M～260W			保全の有効性評価No. 2)反映
機器		1. 分解点検他	低	13M～193W			一部BMあり

機器又は系統名 [計測制御系給施設 「その他設備」]	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度 高・低	保全方式 又は頻度 1F	備考	
					( ) 内に適用する 設備技術)	
1. 原子炉保護系ロジック回路 2. 安全監視系ロジック回路	34回路 26回路	1. 機能・性能試験	高・低	13M	安全保護系設定値確認検査	
1. 原子炉施設体安定定に定める原子炉下ト リップ、工学的安全施設の始動、原子炉格納 容器隔離等を行つたものすべての伝送器、設 定器及び保護機器等	78個 144個 42個	1. 特性試験	高・低	1F	安全保護系設定値確認検査	
(1) 1次冷却材等計測装置 (2) 2次冷却材等計測装置	20個 3. 例 8個	2. 重要な指示計器 3. 例				
事務用監視測定装置 圧力計測装置 水位監視測定装置 流量監視測定装置 温度監視測定装置 蓄熱容器等計測装置	4個 20個 13個 8個	1. 特性試験	高・低	13M	プラント状態監視設備機能検査	一部21回施設定期検査時に設置
計測制御系設置施設 蓄熱容器等計測装置	1台	1. 機能・性能試験	高・低	1F	プラント状態監視設備機能検査	
1. 離心機体制御系 2. 加圧器水位制御系 3. 加圧器正圧水位制御系 4. 熱交換器水位制御系	7台 1式	1. 分解点検 2. 機能・性能試験	高・低	13M	1次系破裂板検査	
1次系及2次系計測制御装置 外接計測装置 中性子観測域計測装置 圧力観測計測装置 炉内計測用ブルチューブ	1式 2台 8台 50本	1. 特性試験 2. 機能・性能試験 3. 簡易点検 (特性試験)	高・低	13M	計測制御系監視機能検査	一部施設定期検査時に設置
安全防護装置 制御構造置換指針装置 1. パーミッシブロジック回路 2. パーミッシブロジック回路	5回路 5回路	1. 機能・性能試験 2. 簡易点検 (内部清掃)	高・低	13M	炉内計測用シングルチューブ体積検査	
3回路 原子炉停止制御回路	1式	1. 特性試験 2. 簡易点検 (内部清掃)	高・低	13M	炉内計測用シングルチューブ体積検査	
1. パーミッシブ回路 2. 免電機トリップによる原子炉、タービン 3. 原子炉トリップによるタービン、発電機 トリップ回路	1式	1. 機能・性能試験	高・低	1F	総合インターロック検査	
可搬型格納容器ガス減圧装置 運動部	1式	1. 機能・性能試験	高・低	1F	原子炉の停止制御回路健全性確認検査	21回施設定期検査時に設置
計測制御系給施設「その他設備」その他の介 1. ターピントリップによる原子炉、タービン 2. 免電機トリップによる原子炉 3. 原子炉トリップによるタービン、発電機 トリップ回路	2台	1. 機能・性能試験	高・低	B	可搬型直大事故等対応設備機能検査	21回施設定期検査より追加
計測制御系給施設「その他設備」その他の介 1. ターピントリップによる原子炉、発電機 トリップ回路	1式	1. 機能・性能試験 2. 分解点検	高・低	78M~260M	1次系安全弁検査 1次系逆止弁検査	
計測制御系給施設「その他設備」その他の介 1. 分解点検地	1式	1. 分解点検地	高・低	13M~203M	1次系弁検査	
計測制御系給施設「その他設備」その他の介 1. 分解点検地	1式	1. 分解点検地	高・低	12M~260M	1次系弁検査	

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方法又は頻度	検査名		備考 ( ) 内は適用する 設備診査技術)
					低	1F	
放出性危険物の発生施設 「火水、液状又は固体危険物処理 設備」	ガス圧縮機	2台	1.機能・性能試験	低	52M	気体送葉物処理系機器検査	(振動診断 : 4M) (振動診断 : 4M)
	Aガスリフレッシュ・電動機		1.分解点検	低	52M	気体送葉物処理系機器検査	
	Bガスリフレッシュ・電動機	2台	1.機能・性能試験	低	1F	気体送葉物処理系機器検査	
	水系連合装置		1.機能・性能試験	低	130M	気体送葉物処理系機器検査	
	A水系連合装置		1.分解点検地	低	130M	気体送葉物処理系機器検査	
	B水系連合装置		1.分解点検地	低	130M	1次系送葉板検査	
	1次系吸込板	12台	1.機能・性能試験	低	130M	1次系送葉板検査	先行実施
	ほう酸可逆装置	1台	1.分解点検地	低	65M~130M	液体送葉物処理系機器検査	先行実施
	ほう酸可逆装置 (火、機器)		2.簡易点検カスクエットベッキ ン取替		130M	保全の有効性評価No. 17の反映	先行実施
	危険蒸発装置	3台	1.機能・性能試験	低	65M~156M	液体送葉物処理系機器検査	先行実施
	危険蒸発装置 (火、機器)	1台	1.分解点検地	低	65M~130M	液体送葉物処理系機器検査	保全の有効性評価No. 17の反映
			2.簡易点検カスクエットベッキ ン取替		130M	保全の有効性評価No. 17の反映	先行実施
A補助凍結冷却材ドレンポンプ・電動機			1.機能・性能試験	低	B※	液体送葉物処理系設備検査	先行実施
			2.分解点検(ポンプ)	CBM	CBM	(振動診断 : 4M(対象:ポンプ))	(振動診断 : 4M(対象:ポンプ))
			2.分解点検(電動機)		9.1M	※ポンプまたは電動機の分解点検に合 わせて実施	※ポンプまたは電動機の分解点検に合 わせて実施
			3.簡易点検(潤滑油入替)		39M	保全の有効性評価No. 14の反映	保全の有効性評価No. 14の反映
			1.機能・性能試験	低	B※	液体送葉物処理系設備検査	先行実施
			2.分解点検(ポンプ)	CBM	CBM	(振動診断 : 4M(対象:ポンプ))	(振動診断 : 4M(対象:ポンプ))
			2.分解点検(電動機)		7.8M	※ポンプまたは電動機の分解点検に合 わせて実施	※ポンプまたは電動機の分解点検に合 わせて実施
			3.簡易点検(潤滑油入替)		39M	保全の有効性評価No. 14の反映	保全の有効性評価No. 14の反映
B補助凍結冷却材ドレンポンプ・電動機			1.機能・性能試験	低	B※	液体送葉物処理系設備検査	先行実施
			2.分解点検(ポンプ)	CBM	CBM	(振動診断 : 4M(対象:ポンプ))	(振動診断 : 4M(対象:ポンプ))
			2.分解点検(電動機)		7.8M	※ポンプまたは電動機の分解点検に合 わせて実施	※ポンプまたは電動機の分解点検に合 わせて実施
			3.簡易点検(潤滑油入替)		39M	保全の有効性評価No. 14の反映	保全の有効性評価No. 14の反映
Aほう酸可逆装置供給水ポンプ・電動機			1.機能・性能試験	低	B※	液体送葉物処理系設備検査	先行実施
			2.分解点検(ポンプ)	CBM	CBM	(振動診断 : 4M(対象:ポンプ))	(振動診断 : 4M(対象:ポンプ))
			2.分解点検(電動機)		7.8M	※ポンプまたは電動機の分解点検に合 わせて実施	※ポンプまたは電動機の分解点検に合 わせて実施
			3.簡易点検(潤滑油入替)		39M	保全の有効性評価No. 14の反映	保全の有効性評価No. 14の反映
Bほう酸可逆装置供給水ポンプ・電動機			1.機能・性能試験	低	B※	液体送葉物処理系設備検査	先行実施
			2.分解点検(ポンプ)	CBM	CBM	(振動診断 : 4M(対象:ポンプ))	(振動診断 : 4M(対象:ポンプ))
			2.分解点検(電動機)		7.8M	※ポンプまたは電動機の分解点検に合 わせて実施	※ポンプまたは電動機の分解点検に合 わせて実施
			3.簡易点検(潤滑油入替)		39M	保全の有効性評価No. 14の反映	保全の有効性評価No. 14の反映
A補助凍結サンプルポンプ・電動機			1.機能・性能試験	低	B※	液体送葉物処理系設備検査	先行実施
			2.分解点検(ポンプ)	CBM	CBM	(振動診断 : 4M(対象:ポンプ))	(振動診断 : 4M(対象:ポンプ))
			2.分解点検(電動機)		7.8M	※ポンプまたは電動機の分解点検に合 わせて実施	※ポンプまたは電動機の分解点検に合 わせて実施
			3.簡易点検(潤滑油入替)		39M	保全の有効性評価No. 14の反映	保全の有効性評価No. 14の反映
B補助凍結サンプルポンプ・電動機			1.機能・性能試験	低	B※	液体送葉物処理系設備検査	先行実施
			2.分解点検(ポンプ)	CBM	CBM	(振動診断 : 4M(対象:ポンプ))	(振動診断 : 4M(対象:ポンプ))
			2.分解点検(電動機)		7.8M	※ポンプまたは電動機の分解点検に合 わせて実施	※ポンプまたは電動機の分解点検に合 わせて実施
			3.簡易点検(潤滑油入替)		39M	保全の有効性評価No. 14の反映	保全の有効性評価No. 14の反映
A補助凍結機器冷却材ドレンポンプ・電動機			1.機能・性能試験	低	B※	液体送葉物処理系設備検査	先行実施
			2.分解点検(ポンプ)	CBM	CBM	(振動診断 : 4M(対象:ポンプ))	(振動診断 : 4M(対象:ポンプ))
			2.分解点検(電動機)		7.8M	※ポンプまたは電動機の分解点検に合 わせて実施	※ポンプまたは電動機の分解点検に合 わせて実施
			3.簡易点検(潤滑油入替)		39M	保全の有効性評価No. 14の反映	保全の有効性評価No. 14の反映
B格納容器冷却材ドレンポンプ・電動機			1.機能・性能試験	低	B※	液体送葉物処理系設備検査	先行実施
			2.分解点検(ポンプ)	CBM	CBM	(振動診断 : 4M(対象:ポンプ))	(振動診断 : 4M(対象:ポンプ))
			2.分解点検(電動機)		7.8M	※ポンプまたは電動機の分解点検に合 わせて実施	※ポンプまたは電動機の分解点検に合 わせて実施
			3.簡易点検(潤滑油入替)		39M	保全の有効性評価No. 14の反映	保全の有効性評価No. 14の反映
B格納容器冷却材ドレンポンプ・電動機			1.機能・性能試験	低	B※	液体送葉物処理系設備検査	先行実施
			2.分解点検(ポンプ)	CBM	CBM	(振動診断 : 4M(対象:ポンプ))	(振動診断 : 4M(対象:ポンプ))
			2.分解点検(電動機)		7.8M	※ポンプまたは電動機の分解点検に合 わせて実施	※ポンプまたは電動機の分解点検に合 わせて実施
			3.簡易点検(潤滑油入替)		39M	保全の有効性評価No. 14の反映	保全の有効性評価No. 14の反映

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方法 又は頻度	機会名		備考 ( ) 内は適用する 設備診査技術)
					保全の頻度	機会名	
放出性液体の貯蔵施設 「又は、液体又は固体废弃物処理 設備」	A 槽容器サンプルポンプ・電動機 B 槽容器サンプルポンプ・電動機	1.機能・性能試験 2.分解点検 (電動機)	低	B※ 52M	液体废弃物處理系設備検査		※ボンプまたは電動機の分解点検に合 わせて実施
	A 液体給水ポンプ・電動機	1.機能・性能試験 2.分解点検 (ポンプ)	低	B※ 78M	液体废弃物處理系設備検査		※ボンプまたは電動機の分解点検に合 わせて実施
	B 液体給水ポンプ・電動機	1.機能・性能試験 2.分解点検 (電動機) 3.簡易点検 (潤滑油入耗)	低	B※ 26M	液体废弃物處理系設備検査		※ボンプまたは電動機の分解点検に合 わせて実施
C 液体排水ポンプ・電動機	1.機能・性能試験 2.分解点検 (ポンプ) 3.簡易点検 (潤滑油入耗)	低	B※ 26M	液体废弃物處理系設備検査		※ボンプまたは電動機の分解点検に合 わせて実施	
31A 洗浄排水ポンプ・電動機	1.機能・性能試験 2.分解点検 (電動機) 3.簡易点検 (潤滑油入耗)	低	B※ 78M	液体废弃物處理系設備検査		※ボンプまたは電動機の分解点検に合 わせて実施	
31B 洗浄排水モニタポンプ・電動機	1.機能・性能試験 2.分解点検 (ポンプ) 3.簡易点検 (潤滑油入耗)	低	B※ 156M	液体废弃物處理系設備検査		※ボンプまたは電動機の分解点検に合 わせて実施	
31A 洗浄排水モニタポンプ・電動機	1.機能・性能試験 2.分解点検 (ポンプ) 3.簡易点検 (潤滑油入耗)	低	B※ 156M	液体废弃物處理系設備検査		※ボンプまたは電動機の分解点検に合 わせて実施	
31B 洗浄排水モニタポンプ・電動機	1.機能・性能試験 2.分解点検 (ポンプ) 3.簡易点検 (潤滑油入耗)	低	B※ 156M	液体废弃物處理系設備検査		※ボンプまたは電動機の分解点検に合 わせて実施	
31A 洗浄蒸留水モニタポンプ・電動機	1.機能・性能試験 2.分解点検 (ポンプ) 3.簡易点検 (潤滑油入耗)	低	B※ 182M	液体废弃物處理系設備検査		※ボンプまたは電動機の分解点検に合 わせて実施	
31B 洗浄蒸留水モニタタンクポンプ・電動機	1.機能・性能試験 2.分解点検 (ポンプ) 3.簡易点検 (潤滑油入耗)	低	B※ 182M	液体废弃物處理系設備検査		※ボンプまたは電動機の分解点検に合 わせて実施	
31A 洗浄蒸留水モニタタンクポンプ・電動機	1.機能・性能試験 2.分解点検 (ポンプ) 3.簡易点検 (潤滑油入耗)	低	B※ 39M	液体废弃物處理系設備検査		※ボンプまたは電動機の分解点検に合 わせて実施	
31B 洗浄蒸留水モニタタンクポンプ・電動機	1.機能・性能試験 2.分解点検 (ポンプ) 3.簡易点検 (潤滑油入耗)	低	B※ 39M	液体废弃物處理系設備検査		※ボンプまたは電動機の分解点検に合 わせて実施	
31A 洗浄蒸留水モニタポンプ・電動機	1.機能・性能試験 2.分解点検 (ポンプ) 3.簡易点検 (潤滑油入耗)	低	B※ 182M	液体废弃物處理系設備検査		※ボンプまたは電動機の分解点検に合 わせて実施	
31B 洗浄蒸留水モニタポンプ・電動機	1.機能・性能試験 2.分解点検 (ポンプ) 3.簡易点検 (潤滑油入耗)	低	B※ 182M	液体废弃物處理系設備検査		※ボンプまたは電動機の分解点検に合 わせて実施	
31A 洗浄蒸留水モニタポンプ・電動機	1.機能・性能試験 2.分解点検 (ポンプ) 3.簡易点検 (潤滑油入耗)	低	B※ 39M	液体废弃物處理系設備検査		※ボンプまたは電動機の分解点検に合 わせて実施	
31B 洗浄蒸留水モニタポンプ・電動機	1.機能・性能試験 2.分解点検 (ポンプ) 3.簡易点検 (潤滑油入耗)	低	B※ 39M	液体废弃物處理系設備検査		※ボンプまたは電動機の分解点検に合 わせて実施	

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度 又は頻度	保全方法 又は頻度	備考	
					( ) 内は適用する 設備技術	
放射性廃棄物の処理施設 「液体、液体又は固体廃棄物処理 設備」	31液体貯蔵タンク系構造ボンブ・電動機	1.機能・性能試験 2.分解点検 (ボンブ) 3.簡易点検 (潤滑油入替)	低	B※ 液体送棄物処理系設備検査	※ボンブまたは電動機の分解点検に合 わせて実施	
液体送棄物貯蔵設備及び処理設備の漏えい切引	1式			9M		
液体状の放射性廃棄物の漏えいの検出装置及び管路装置 (3種類) 液体水位伝送 アスファルト固化設備	1台	1.特性試験 2.機能・性能試験	低	13M 液体送棄物貯蔵設備・処理設備の警報 機能検査	液体送棄物貯蔵設備・処理設備の警報 機能検査	
液体状の放射性廃棄物の漏えいの検出装置及び管路装置 (3種類) 液体水位伝送 アスファルト固化設備	1式	1.特性検査 2.分解点検	低	13M 液体送棄物貯蔵設備・処理設備の警報 機能検査	液体送棄物貯蔵設備・処理設備の警報 機能検査	
液体状の放射性廃棄物の漏えいの検出装置及び管路装置 (3種類) 液体水位伝送 アスファルト固化設備 (弁、機器)	1式	1.機能・性能試験 2.分解点検 (ランドバッキン 取替)	低	1F B 13M~260M 13M~260M	液体送棄物処理系73KA小固化設備機能 検査 先行実施	
東川済樹脂スルースポンブ・電動機		1.機能・性能試験 2.分解点検 (電動機)	低	B※ 液体送棄物処理系設備検査	先行実施 (電動機 : 6M (対象 : ポンプ))	
放射性廃棄物の保管施設「気体、液体又は固 体廃棄物処理設備」その他機器	1式	1.分解点検 (潤滑油入替)		CBM 78M	※ボンブまたは電動機の分解点検に合 わせて実施	
放射性廃棄物の保管施設「気体、液体又は固 体廃棄物処理設備」その他機器	1式	1.分解点検 1.分解点検地	高・低	39M B	保全の有効性評価No. 14の反映 一部先行実施	
放射性廃棄物の保管施設「液体」その他機器 液体廃棄物処理設備	1式	1.分解点検		130M~260M 10M~260M	液体状の放射性廃棄物の漏えいの検出 装置及び管路装置機能検査	
放射性廃棄物の保管施設「液体」その他機器 液体廃棄物処理設備 (最終の流入サンプ ト)	1式	1.機能・性能試験	低	12M~260M	液体状の放射性廃棄物の漏えいの検出 装置及び管路装置機能検査 (最終の流 入サンプト)	
放射性廃棄物の保管施設 「原子炉格納容器本体外の液体廃棄物 貯蔵設備又は液体廃棄物処理設備から の液体状の放射性廃棄物の漏えい の検出装置又は計測装置」						
放射性廃棄物の保管施設 「放射線管理用計測装置」						
格納容器内高レンジエアモニタ	4箇	1.特性試験 2.機能・性能試験	高	13M 1F	エリアモニタ機能検査	21回施設定期検査より追加
格納容器排気筒ガスマニタ(3R-21)		1.特性試験 2.機能・性能試験	高	13M 1F	放射線監視装置機能検査	
補助処理排気筒ガスマニタ(3R-26)		1.機能・性能試験 2.特性試験	高	13M 1F	放射線監視装置機能検査	
危険物処理設備排水モニタ(34R-35)		1.機能・性能試験 2.特性試験	低	13M 1F	放射線監視装置機能検査	
格納容器排気筒あるいはモニタ(3R-40)		1.機能・性能試験 2.特性試験	低	13M 1F	放射線監視装置機能検査	
格納容器ガスマニタ (3R-41)		1.機能・性能試験 2.特性試験	低	13M 1F	放射線監視装置機能検査	
復水器排気抽出手器ガスマニタ (3R-43)		1.機能・性能試験 2.特性試験	高	13M 1F	放射線監視装置機能検査	
安全制御機器排気ガスマニタ (3R-46)		1.機能・性能試験 2.特性試験	低	13M 1F	放射線監視装置機能検査	
一般機器室排気ガスマニタ (3R-48A)		1.機能・性能試験 2.特性試験	低	13M 13M	放射線監視装置機能検査	一部施設定期検査後
一般機器室排気ガスマニタ (3R-48B)		1.機能・性能試験 2.特性試験	低	13M 13M	放射線監視装置機能検査	一部施設定期検査後
使用済燃料ビット排気ガスマニタ(3R-49)		1.特性試験 2.機能・性能試験	低	13M 1F	放射線監視装置機能検査	
処分炉堆積観察知ガスマニタ(3R-50A)		1.特性試験 2.機能・性能試験	低	13M 1F	放射線監視装置機能検査	
蒸気発生器フローダウン水モニタ (3R-55)		1.機能・性能試験 2.特性試験	高	13M 1F	放射線監視装置機能検査	
原子炉補機冷却水モニタ (3R-56)		1.機能・性能試験 2.特性試験	低	13M 1F	放射線監視装置機能検査	

機器又は系統名 〔放射線管理用計測装置〕	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式 又は頻度	備考	
					点検&試験	検査名
放射線管理用施設 〔放射線管理用計測装置〕	補助蒸気復水モニタ (3R - 57)	1.機能・性能試験	低	1F		
		2.特性能試験	低	1M		
		1.機能・性能試験	低	1F	放射線監視装置機能検査	
		2.特性能試験	低	1M	放射線監視装置機能検査	
1次系凍結精製冷水モニタ (3R - 58)	1.機能・性能試験	低	1F			
		2.特性能試験	低	1M		
		1.機能・性能試験	低	1M	放射線監視装置機能検査	
		2.特性能試験	低	1M	放射線監視装置機能検査	
A高濃度精製蒸気管モニタ (3R - 65)	1.特性能試験	高	1M			
B高濃度精製蒸気管モニタ (3R - 66)	1.特性能試験	高	1M		部施設定検運動後	
C高濃度精製蒸気管モニタ (3R - 67)	1.特性能試験	高	1M		部施設定検運動後	
1次冷却却材選留モニタ (3R - 70)	1.特性能試験	低	1M		部施設定検運動後	
ほう煙蒸留水モニタ (3R - 71)	1.機能・性能試験	低	1F			
		2.特性能試験	低	1M		
		1.特性能試験	低	1M	放射線監視装置機能検査	
		2.特性能試験	低	1M	放射線監視装置機能検査	
格納容器排水又簡高レンジガスモニタ(低レンジ) (3R - 80A)	1.特性能試験	高	1M			
格納容器排水又簡高レンジガスモニタ(高レンジ) (3R - 80B)	1.特性能試験	高	1M			
補助凍結精製蒸気管モニタ(低レンジ) (3R - 81A)	1.特性能試験	高	1M			
補助凍結精製蒸気管モニタ(高レンジ) (3R - 81B)	1.特性能試験	高	1M			
A主蒸気管モニタ (3R - 87)	1.特性能試験	高	1M			
B主蒸気管モニタ (3R - 88)	1.特性能試験	高	1M			
C主蒸気管モニタ (3R - 89)	1.特性能試験	高	1M			
放水吐水モニタ (34R - 99)	1.特性能試験	低	1M			
中央制御室エアモニタ (34R - 1)	1.特性能試験	低	1M		放射線監視装置機能検査	
格納容器内エアロング区域エアモニタ (34R - 3)	1.特性能試験	低	1M		放射線監視装置機能検査	
A左ヘルポンブ活エアモニタ (3R - 1A)	1.特性能試験	低	1M		放射線監視装置機能検査	
B左ヘルポンブ活エアモニタ (3R - 1B)	1.特性能試験	低	1M		放射線監視装置機能検査	
C左ヘルポンブ活エアモニタ (3R - 1C)	1.特性能試験	低	1M		放射線監視装置機能検査	
便用洗浄機ピット下区域エアモニタ (3R - 5)	1.特性能試験	低	1M		放射線監視装置機能検査	
サンブリッジ左区域エアモニタ (34R - 6)	1.特性能試験	低	1M		放射線監视装置機能検査	
左内清潔装置エアモニタ (3R - 7)	1.特性能試験	低	1M		放射線監视装置機能検査	
アスファルト回化装置ドラム洗浄機エアモニタ (34R - 9A)	1.特性能試験	低	1M		放射線監视装置機能検査	
左ドラム洗浄機クリーンチャンバー区域エアモニタ (34R - 9B)	1.特性能試験	低	1M		放射線監视装置機能検査	
格納容器内オヘーレーディングフロアエアモニタ (34R - 10)	1.特性能試験	低	1M		放射線監视装置機能検査	
1次系精機操作室エアモニタ (34R - 11)	1.特性能試験	低	1M		放射線監视装置機能検査	
可搬式洗浄装置ドラム洗浄機エアモニタ (34R - 9A)	1.特性能試験	低	1M		放射線監视装置機能検査	
放射線管理施設「放射線管理用計測装置」その他機器 の他の部	1.分解点検	高	130M	1次系分検		
	1.分解点検地	高	13M			
	1.分解点検地	高	6Y	中央制御室の各作動部點検		
	1.漏水点検	高	1F	緊急時対策所の各作動部點検		
	1.漏水点検	高	3M~1F	プラント運転又は施設定検停止時 21回施設定検時に設置		
放射線管理施設「放射線管理用計測装置」その他機器地 緊急時対策所遮蔽	1.漏水点検	低	1F	1次系換気空調設備検査		
	2.開放点検	低	1F	21回施設定検時に設置		
	1.機能・性能試験	低	1F	先行実施		
	2.開放点検	低	1F	21回施設定検時に設置		
	1.機能・性能試験	低	1F	先行実施		
	2.開放点検	低	1F	21回施設定検時に設置		
放射線管理施設「生体遮蔽装置」その他機器地	1.漏水点検	高	130M	1次系分検		
	2.開放点検	高	13M			
	1.漏水点検	高	6Y	中央制御室の各作動部點検		
	1.漏水点検	高	1F	緊急時対策所の各作動部點検		
	1.漏水点検	高	3M~1F	プラント運転又は施設定検停止時 21回施設定検時に設置		
A格納容器排水ヒルタユニット	1.機能・性能試験	低	1F	1次系換気空調設備検査		
B格納容器排水ヒルタユニット	1.機能・性能試験	低	1F	21回施設定検時に設置		
A格納容器生体淨化フィルタユニット	1.機能・性能試験	低	1F	1次系換気空調設備検査		
B格納容器生体淨化フィルタユニット	1.機能・性能試験	低	1F	21回施設定検時に設置		
	2.開放点検	低	1F	先行実施		

機器又は系統名 放生線管設施 〔換気設備〕	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式 又は頻度	検査名		備考 ( ) 内に適用する 設備診査技術)
					1. 機能・性能試験	2. 開放点検 (フィルタ取替)	
中火制御系非常用循環系 (A系列)	1	1. 機能・性能試験	高	1F	中火制御系非常用循環系機能検査		
中火制御系非常用循環系 (B系列)	1	1. 機能・性能試験 (よう素除外による半検査)	高	1F	中火制御系非常用循環系機能検査	4号設備	
中火制御系非常用循環フィルタユニット (A系列)	1	1. よう素フィルタ性能検査 (離えい検査)	高	1F	中火制御系非常用循環系フィルター性能検査		
中火制御系非常用循環フィルタユニット (B系列)	1	1. よう素フィルタ性能検査 (よう素除外による半検査) 2. 機能・性能試験	中	1F	中火制御系非常用循環系フィルター性能検査	4号設備	
3. 開放点検	1	1. よう素フィルタ性能検査 (よう素除外による半検査) 1. よう素フィルタ性能検査 (離えい検査)	中	1F	中火制御系非常用循環系フィルター性能検査	4号設備	
3. 開放点検 (フィルタ取替)	1	2. 機能・性能試験	中	1F	中火制御系非常用循環系フィルター性能検査	4号設備	
3. 開放点検 (フィルタ取替)	1	3. 開放点検	中	1F	中火制御系非常用循環系フィルター性能検査	4号設備	
34 A 放射線管理室排気フィルタユニット	1	1. 機能・性能試験	低	1F	1次系換気空調設備検査	先行実施	
34 B 放射線管理室排気フィルタユニット	1	2. 開放点検	中	1F	1次系換気空調設備検査	先行実施	
緊急時対策所可搬型排気淨化フィルタユニット	1台	1. 機能・性能試験 (よう素) 2. 開放点検	高	1Y	可搬型換気空調設備検査	2回回施設定期検査より直前	
A補助処理排気フィルタユニット	1	1. 機能・性能試験 2. 開放点検	低	1F	1次系換気空調設備検査	先行実施	
B補助処理排気フィルタユニット	1	1. 機能・性能試験 2. 開放点検	低	1F	1次系換気空調設備検査	先行実施	
燃料取扱室排気フィルタユニット	1	1. 機能・性能試験 2. 開放点検	低	1F	1次系換気空調設備検査	先行実施	
34 ベイラ排気フィルタユニット	1	1. 機能・性能試験 2. 開放点検	低	1F	1次系換気空調設備検査	先行実施	
34 ベラット工作室排気フィルタユニット	1	1. 機能・性能試験 2. 開放点検	低	1F	1次系換気空調設備検査	先行実施	
34 C 中火制御室空調ユニット	1	1. 開放点検	高	52M		4号設備	
34 D 中火制御室空調ユニット	1	1. 開放点検	高	52M		4号設備	
A精密容器部品ユニット	1	1. 開放点検	高	52M		先行実施	
B精密容器部品ユニット	1	1. 開放点検	低	52M		先行実施	
A補助処理部品ユニット	1	1. 開放点検	低	52M		先行実施	
B補助処理部品ユニット	1	1. 開放点検	低	52M		先行実施	
3・4 放射線管理室排気ユニット	1	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (ファン)	低	260M		先行実施 (振動診断 : 2M (対象 : 駆動機))	
A精密容器部品ファン・電動機	1	2. 分解点検 (ファン)	CBM	1F	1次系換気空調設備検査	先行実施 (振動診断 : 2M (対象 : 駆動機))	
B精密容器部品ファン・電動機	1	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (ファン)	CBM	260M		先行実施 (振動診断 : 2M (対象 : 駆動機))	

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方法又は頻度	検査名	備考
放生線管設置 [換気設備]	A格納容器排気ファン・電動機  B格納容器排気ファン・電動機	1.機能・性能試験 2.分解点検(電動機) 1.機能・性能試験 2.分解点検(ファン) 2.分解点検(電動機)	低	1F 260M CBM	1次系換気空調設備検査 1次系換気空調設備検査 1次系換気空調設備検査 1次系換気空調設備検査	( ) 内に適用する 設備診断技術 実行実績 (振動診断 : 2M)
A格納容器再循環ファン・電動機		1.機能・性能試験 2.分解点検(ファン) 3.簡易点検(潤滑油入替) 1.機能・性能試験 2.分解点検(電動機) 3.簡易点検(潤滑油入替)	高 260M 101M 26W	1F 101M 1F 260M 101M 26W	1次系換気空調設備検査 1次系換気空調設備検査 1次系換気空調設備検査	実行実績 (振動診断 : 2M)
B格納容器再循環ファン・電動機		1.機能・性能試験 2.分解点検(ファン) 3.簡易点検(潤滑油入替)	高 260M 101M 26W	1F 101M 1F 260M 101M 26W	1次系換気空調設備検査 1次系換気空調設備検査 1次系換気空調設備検査	実行実績 (振動診断 : 2M)
C格納容器再循環ファン・電動機		1.機能・性能試験 2.分解点検(ファン) 3.簡易点検(潤滑油入替)	高 260M 101M 26W	1F 101M 1F 260M 101M 26W	1次系換気空調設備検査 1次系換気空調設備検査 1次系換気空調設備検査	実行実績 (振動診断 : 2M)
D格納容器再循環ファン・電動機		1.機能・性能試験 2.分解点検(電動機) 3.簡易点検(潤滑油入替)	高 260M 101M 26W	1F 101M 1F 260M 101M 26W	1次系換気空調設備検査 1次系換気空調設備検査 1次系換気空調設備検査	実行実績 (振動診断 : 2M)
A格納容器空気淨化ファン・電動機		1.機能・性能試験 2.分解点検(ファン) 2.分解点検(電動機)	低 260M 91M 104M	1F 260M 1F 104M	1次系換気空調設備検査 1次系換気空調設備検査 1次系換気空調設備検査	実行実績 (振動診断 : 4M)
B格納容器空気淨化ファン・電動機		1.機能・性能試験 2.分解点検(電動機)	低 260M	1F 260M	1次系換気空調設備検査	実行実績 (振動診断 : 4M)
31A 中央制御室空調ファン・電動機		1.機能・性能試験 2.分解点検(ファン) 2.分解点検(電動機)	高 91M 260M 78M	1F 260M 1F 260M 1F 78M	1次系換気空調設備検査 1次系換気空調設備検査 1次系換気空調設備検査 1次系換気空調設備検査	実行実績 (振動診断 : 4M)
31B 中央制御室空調ファン・電動機		1.機能・性能試験 2.分解点検(ファン) 2.分解点検(電動機)	高 260M 78M 260M	1F 260M 1F 260M 1F 78M	1次系換気空調設備検査 1次系換気空調設備検査 1次系換気空調設備検査 1次系換気空調設備検査	実行実績 (振動診断 : 4M)
31C 中央制御室空調ファン・電動機		1.機能・性能試験 2.分解点検(ファン) 2.分解点検(電動機)	高 260M 78M 260M	1F 260M 1F 260M 1F 78M	1次系換気空調設備検査 1次系換気空調設備検査 1次系換気空調設備検査 1次系換気空調設備検査	実行実績 (振動診断 : 4M)
31D 中央制御室循環ファン・電動機		1.機能・性能試験 2.分解点検(ファン) 2.分解点検(電動機)	高 260M 78M 260M	1F 260M 1F 260M 1F 78M	1次系換気空調設備検査 1次系換気空調設備検査 1次系換気空調設備検査 1次系換気空調設備検査	実行実績 (振動診断 : 4M)
31A 中央制御室循環ファン・電動機		1.機能・性能試験 2.分解点検(ファン) 2.分解点検(電動機)	高 260M 78M 260M	1F 260M 1F 260M 1F 78M	1次系換気空調設備検査 1次系換気空調設備検査 1次系換気空調設備検査 1次系換気空調設備検査	実行実績 (振動診断 : 4M)
31B 中央制御室循環ファン・電動機		1.機能・性能試験 2.分解点検(ファン) 2.分解点検(電動機)	高 260M 78M 260M	1F 260M 1F 260M 1F 78M	1次系換気空調設備検査 1次系換気空調設備検査 1次系換気空調設備検査 1次系換気空調設備検査	実行実績 (振動診断 : 4M)
31C 中央制御室循環ファン・電動機		1.機能・性能試験 2.分解点検(ファン) 2.分解点検(電動機)	高 260M 78M 260M	1F 260M 1F 260M 1F 78M	1次系換気空調設備検査 1次系換気空調設備検査 1次系換気空調設備検査 1次系換気空調設備検査	実行実績 (振動診断 : 4M)
31D 中央制御室循環ファン・電動機		1.機能・性能試験 2.分解点検(ファン) 2.分解点検(電動機)	高 260M 78M 260M	1F 260M 1F 260M 1F 78M	1次系換気空調設備検査 1次系換気空調設備検査 1次系換気空調設備検査 1次系換気空調設備検査	実行実績 (振動診断 : 4M)

機器又は系統名 放生線管設施 [換気設備]	実施数 (機器名)	点検及試験の項目	保全の重要度 又は頻度	保全方法 機会名	備考 ( ) 内に適用する 設備技術)
34A 中央制御室非常用循環ファン・電動機	1台	1.機能・性能試験 2.分解点検 (電動機)	0.5 1F 260W	1次系換気空調設備検査	(振動診断 : 1M)
34B 中央制御室非常用循環ファン・電動機	1台	1.機能・性能試験 2.分解点検 (ファン)	0.5 1F 260W	1次系換気空調設備検査	(振動診断 : 1M)
34C 中央制御室非常用循環ファン・電動機	1台	1.機能・性能試験 2.分解点検 (電動機)	0.5 1F 260W	1次系換気空調設備検査	(振動診断 : 1M)
34D 中央制御室非常用循環ファン・電動機	1台	1.機能・性能試験 2.分解点検 (ファン)	0.5 1F 260W	1次系換気空調設備検査	(振動診断 : 1M)
緊急時対策所可搬型空氣淨化ファン	4台	1.機能・性能試験 2.分解点検 (電動機)	低 1F 260W	可搬型換気空調設備検査	21回施設定期検査より直川
34A 放射線管理室排気ファン・電動機	1台	1.機能・性能試験 2.分解点検 (電動機)	低 1F 260W	1次系換気空調設備検査	21回施設定期検査より直川
34B 放射線管理室排気ファン・電動機	1台	1.機能・性能試験 2.分解点検 (ファン)	低 1F 260W	1次系換気空調設備検査	先行実施
34C 放射線管理室排気ファン・電動機	1台	1.機能・性能試験 2.分解点検 (電動機)	低 1F 260W	1次系換気空調設備検査	先行実施
34D 放射線管理室排気ファン・電動機	1台	1.機能・性能試験 2.分解点検 (ファン)	低 1F 260W	1次系換気空調設備検査	先行実施
A補助建屋排気ファン・電動機	1台	1.機能・性能試験 2.分解点検 (電動機) 3.簡易点検 (モータ内潤滑油)	低 1F 260W CBM 156M	1次系換気空調設備検査	先行実施 (振動診断 : 4M (対象 : フアン) )
B補助建屋排気ファン・電動機	1台	1.機能・性能試験 2.分解点検 (ファン) 2.分解点検 (電動機) 3.簡易点検 (モータ内潤滑油)	低 1F 260W CBM 156M	1次系換気空調設備検査	先行実施 (振動診断 : 4M (対象 : フアン) )
A補助建屋排気ファン・電動機	1台	1.機能・性能試験 2.分解点検 (ファン) 2.分解点検 (電動機)	低 1F 260W CBM 156M	1次系換気空調設備検査	先行実施 (振動診断 : 4M (対象 : 電動機) )
B補助建屋排気ファン・電動機	1台	1.機能・性能試験 2.分解点検 (ファン) 2.分解点検 (電動機)	低 1F 260W CBM 156M	1次系換気空調設備検査	先行実施 (振動診断 : 4M (対象 : 電動機) )
C補助建屋排気ファン・電動機	1台	1.機能・性能試験 2.分解点検 (ファン) 2.分解点検 (電動機)	低 1F 260W CBM 156M	1次系換気空調設備検査	先行実施 (振動診断 : 4M (対象 : 電動機) )
A燃料取扱室排気ファン・電動機	1台	1.機能・性能試験 2.分解点検 (ファン)	低 1F 260W CBM 156M	1次系換気空調設備検査	先行実施 (振動診断 : 4M (対象 : 電動機) )
B燃料取扱室排気ファン・電動機	1台	1.機能・性能試験 2.分解点検 (電動機)	低 1F 260W CBM 156M	1次系換気空調設備検査	先行実施 (振動診断 : 4M (対象 : 電動機) )

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	検査名	備考 (○内は適用する 設備箇所)
放射線管施設 〔換気設備〕	A. 燃料取扱室排気ファン・電動機  B. 燃料取扱室排気ファン・電動機	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (ファン) 2. 分解点検 (電動機)	低	1F CBW	1次系換気空調設備専門検査	先行実施 (振動診断 : 4M)
		1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (ファン) 2. 分解点検 (電動機)	低	1F CBW	1次系換気空調設備専門検査	先行実施 (振動診断 : 4M)
34ベイ排気ファン・電動機		1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (電動機)	低	1F CBW	1次系換気空調設備専門検査	先行実施
34赤ト工作站排気ファン・電動機		1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (ファン) 2. 分解点検 (電動機)	低	1F CBW	1次系換気空調設備専門検査	先行実施
34赤棄物処理廻路送気ブースターファン・電動機		1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (電動機)	低	1F CBW	1次系換気空調設備専門検査	先行実施
34赤棄物処理廻路排気ブースターファン・電動機		1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (電動機)	低	1F CBW	1次系換気空調設備専門検査	先行実施
自動ダンパー	1式	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (電動機)	高・低	1F 65M～130M	1次系換気空調設備専門検査	一部先行実施
放射線管理施設「換気設備」その他の弁	1式	1. 分解点検 2. 分解点検	高	130M	1次系逆止弁検査	一部先行実施
放射線管理施設「換気設備」その他の機器	1式	1. 分解点検 1. 分解点検	高	13M～26M	1次系逆止弁検査	保全の有効性評価No.9の反映
その他ANM(代称種機合連、格納容器自然対流冷却)機器	1式	1. 分解点検 1. 分解点検	高	13M～26M	1次系逆止弁検査	部BMあり
可搬型空気乾燥装置	1式	1. 特性試験	高	1V		12回施設定期検査にて実施
原子炉格納容器		1. 漏えい率試験 2. 分解点検 3. 簡易点検	高	3F 13M	原子炉格納容器全体漏えい率検査 21回施設定期検査にて実施	10年に1回は設備用方にて実施 (3327回定期検査において設備用方にて実施予定)
ニアロック	通常用 1個  非常用 1個	1. 漏えい率試験 2. 分解点検 (ミッキン取替 他)	高 高	2回/3F 52M 13M	原子炉格納容器局部漏えい率検査 2回/3F 52M 13M	
機器機入口	1個	1. 漏えい率試験 2. 非破壊試験 3. 簡易点検	高 高 高	2回/3F 52M 13M	原子炉格納容器局部漏えい率検査 2回/3F 52M 13M	
配管貫通部	1式	1. 漏えい率試験 2. 開放点検	高 開放点検※	25%/10V 2回/3F	原子炉格納容器局部漏えい率検査 ISプロダラムによる。 別表+6	
配管貫通部	1式	1. 漏えい率試験	高	2回/3F	原子炉格納容器局部漏えい率検査	※頂し、最長1回／10定期
原子炉格納容器隔壁離合部		1. 漏えい率試験	高	2回/3F	原子炉格納容器局部漏えい率検査	
格納容器隔壁離合部信号(T・V信号)により隔壁離合部 される重 格納容器スプレイ・隔壁信号(P・V信号)	70個 20個	1. 機能・性能試験 1. 機能・性能試験	高 高	1F 1F	原子炉格納容器隔壁離合機能検査 原子炉格納容器隔壁離合機能検査	

機器又は系統名 原子炉格納容器隔離弁 [原子炉格納容器]	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保管の重要度	保管方式 又は頻度	検査名	備考 (○内は適用する 設備箇所支拂)
3V-CS-004A	1. 分解点検	高	52W	原子炉格納容器隔離弁分解検査		
3V-CS-004B	1. 分解点検	高	52W	原子炉格納容器隔離弁分解検査		
3V-CS-004C	1. 分解点検	高	52W	原子炉格納容器隔離弁分解検査		
3V-DI-001A	1. 分解点検	高	130W	原子炉格納容器隔離弁分解検査		
3V-DI-001B	1. 分解点検	高	130W	原子炉格納容器隔離弁分解検査		
3V-DI-003A	1. 分解点検	高	130W	原子炉格納容器隔離弁分解検査		
3V-DI-003B	1. 分解点検	高	130W	原子炉格納容器隔離弁分解検査		
3V-WL-355	1. 分解点検	高	130W	原子炉格納容器隔離弁分解検査		
3V-WL-019	1. 分解点検	高	130W	原子炉格納容器隔離弁分解検査		
3V-CS-007	1. 分解点検	高	52W	原子炉格納容器隔離弁分解検査		
3V-WL-354	1. 分解点検	高	130W	原子炉格納容器隔離弁分解検査		
3V-WL-018	1. 分解点検	高	130W	原子炉格納容器隔離弁分解検査		
3V-WR-001A	1. 分解点検	高	130W	原子炉格納容器隔離弁分解検査		
3V-WR-001B	1. 分解点検	高	130W	原子炉格納容器隔離弁分解検査		
3V-WR-002A	1. 分解点検	高	130W	原子炉格納容器隔離弁分解検査		
3V-WR-002B	1. 分解点検	高	130W	原子炉格納容器隔離弁分解検査		
3V-IA-508A	1. 分解点検	高	130M	原子炉格納容器隔離弁分解検査		
3V-CS-308	1. 分解点検	高	130M	原子炉格納容器隔離弁分解検査		
3V-CS-310	1. 分解点検	高	130M	原子炉格納容器隔離弁分解検査		
3V-CC-489	1. 分解点検	高	130M	原子炉格納容器隔離弁分解検査		
3V-CC-482	1. 分解点検	高	130M	原子炉格納容器隔離弁分解検査		
3V-CC-523	1. 分解点検	高	130M	原子炉格納容器隔離弁分解検査		
3V-CC-524	1. 分解点検	高	130M	原子炉格納容器隔離弁分解検査		
3V-CC-546	1. 分解点検	高	130M	原子炉格納容器隔離弁分解検査		
3V-CC-544	1. 分解点検	高	130M	原子炉格納容器隔離弁分解検査		
3V-IA-508B	1. 分解点検 取替他)	高	130M	原子炉格納容器隔離弁分解検査		
1E	2. 簡易点検(グランドバッキン 取替他)	高	65W			
原子炉格納容器隔離弁運動部	1E 2. 簡易点検(特性試験他)	高	52W～156W 52M～130W			

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方法又は頻度	検査名	備考
原子力格納施設 「原子力格納容器」	原子力格納容器真空逃がし弁 原子力格納容器	1個	1F	原子力格納容器真空逃がし弁機能検査		( ) 内に適用する 設備診断技術
	原子力格納施設「原子力格納容器」その他の弁	1式	WF			
	1.簡易点検(漏えい試験)		B	1次系弁検査		
	1.機能・性能試験		WF	52M~130W	1次系弁検査	
	2.分解点検			52M	2次系弁検査	
	3.簡易点検グランドバッキン 取替					
	1.機能・性能試験		WF	52M~65M	1次系弁検査	
	2.分解点検			13M~130M		
	1.分解点検地		WF	130M		
	1.分解点検地		WF	130M		一部BMあり
	1.機能・性能試験(ポンプ、 電動機、弁、弁駆動部等合 計)					
	2.機能・性能試験		WF		その他原子炉注水系機能検査	
	3.機能・性能試験(状態監視 合計)			6M	運転中の主要機器機能検査	
	A原子力格納容器スプレイ系 「主力低減設備その他」の安全設 備	原子力格納容器スプレイ系	WF	130M	原子力格納容器安全系ポンプ分解検査	
	1.分解点検(ポンプ)					(稼動診断 : 1M)
	2.分解点検(電動機)			130M		
	3.簡易点検(潤滑油入替地)			26M		
	1.分解点検(ポンプ)		WF	130M	原子力格納容器安全系ポンプ分解検査	
	2.分解点検(電動機)			130M		
	3.簡易点検(潤滑油入替地)			26M		
	A格納容器スプレイ冷却器			130M		
	1.開底点検(管脚)		WF	130M		
	2.非破壊検査			195M		
	1.開底点検(管脚)		WF	130M		
	2.非破壊検査			195M		
	1.開底点検(管脚)		WF	130M		
	2.非破壊検査			195M		
	1.開底点検(管脚)		WF	130M		
	2.非破壊検査			195M		
	B格納容器スプレイ冷却器					
	1.分解点検(管脚)		WF	130M	1次系熱交換器機能検査	
	2.非破壊検査			195M		
	1.開底点検(管脚)		WF	130M		
	2.非破壊検査			195M		
	1.開底点検(管脚)		WF	130M	1次系熱交換器機能検査	
	2.非破壊検査			195M		
	1.分解点検		WF	130M	原子力格納容器安全系主要弁分解検査	
	3V-CP-024B	1.分解点検	WF	130M	原子力格納容器安全系主要弁分解検査	
	3V-CP-054A	1.分解点検	WF	130M	原子力格納容器安全系主要弁分解検査	
	3V-CP-054B	1.分解点検	WF	130M	原子力格納容器安全系主要弁分解検査	
	3V-CP-001A	1.分解点検	WF	130M	原子力格納容器安全系主要弁分解検査	
	3V-CP-001B	1.分解点検	WF	130M	原子力格納容器安全系主要弁分解検査	
	3V-CP-003A	1.分解点検	WF	130M	原子力格納容器安全系主要弁分解検査	
	3V-CP-003B	1.分解点検	WF	130M	原子力格納容器安全系主要弁分解検査	
	原子力格納容器スプレイ冷却器 「主力低減設備」	1式	WF	156M		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	検査名		備考 ( ) 内に適用する 設備技術)
					保全	定期検査	
原子炉格納施設「圧力低減設備その他の安全設備」	可燃性ガス濃度制御系主要弁 3V-VS-101A 3V-VS-101B 3V-VS-102A 3V-VS-102B 3V-VS-103A 3V-VS-103B 3-PCV-2465 3-PCV-2485	1. 分解点検 1. 分解点検 1. 分解点検 1. 分解点検 1. 分解点検 1. 分解点検 1. 分解点検 1. 分解点検	高 高 高 高 高 高 高 高	65M 65M 65M 65M 65M 65M 65M 65M	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査 可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査 可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査 可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査 可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査 可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査 可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査 可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査	21回施設定期検査より追加 21回施設定期検査より追加 21回施設定期検査より追加 21回施設定期検査より追加 21回施設定期検査より追加 21回施設定期検査より追加 21回施設定期検査より追加 21回施設定期検査より追加	
よう素除去装置タンク よう素除去装置タンクバキュームリーフが2台		1. 開放点検 1. 分解点検	高 高	130M 130M	1次系貫通破壊弁検査 1次系貫通破壊弁検査		
アニエラス空気清浄系	A, B アニエラス空気清浄フィルタユニット	1. 機能・性能試験 1. よう素フィルタ性能検査 (よう素除菌効率検査) 1. よう素フィルタ性能検査 (漏えい率検査)	高 高 高 高	1F 1F 1F 1F	アニエラス循環排気系機能検査 アニエラス循環排気系フィルター性能 アニエラス循環排気系フィルター性能 アニエラス循環排気系フィルター性能	A系、B系交互に実施	
A, B アニエラス空気清浄化フィルタユニット A系 B系	A, B アニエラス空気清浄化フィルタユニット A系 B系	1. 機能・性能試験 2. 開放点検 1. 機能・性能試験 2. 開放点検	高 高 高 高	65F 4F 1F 4F	1次系換気空調設備検査 1次系換気空調設備検査	※よう素フィルタ性能検査結果により 適宜実施	
アニエラス空気清浄化ファン・電動機	A 安全補機空気清浄化ファン・電動機	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (ファン) 1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (ファン)	高 高 高 高	78M 260M 78M 260M	1次系換気空調設備検査 1次系換気空調設備検査	(振動診断 : 1M)	
B 安全補機空気清浄化ファン・電動機	B 安全補機空気清浄化ファン・電動機	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (電動機) 1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (電動機)	高 高 高 高	78M 260M 78M 260M	1次系換気空調設備検査 1次系換気空調設備検査	(振動診断 : 1M)	
A 安全補機空気清浄化ファン・電動機		1. 機能・性能試験 2. 開放点検 (ファン) 1. 機能・性能試験 2. 開放点検 (ファン)	高 高 高 高	1F 1F 1F 1F	1次系換気空調設備検査 1次系換気空調設備検査	(振動診断 : 1M)	
B 安全補機空気清浄化ファン・電動機		1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (電動機) 1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (電動機)	高 高 高 高	260M 78M 260M 78M	1次系換気空調設備検査 1次系換気空調設備検査	(振動診断 : 1M)	

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	検査名	備考
原子力格納設備その他の安全設備 「[原]力低減設備」	静的触媒式水素再結合装置 MB-045	1.外観点検 2.機能・性能試験	高	1F 5F	原子炉格納容器水素再結合装置機能検査 在	( ) 内は適用する 設備技術
MB-046	1.外観点検 2.機能・性能試験	高	1F 5F	原子炉格納容器水素再結合装置機能検査 在	2回施設定期検査時に設置 2回施設定期検査より追加	
MB-047	1.外観点検 2.機能・性能試験	高	1F 5F	原子炉格納容器水素再結合装置機能検査 在	2回施設定期検査時に設置 2回施設定期検査より追加	
MB-048	1.外観点検 2.機能・性能試験	高	1F 5F	原子炉格納容器水素再結合装置機能検査 在	2回施設定期検査時に設置 2回施設定期検査より追加	
MB-049	1.外観点検 2.機能・性能試験	高	1F 5F	原子炉格納容器水素再結合装置機能検査 在	2回施設定期検査時に設置 2回施設定期検査より追加	
原子炉格納容器水素燃焼装置	13個	1.機能・性能試験	高	1F 5F	原子炉格納容器水素再結合装置機能検査 在	2回施設定期検査時に設置 2回施設定期検査より追加
1次系計測制御装置 原子炉格納設備「[原]力低減設備」その他他の安全設備 「[原]他の安全設備」	1式	1.特性試験 1.機能・性能試験	高	B	計測制御系監視機能検査	2回施設定期検査時に設置
原子炉格納設備「[原]力低減設備」その他他の安全設備 「[原]他の安全設備」	1式	2.分解点検	高・低	130M 1次系逆止弁検査 1次系弁検査 1次系逆止弁検査	1次系弁検査 1次系安全弁検査	
原子炉格納設備「[原]力低減設備」その他他の安全設備 「[原]他の安全設備」	1式	1.機能・性能試験 2.分解点検 3.簡易点検(特性試験)	高	65M~156M 65M	1次系弁検査 1次系逆止弁検査	
原子炉格納設備「[原]力低減設備」その他他の安全設備 「[原]他の機器設備」	1式	1.分解点検 1.分解点検地	高	65M~130M B	1次系弁検査 1次系逆止弁検査	一部BMあり
その他AM(代替弁類、格納容器内注水)機器 「[原]力設備」	1式	1.分解点検 1.非破壊試験 2.漏えい試験	高	130M 10Y 1F	1次系逆止弁検査 1機器供用期間中検査 1機器供用期間中検査	12回施設定期検査時に設置 [ISI]プログラムによる。 [別紙-1]
「[原]力設備」	1式	1.非破壊試験 2.漏えい試験	高	10Y 10Y	1機器供用期間中検査 1機器供用期間中検査	[ISI]プログラムによる。 [別紙-2]
「[原]力設備」	1式	1.非破壊試験 2.漏えい試験	高	10Y 10Y	1機器供用期間中検査 1機器供用期間中検査	[ISI]プログラムによる。 [別紙-3]
「[原]力設備」	1式	1.非破壊試験 2.漏えい試験	高	10V 3Y	1機器供用期間中検査 供用期間中特別検査のうちクラス1機器 N集合令使用部並特別検査	[ISI]プログラムによる。 [別紙-4]
「[原]力設備」	1式	1.非破壊試験	高	25m/10Y (原子炉格納容器内)特別検査	1機器供用期間中特別検査のうちクラス2管 管台溶接部の健全性確認検査	[ISI]プログラムによる。 [別紙-5]
「[原]力設備」	1式	1.非破壊試験 2.漏えい試験	高	10Y 10Y	供用期間中特別検査のうち蒸気発生器 管台溶接部の健全性確認検査	[ISI]プログラムによる。 [別紙-6]
重大事故等クラス2機器 「[原]力設備」	1式	1.非破壊試験 2.漏えい試験	高	10Y 10Y	重大事故等クラス2機器供用期間中検査 重大事故等クラス2機器供用期間中検査	2回施設定期検査により追加
「[原]力設備」	1式	1.外観点検	高・低	100%/5Y~ 100%/10Y	構造健全性検査	

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 (○内は適用する 設備検査)
原子力設備 〔その他設備〕	RCPBのベント・ドレン弁の開・閉栓 レストレス・トレイント 1. 次治理材管部アダプタ・ハンドル 2. 主給水配管部アダプタ・ハンドル 3. 主給水配管部アダプタ・ハンドル	1式 1式	1. 清掃・試験 1. 外観点検	高 高	1F 100%/10Y レス・トレイント検査	
原子力設備〔その他設備〕	〔その他設備〕その他の弁	1式	1. 機能・性能試験 2. 分解点検	高・低 高	1次系安全弁検査 130M 1次系逆止弁検査 13M~130M	
原子力設備〔その他設備〕	「その他設備」その他の機器	1式	1. 分解点検 1. 分解点検地	高 低	12M~156M 100%/10Y 耐震健全性検査	一部BMあり 一部先行実施
原子力設備・タービン設備 〔その他設備〕	耐震クラスS、Bに属する設備の支持構造物 (クラス1、2、3)用期間検査対象機器 を除く)	1式	1. 外観点検 1. 分解点検地 2. 鋼立柱洗点検 3. 簡易点検 (触受部内部清掃等)	高 高 B 13M	52M~182M 蒸気タービン開放検査 26W 蒸気タービン開放検査 2F 蒸気タービン開放検査	12回施設定期時に設置 (一部)
蒸気タービン 〔車台、甲板、隔壁、噴口、翼、 車輪〕	高圧タービン	1式	1. 分解点検 1. 分解点検地 2. 外観点検 3. 簡易点検 (触受部内部清掃等)	高 高 B 13M	26W 蒸気タービン開放検査 2F 蒸気タービン開放検査 13M	
第1低圧タービン			1. 分解点検 1. 分解点検地 2. 外観点検 3. 簡易点検 (触受部内部清掃等)	高 高 B 13M	26W 蒸気タービン開放検査 2F 蒸気タービン開放検査 13M	
第2低圧タービン			1. 分解点検 1. 分解点検地 2. 外観点検 3. 簡易点検 (触受部内部清掃等)	高 高 B 13M	26W 蒸気タービン開放検査 2F 蒸気タービン開放検査 13M	
第3低圧タービン			1. 分解点検 1. 分解点検地 2. 外観点検 3. 簡易点検 (触受部内部清掃等)	高 高 B 13M	26W 蒸気タービン開放検査 2F 蒸気タービン開放検査 13M	
ロータ			1. 鋼立柱洗点検 1. 保守點検 2. 負荷点検	高 B 1F	蒸気タービン開放検査 蒸気タービン性能検査 蒸気タービン開放検査	タービン開放時期に合わせて実施。 ※施設定期検査後
蒸気タービン本体及び附属設備			1. 分解点検 1. 分解点検地 2. 鋼立柱洗点検 3. 保守點検 4. 負荷点検	高 高 高 高 B 39W	蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査	施設定期検査後
蒸気タービン 〔調速装置及び非常脱速装置並び に調速装置で制御される主要弁〕	# 1 主蒸気止め弁 # 2 主蒸気止め弁 # 3 蒸気加減弁 # 4 蒸気加減弁		1. 分解点検 1. 分解点検地 2. 鋼立柱洗点検 3. 保守點検 4. 負荷点検	高 高 高 高 B 39W	蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査	
# 1 蒸気止め弁			1. 分解点検 1. 分解点検地 2. 鋼立柱洗点検 3. 保守點検 4. 負荷点検	高 高 高 高 B 39W	蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査	
# 2 蒸気止め弁			1. 分解点検 1. 分解点検地 2. 鋼立柱洗点検 3. 保守點検 4. 負荷点検	高 高 高 高 B 39W	蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査	
# 3 蒸気止め弁			1. 分解点検 1. 分解点検地 2. 鋼立柱洗点検 3. 保守點検 4. 負荷点検	高 高 高 高 B 39W	蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査	
# 4 蒸気止め弁			1. 分解点検 1. 分解点検地 2. 鋼立柱洗点検 3. 保守點検 4. 負荷点検	高 高 高 高 B 39W	蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査	
A 1 再熱蒸気止め弁			1. 分解点検 1. 分解点検地 2. 鋼立柱洗点検 3. 保守點検 4. 負荷点検	高 高 高 高 B 39W	蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査	
A 2 再熱蒸気止め弁			1. 分解点検 1. 分解点検地 2. 鋼立柱洗点検 3. 保守點検 4. 負荷点検	高 高 高 高 B 39W	蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査	
A 3 単熱蒸気止め弁			1. 分解点検 1. 分解点検地 2. 鋼立柱洗点検 3. 保守點検 4. 負荷点検	高 高 高 高 B 39W	蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査	
B 1 単熱蒸気止め弁			1. 分解点検 1. 分解点検地 2. 鋼立柱洗点検 3. 保守點検 4. 負荷点検	高 高 高 高 B 39W	蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査	
B 2 単熱蒸気止め弁			1. 分解点検 1. 分解点検地 2. 鋼立柱洗点検 3. 保守點検 4. 負荷点検	高 高 高 高 B 39W	蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査	
B 3 単熱蒸気止め弁			1. 分解点検 1. 分解点検地 2. 鋼立柱洗点検 3. 保守點検 4. 負荷点検	高 高 高 高 B 39W	蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査	

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保管の重要度	保管方式又は頻度	検査名	備考 (○内は適用する 設備診断技術)
蒸気タービン 〔調速装置及び非粘稠運送装置並びに調速装置で制御される主要部〕	A1インジニアセプト企 A2インジニアセプト企 A3インジニアセプト企 B1インジニアセプト企 B2インジニアセプト企 B3インジニアセプト企	1. 開放点検 1. 開放点検 1. 開放点検 1. 開放点検 1. 開放点検 1. 開放点検 1. 外観点検 1. 機能、性能試験(ポンプ)、 泵動機合計)	高 高 高 高 高 高 高 高 高	39W 39W 39W 39W 39W 39W 1F 1F	蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査	
蒸気タービン 〔復水器〕	復水器	1. 開放点検 2. 重力除銹 1. 分解点検(ポンプ) 1. 分解点検(電動機)	高 高 高 高	13W 26W 104M 13W	蒸気タービン附属機能検査 施設設備検討後	
A循環水ポンプ・電動機		1. 分解点検(ポンプ) 2. 簡易点検(潤滑油ユニット)作動 抽脂清潔管理)	高	104M		
B循環水ポンプ・電動機		1. 分解点検(ポンプ) 2. 簡易点検(電動機) 抽脂清潔度管理)	高	26W 104M		
C循環水ポンプ・電動機		1. 分解点検(ポンプ) 2. 簡易点検(潤滑油入替也)	高	13W 13W		(振動診断: 3M)
△復水器専管ポンプ・電動機		1. 分解点検(ポンプ) 1. 分解点検(電動機)	高 CBM	39W CBM		(振動診断: 3M)
B復水器専管ポンプ・電動機		1. 分解点検(ポンプ) 2. 簡易点検(潤滑油入替也)	高	13M 13M		(振動診断: 3M)
C復水器専管ポンプ・電動機		1. 分解点検(ポンプ) 1. 分解点検(潤滑油入替也)	高 CBM	39W CBM		(振動診断: 3M)
△復水ポンプ・電動機		1. 分解点検(ポンプ) 2. 簡易点検(ストレーナ詰積)	高 CBM	104W 13W		(振動診断: 3M)
B復水ポンプ・電動機		1. 分解点検(ポンプ) 2. 簡易点検(電動機)	高 CBM	39W 104M		(振動診断: 6M (対象: 電動機))
C復水ポンプ・電動機		1. 分解点検(ポンプ) 2. 簡易点検(ストレーナ詰積)	高 CBM	13W 104M		(振動診断: 6M (対象: 電動機))
蒸気タービン「復水器」その他の機器	1式	1. 分解点検也 2. 簡易点検(ストレーナ詰積)	高 CBM	39W 104M		(振動診断: 6M (対象: 電動機))
蒸気タービンに附属する熱交換器 〔蒸気タービン〕	3 A部分々々離加熱器 管側(発電機側)) 3 A部分々離加熱器 管側(発電機側)) 3 B部分々離加熱器 管側(発電機側)) 3 B部分々離加熱器 管側(発電機側))	1. 分解点検也 1. 分解点検 1. 分解点検 1. 分解點検 2. 分解點検 1. 分解点検 1. 分解點検 2. 分解點検 1. 分解点検 1. 分解點檢	高 高 高 高 高 高 高 高 高 CBM	78W~260W 13M~260W 13M~130W 130W 130W~260W 130W 130W 130W 130W	蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査	一部CBMあり

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保管の重要度	保管方式又は転度	検査名	備考 (○内は適用する 設備技術基準)
蒸気タービン 〔蒸気タービンに附屬する熱交換器〕	A 蒸気器 B 蒸気器 膜式器タンク	1. 開放点検 2. 満足度試験 3. 非破壊試験	高 B B	26W 26W 13W	2次系容器検査 2次系容器検査 2次系熱交換器検査	
第1 A 低圧給水加熱器	1. 開放点検 2. 満足度試験 3. 非破壊試験	高 B B	65W 65W 130W	2次系熱交換器検査 2次系熱交換器検査 2次系熱交換器検査		
第1 B 張力給水加熱器	1. 開放点検 2. 満足度試験 3. 非破壊試験	高 B B	65W 65W 130W	2次系熱交換器検査 2次系熱交換器検査 2次系熱交換器検査		
第1 C 低圧給水加熱器	1. 開放点検 2. 満足度試験 3. 非破壊試験	高 B B	65W 65W 130W	2次系熱交換器検査 2次系熱交換器検査 2次系熱交換器検査		
第2 A 低圧給水加熱器	1. 開放点検 2. 満足度試験 3. 非破壊試験	高 B B	65W 65W 130W	2次系熱交換器検査 2次系熱交換器検査 2次系熱交換器検査		
第2 B 低圧給水加熱器	1. 開放点検 2. 満足度試験 3. 非破壊試験	高 B B	65W 65W 130W	2次系熱交換器検査 2次系熱交換器検査 2次系熱交換器検査		
第2 C 低圧給水加熱器	1. 開放点検 2. 満足度試験 3. 非破壊試験	高 B B	65W 65W 130W	2次系熱交換器検査 2次系熱交換器検査 2次系熱交換器検査		
第3 A 低圧給水加熱器	1. 開放点検 2. 満足度試験 3. 非破壊試験	高 B B	65W 65W 130W	2次系熱交換器検査 2次系熱交換器検査 2次系熱交換器検査		
第3 B 低圧給水加熱器	1. 開放点検 2. 満足度試験 3. 非破壊試験	高 B B	65W 65W 130W	2次系熱交換器検査 2次系熱交換器検査 2次系熱交換器検査		
第3 C 低圧給水加熱器	1. 開放点検 2. 満足度試験 3. 非破壊試験	高 B B	65W 65W 130W	2次系熱交換器検査 2次系熱交換器検査 2次系熱交換器検査		
第4 A 低圧給水加熱器	1. 開放点検 2. 満足度試験 3. 非破壊試験	高 B B	65W 65W 130W	2次系熱交換器検査 2次系熱交換器検査 2次系熱交換器検査		
第4 B 低圧給水加熱器	1. 開放点検 2. 満足度試験 3. 非破壊試験	高 B B	65W 65W 130W	2次系熱交換器検査 2次系熱交換器検査 2次系熱交換器検査		
第4 C 低圧給水加熱器	1. 開放点検 2. 満足度試験 3. 非破壊試験	高 B B	65W 65W 130W	2次系熱交換器検査 2次系熱交換器検査 2次系熱交換器検査		
第6 A 高圧給水加熱器	1. 開放点検 2. 満足度試験 3. 非破壊試験	高 B B	130W 130W 130W	2次系熱交換器検査 2次系熱交換器検査 2次系熱交換器検査		
第6 B 高圧給水加熱器	1. 開放点検 2. 満足度試験 3. 非破壊試験	高 B B	65W 65W 130W	2次系熱交換器検査 2次系熱交換器検査 2次系熱交換器検査		
グランド蒸気復水器	1. 開放点検 2. 満足度試験 3. 非破壊試験	高 B B	130W 130W 130W	2次系熱交換器検査 2次系熱交換器検査 2次系熱交換器検査		

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 (○内は適用する 設備・箇所)
蒸気タービン 〔蒸気タービンに触感する給水が ポンプ及び貯水設備並びに給水処理 設備〕	給水、復水系統 Aタービン動主給水ポンプ	1.機能・性能試験 (ポンプ、 電動機) 1.機能・性能試験 (ポンプ)	高	1F B	蒸気タービン附属機械検査	施設点検実施後 (設備診査技術)
		2.分解点検 (ポンプ) 2.分解点検 (ポンプ)	高	B	2次系ポンプ機械検査	
		2.分解点検 (ポンプ) 2.分解点検 (ポンプ)	26W	26W	2次系ポンプ分解検査	
		3.簡易点検オイルフィルタ取 替	13W			
	Bタービン動主給水ポンプ	1.機能・性能試験 (ポンプ) 1.機能・性能試験 (電動ター ビン)	高	B	2次系ポンプ機械検査	
		2.分解点検 (ポンプ) 2.分解点検 (ポンプ)	26W	26W	2次系ポンプ分解検査	
		3.簡易点検オイルフィルタ取 替	13W			
	電動主給水ポンプ・電動機	1.分解点検 (ポンプ) 1.分解点検 (電動機)	高	130W 136W	130W 136W	
		2.簡易点検 (電動油入替他)	13W			
	Aタービン動主給水ポンプ	1.分解点検 (スチーナ点検) 1.分解点検 (スチーナ点検)	高	52W	52W	
	Bタービン動主給水ポンプ	1.分解点検 (スチーナ点検) 1.分解点検 (スチーナ点検)	高	52W	52W	
	電動主給水ブースタポンプ	1.分解点検 (ポンプ) 2.簡易点検 (電動油入替他)	高	130W 13W	130W 13W	
	A復水ブースタポンプ	1.分解点検 (ポンプ) 1.分解点検 (電動機)	高	39W	39W	
		2.簡易点検 (電動油入替他)	13W			
	B復水ブースタポンプ・電動機	1.分解点検 (ポンプ) 1.分解点検 (電動機)	高	104W	104W	
		2.簡易点検 (電動油入替他)	13W			
	C復水ブースタポンプ・電動機	1.分解点検 (ポンプ) 1.分解点検 (電動機)	高	39W	39W	
		2.簡易点検 (電動油入替他)	13W			
	A復水脱盐器	1.開放点検	高	130W	2次系容器検査	
	B復水脱盐器	1.開放点検	高	130W	2次系容器検査	
	C復水脱盐器	1.開放点検	高	130W	2次系容器検査	
	D復水脱盐器	1.開放点検	高	130W	2次系容器検査	
	E復水脱盐器	1.開放点検	高	130W	2次系容器検査	
	復水タンク					
		1.簡易点検 (通水管金網清 掃)	13W			
		1.分解点検他	高	63M~260M	一部BMあり 一部BMあり	一部先行実施 一部先行実施
	蒸気タービン〔蒸気タービンに附屬する給水 ポンプ及び貯水設備並びに給水処理設備〕そ の他機器	1.分解点検他	低	13W~260W		

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方法		備考 ( ) 内は適用する 設備診査技術)
				度合	度合	
蒸気タービン [蒸気タービンに附屬する管等]	主な配管 (主蒸気系統・抽気系統) 2次系配管他 (L記以外の主蒸気系統・貯水系統・抽気系統・ドレンシステム・その他系統)※ ※配管の他、ポンプ、熱交換器、弁等を含む (外側点検のみ)	1式	1. 開放点検 2. 非破壊試験	高 高	肉厚管理指針による 肉厚管理指針による	蒸気タービン開放検査 2次系配管検査
蒸気タービン [その他設備]	タービンハイパスが運動部	15個	1. 機能・性能試験 (駆動部分) 2. 分解点検 3. 簡易点検 (グランドハウキン取替)	高 高 高	1F 26M~52M 26M	タービンハイパスが機能検査
蒸気タービン [その他設備] その他の中	タービンハイパスが運動部	15個	1. 分解点検 (特性試験) 2. 簡易点検 (特性試験)	高	13M	
蒸気タービン [その他設備] その他の中	1. 機能・性能試験 2. 分解点検	1式	高・低	B	1次系安全介検値 2次系安全介検値	
蒸気タービン [その他設備] その他の中	3. 簡易点検 (グランド入替)			10M~130M	1次系並止弁検査 2次系弁検査	
蒸気タービン [その他設備] その他の中	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 簡易点検 (特性試験)	1式	高 高 高	B 182M 52M	2次系弁検査	
蒸気タービン [その他設備] その他の中	1. 分解点検他	1式		13M~260M		
補助ボイラー	【補助ボイラー】 管路装置 管路セッティング 安全弁 ボイラーに付属する給水設備 ボイラーに付属する通風設備 ボイラーに付属する管等 油燃焼用機器	1式	1. 開放点検 2. 性能試験	低	12M~260M 120M※ 117M~240M 低	補助ボイラー開放検査 補助ボイラー開設検査 先行実施
補助ボイラー		1式	1. 開放点検 2. 性能試験	低	120M※ 12M~120M 1Y	補助ボイラー性能検査 補助ボイラー設備検査 先行実施
補助ボイラー	【補助ボイラーに属する燃料設備】 燃料供給装置に係る油の輸送管 燃料供給装置に係る割タンク ・補助ボイラー集じん機	1式	1. 開放点検 3. 簡易点検 (グランドハウキン取替他)	低	120M	先行実施
補助ボイラー	【補助ボイラーに属する燃料設備】 ・補助ボイラー集じん機	1式	1. 開放点検 2. 簡易点検 (内部計測)	低	120M	先行実施
補助ボイラー	【補助ボイラー】 その他の中	1式	1. 機能・性能試験 2. 分解点検	低	12M~240M	補助ボイラー開設検査にあわせて実施 先行実施
補助ボイラー	【補助ボイラー】 その他の中	1式	1. 分解点検他	低	12M~240M	先行実施

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度 又は頻度	保全名	備考 (○内は適用する 設備技術基準)	
その他発電用原子炉の附属施設 〔海水防護施設〕	海水防護釜 伝播防止板 水栓扉	1式 1式	1.外観点検 1.外観点検	高 高	1回施設定査時に設置 2回施設定査時に設置	
離原子炉 作業監視カメラシステム 蒸気漏えい検知システム	2台 1式	1.特性試験 1.機能・性能試験 1.機能・性能試験 2.外観点検 1.機能・性能試験(ポンプ、 電動機含む)	高 高 低 低	13W 1F 1F	計測制御系監視機能検査 2回施設定査時に設置 2回施設定査時に設置 2回施設定査時に設置 ※ポンプまたは電動機の分解点検に合 わせて実施 2回施設定期検査より追加 (振動分析：1V(対象：電動機))	
海水ピット排水系統	海水サンプルポンプ(吐出ラインを含む)	1.分解点検(ポンプ) 1.分解点検(電動機)	紙 CIM	1V CIM	2回施設定期検査より追加 2回施設定期検査中又は施設定期検査中	
その他発電用原子炉の附属施設 〔常用電源設備〕	発電機設備 変圧器設備 しき肉器	1式 1式 1式	1.分解点検他 1.分解点検他 1.分解点検他 1.分解点検他 1.分解点検 2.分解点検(ポンプ)	高 高 高 高 低 低	13W～208W 39M～156M 32M～156M 39M～104W 13M～240W 10F	※ポンプまたは電動機の分解点検に合 わせて実施 2回施設定期査時に設置 2回施設定期査より追加 2回施設定期査時に設置 2回施設定期査より追加 2回施設定期査より追加 ※ポンプまたは電動機の分解点検に合 わせて実施 2回施設定期査により追加 2回施設定期査により追加 2回施設定期査により追加 2回施設定期査により追加 2回施設定期査により追加 2回施設定期査により追加
その他発電用原子炉の附属施設 〔消防設備〕	その他消防装置「新川消防設 備」 その他の機器	1式	1.分解点検他	高	13W～240W	
その他発電用原子炉の附属施設 〔火災防護施設〕	消火水バッファーポンプ・電動機 廻等流入防止装置	2台 1式	1.分解点検(ポンプ) 1.分解点検他	6F 低	260W 1次系部検査	
その他発電用原子炉の附属施設 〔火災防護施設〕	その他消防装置「新川消防設 備」 その他の機器	1式	1.分解点検他	高・低	4W～130W	
非常用電源設備 〔非常用電源装置等〕	ディーゼル発電機 2台	1.機能・性能試験	高	1F	非常用設備発電機定期検査(ディー ゼル発電機の作動検査) 非常用設備定期検査(ディー ゼル発電機の作動検査)	
A	安全注入信号及び格納容器スプレイ信号発信 アーティック接続部、シリカバー、クラシック	45台 No.1, 8 No.2, 3, 9, 10 No.4, 5, 11, 12 No.6, 13 No.7, 14	1.機能・性能試験 1.分解点検 1.分解点検 1.分解点検 1.分解点検 1.分解点検	高 高 高 高 高 高	130W 130W 130W 130W 130W 130W	非常用ディーゼル発電機定期検査(ディー ゼル発電機の作動検査) 非常用ディーゼル発電機定期検査(ディー ゼル発電機の作動検査)
B	アーティック接続部、シリカバー、クラシック	No.1, 8 No.2, 3, 9, 10 No.4, 5, 11, 12 No.6, 13 No.7, 14	1.分解点検 1.分解点検 1.分解点検 1.分解点検 1.分解点検	高 高 高 高 高	130W 130W 130W 130W 130W	非常用ディーゼル発電機定期検査 非常用ディーゼル発電機定期検査 非常用ディーゼル発電機定期検査 非常用ディーゼル発電機定期検査 非常用ディーゼル発電機定期検査

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	検査名	備考
非常用電源装置 [非常用発電装置]	Aディーゼル機関の吸気弁 Bディーゼル機関の吸気弁	1. 分解点検	高	26M	非常用ディーゼル発電機分解検査	( ) 内に適用する 設備診断技術
Aディーゼル機関の排気弁 Bディーゼル機関の排気弁	1. 分解点検	高	26M	非常用ディーゼル発電機分解検査		
Aディーゼル機関の排気弁 Bディーゼル機関の燃料噴射弁	1. 分解点検	高	26M	非常用ディーゼル発電機分解検査		
Aディーゼル機関の燃料噴射弁 Bディーゼル機関の燃料噴射弁	1. 分解点検	高	13M	非常用ディーゼル発電機分解検査		
ディーゼル発電機付属設備	1式	1. 外観点検 2. 非破壊試験 3. 機能・性能試験 4. 特性試験	高	1F 13M～78M 1F～10F 13M	非常用子備発電機付属設備検査 非常用子備発電機付属設備検査 非常用子備発電機付属設備検査	
22台[非常用発電装置]	2台	1. 機能・性能試験 2. 分解点検	高	1F 5Y	その他非常用発電装置の機能検査 その他非常用発電装置の付属設備検査	21回施設定期検査より追加
可搬式代用低圧水ポンプ用電源	3台	1. 機能・性能試験	高	1Y	可搬型代用電源設備検査	プラント運転中又は施設定期検査時
緊急時対策所用電源	4台	1. 機能・性能試験	高	1Y	可搬型代用電源設備検査	21回施設定期検査より追加
電源車	3台	1. 機能・性能試験 1. 分解点検	高	1Y	可搬型代用電源設備検査	プラント運転中又は施設定期検査時
タンクローリー	3台	1. 分解点検 1. 分解点検	高	13M～208M	可搬型代用電源設備検査	21回施設定期検査より追加
非常用電源設備[非常用発電装置] その他機器	2台[個／組] (60個／組)	1. 機能・性能試験(作動機能) 2. 簡易点検(充電)	低	13M～82M 20J/Y	直流水源系機能検査 インバータ機能検査	21回施設定期検査時
非常用電源設備 [その他の电源装置]	4台	1. 機能・性能試験 2. 簡易点検(充電)	高	13M	インバータ機能検査	21回施設定期検査時
可搬型ベッテリ(初期・器速がし用)	2個	1. 機能・性能試験 2. 外観点検	高	1F	21回施設定期検査時	
可搬式発送器	2個	1. 機能・性能試験 2. 外観点検	高	1F	21回施設定期検査時	
非常用電源設備[その他の电源装置] その他の機器	1式	1. 分解点検 1. 分解点検	高	6M～180M 13M	保守の有効性評価No.15の反映	

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度 又は頻度	保全方法 又は頻度	検査名	備考	
						( )内は適用する 設備検査枠)	( )内は適用する 設備検査枠)
土木建設設備							
原子炉建屋	原子炉建屋	1回	1.外観点検	高・低	IF		プラント運転中又は施設定期検査中
外周処理	外周処理	1回	1.外観点検	高	Y		プラント運転中又は施設定期検査中
中間処理	中間処理	1回	1.外観点検	高	Y		プラント運転中又は施設定期検査中
原子炉補助建屋	原子炉補助建屋	1回	1.外観点検	高	Y		プラント運転中又は施設定期検査中
燃料取扱建屋	燃料取扱建屋	1回	1.外観点検	高	Y		プラント運転中又は施設定期検査中
制御建屋	制御建屋	1回	1.外観点検	高	Y		プラント運転中又は施設定期検査中
燃料取扱用水タンク建屋	燃料取扱用水タンク建屋	1回	1.外観点検	高	Y		プラント運転中又は施設定期検査中
ディーゼル発電機建屋	ディーゼル発電機建屋	1回	1.外観点検	高	Y		プラント運転中又は施設定期検査中
1・2号機原子炉補助建屋	1・2号機原子炉補助建屋	1回	1.外観点検	高	Y		プラント運転中又は施設定期検査中
固体廃棄物貯蔵庫	固体廃棄物貯蔵庫	1回	1.外観点検	低	Y		プラント運転中又は施設定期検査中
吸水口設備	吸水口設備	1回	1.外観点検	高	Y~1F		プラント運転中又は施設定期検査中
運搬地図帳	運搬地図帳	1回	1.外観点検	低	Y		プラント運転中又は施設定期検査中
抑止ぐしゃ、 抑止ぐしゃ、 防護幕	抑止ぐしゃ、 抑止ぐしゃ、 防護幕	1回	1.外観点検	低	Y		プラント運転中又は施設定期検査中
プラント総合	原子炉及びその附属設備(補助ボイラー及び非常用予備送電装置を除く)	1回	1.総合性能試験	高	IF	総合負荷性能検査	施設定期検査後
非常用取水設備 「取水設備」	非常用取水設備 「取水設備」	1回	1.外観点検	高	Y		
機械運動用燃料設備 「燃料炉端設備」	ガソリン用ドラム缶	68個	1.取替	高	2回/Y	2回毎定期検査時設置	

## 計画期間中における点検の実施状況等

# ク拉斯1機器供用期間中特別検査のうち蒸気発生器管台溶接部の健全性確認検査

## 供用期間中検査プログラム

## 1. 原子炉内検査(1/2)

発電用原子力設備規格 維持規格(2002年改訂版) JSME S MA1-2002※

高浜発電所第3号機検査計画(10カ年)

項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び割合	設備数	検査方法	検査の範囲及び割合						第16回	第17回	第18回	H19年	H20年	H21年	H22年	H23年	H24年	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年			
							可能範囲 各100%	可能範囲 各100%	可能範囲 各100%	可能範囲 各100%	可能範囲 各100%	可能範囲 各100%																	
B1.102	B-A	下部鋼の奥手溶接綫手	体 積	水柱UT (内面)	3	水柱UT (内面)	5%	1	水柱UT (内面)	5%	5%	5%	-	-	第19回	第20回	第21回	第22回	第23回	第24回	第25回	第26回	第27回	第28回	第29回				
B2.111	B-B	上部鋼と下部鋼との周溶接綫手	体 積	水柱UT (内面)	5%	1	水柱UT (内面)	5%	1	水柱UT (内面)	5%	5%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
B2.105	B-C	下部鋼とトランジショナリングとの溶接綫手	体 積	水柱UT (内面)	5%	1	水柱UT (内面)	5%	1	水柱UT (内面)	5%	5%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
B3.106	B-D	上部鋼板と上部蓋フランジとの溶接綫手	体 積	水柱UT (内面)	100%	-	U-T	-	1.5%	1.0%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
B3.10	B-E	冷却材入口管台と鋼との溶接綫手	体 積	水柱UT (内面)	100%	3	水柱UT (内面)	可能範囲 各100%	3	水柱UT (内面)	可能範囲 各100%	3	水柱UT (内面)	可能範囲 各100%	3	A(B) 可能範囲 各100%	-	-	-	-									
B3.20	B-F	冷却材入口管台内面の丸みの部分	体 積	水柱UT (内面)	100%	3	水柱UT (内面)	可能範囲 各100%	3	水柱UT (内面)	可能範囲 各100%	3	水柱UT (内面)	可能範囲 各100%	3	A(B) 可能範囲 各100%	-	-	-	-									
B5.10	B-G	冷却材入口管台とセーフエンジンの溶接綫手(呼び径100mm以上)※1	体積及び表裏面	水柱UT (内面)	100%	3	水柱UT (内面)	可能範囲 各100%	3	水柱UT (内面)	可能範囲 各100%	3	水柱UT (内面)	可能範囲 各100%	3	A(B) 可能範囲 各100%	-	-	-	-									
B6.10	B-G-1	ナット	V-T-1	100%	5.8	V-T-1	100%	5.8	U-T	100%	5.8	U-T	100%	5.8	V-T-1 (漏えい時又は取外し時)	100%	7	6	7	-	1.0	1.0	-	9	9	9	9	9	
B6.30	B-G-1	スタッドボルト	体 積	100%	5.8	U-T	100%	5.8	U-T	100%	5.8	U-T	100%	5.8	V-T-1 (漏えい時又は取外し時)	100%	7	6	7	-	1.0	1.0	-	9	9	9	9	9	
B6.40	B-G-1	鋼フランジネジ穴のネジ部	体 積	100%	5.8	U-T	100%	5.8	U-T	100%	5.8	U-T	100%	5.8	-	2.0	-	-	-	1.9	-	-	-	-	-	-	-		
B6.50	B-G-1	ワッシャ	V-T-1	100%	5.8	V-T-1	100%	5.8	V-T-1 (漏えい時又は取外し時)	100%	5.8	V-T-1 (漏えい時又は取外し時)	100%	5.8	V-T-1 (漏えい時又は取外し時)	100%	7	6	7	-	1.0	1.0	-	9	9	9	9	9	
B7.10	B-G-2	マーマカンツブリング	V-T-1	25%	3	V-T-1	25%	3	V-T-1 (漏えい時又は取外し時)	25%	1	V-T-1 (漏えい時又は取外し時)	25%	1	V-T-1 (漏えい時又は取外し時)	25%	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	

※ 制御基準施行(H25年7月)後は、維持規格 JSME S MA1-2008を適用する。

※1：新規制基準施行(H25年7月)後は、維持規格 JSME S MA1-2008を適用し、mmはAと読み替える。

## 検査間隔延長プログラム

1. 原子炉容器部		高浜発電所第3号機検査計画(10カ年)												備考							
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び留意点	設備数	検査方法	検査の範囲及び留意点	第16回	第17回	第18回	H19年	H20年	H21年	H22年	H23年	H24年	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年
G1.10	G-P-1	容器内部	VT-3	可能範囲 各後蓋部板每 全範囲の 各後蓋部板	1	VT-3	可能範囲 各後蓋部板每 全範囲の 各後蓋部板	1	VT-3	可能範囲 各後蓋部板每 全範囲の 各後蓋部板	1.00%	1.00%	-	第19回	第20回	保全サイクル 可能範囲 100%	-	第21回	保全サイクル 可能範囲 100%	第22回保全 サイクル	
G1.10	G-P-1	容器内部	VT-3	可能範囲 各後蓋部板	1	VT-3	可能範囲 各後蓋部板	1	VT-3	可能範囲 各後蓋部板	1.00%	1.00%	-	可能範囲 100%	-	可能範囲 100%	-	可能範囲 100%	可能範囲 100%	可能範囲 100%	
G1.60	G-P-1	炉心領域内の内部取付け物	VT-3	可能範囲 全範囲の 全範囲の 全範囲の	4	VT-3	可能範囲 全範囲の 全範囲の 全範囲の	4	VT-3	可能範囲 全範囲の 全範囲の 全範囲の	1.00%	1.00%	1.00%	1.00%	1.00%	可能範囲 100%	-	可能範囲 100%	可能範囲 100%	可能範囲 100%	
G1.40	G-P-1	上部炉心支持構造物の内部取付け物	VT-3	可能範囲 7.5%	1	VT-3	可能範囲 7.5%	1	VT-3	可能範囲 7.5%	1.00%	1.00%	-	可能範囲 100%	-	可能範囲 100%	-	可能範囲 100%	可能範囲 100%	可能範囲 100%	
G1.70	G-P-2	下部炉心支持構造物の内部取付け物	VT-3	可能範囲 7.5%	4	VT-3	可能範囲 7.5%	4	VT-3	可能範囲 7.5%	1.00%	1.00%	-	可能範囲 100%	-	可能範囲 100%	-	可能範囲 100%	可能範囲 100%	可能範囲 100%	
G1.50	G-P-2	上部炉心支持構造物	VT-3	可能範囲 1.00%	1	VT-3	可能範囲 1.00%	1	VT-3	可能範囲 1.00%	1.00%	1.00%	-	可能範囲 100%	-	可能範囲 100%	-	可能範囲 100%	可能範囲 100%	可能範囲 100%	
B14.10	B-0	制御機器駆動ハーリングの溶接継手 (上部) 制御機器駆動ハーリングの溶接継手 (下部)	VT-3	最外周2.0 (全52) 最外周2.3 (全55)	2	PT	最外周2.0 (全52) 最外周2.3 (全55)	2	PT	最外周2.0 (全52) 最外周2.3 (全55)	2.5%	2.5%	-	-	-	2	-	-	-	5	
B15.10	B-P	圧力保持範囲 (サポートドレフット、基盤ボルト)	VT-2	可能範囲 100%	-	VT-2	可能範囲 100%	2	PT	可能範囲 100%	1.00%	1.00%	-	可能範囲 100%	-	可能範囲 100%	-	可能範囲 100%	可能範囲 100%	可能範囲 100%	
F1.41	F-A	支持構造物 (サポートドレフット、基盤ボルト)	VT-3	2.5%	6	VT-3	2.5%	2	A出口	-	-	-	C出口	-	-	-	-	-	-	2	

※ 新規制基準施行(令和5年7月)後は、維持規格 JSME S NAI-2008を適用する。

## 検査間隔延長プログラム

高浜発電所第3号機検査計画(10カ年)										備考											
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び留意点	設備枚数	検査方法	検査の範囲及び留意点	H17年	H18年	H19年	H20年	H21年	H22年	H23年	H24年	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年	
B2_11	B-B	上部鋼と上部錫板との間繩手 下部鋼と下部錫板との間繩手	体積	5% 5%	1 1	UT UT	5% 5%	第16回 第17回	第18回	5%	-	第19回	第20回 サイクル	-	-	-	-	-	-	第22回 サイクル	
B2_12	B-B	上部鋼の長手繩手 下部鋼の長手繩手	体積	各10% 各10%	2 2	UT UT	各10% 各10%	A10% A10%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5% (重大事故等クラス2機器)	
B2_13	B-B	上部鋼と下部鋼との間繩手	体積	5%	1	UT	5%	-	-	-	-	B10%	-	-	-	-	-	-	-	(重大事故等クラス2機器)	
B3_30	B-D	管台と容器との接続継手	体積	2.5%	6	UT	2.5% 2	-	-	1(サージ 管台)	-	-	-	-	-	-	-	-	1(スフレ イ管台)		
B3_40	B-D	管台内面のみの部分	体積	2.5%	6	UT	2.5% 2	-	-	1(サージ 管台)	-	-	-	-	-	-	-	-	1(スフレ イ管台)		
管台とセーフエンドの接続手 (呼び径10mm以上)※1																					
B5_40	B-F	加工器具洗い弁管台 加工器具洗い弁管台 加工器具洗い弁管台 加工器具洗い弁管台	体積及び 表面	2.5% 2.5% 2.5% 2.5%	3 1 1 1	UT UT UT UT	2.5% 2 1 1	-	-	A	-	-	-	-	-	-	-	-	-	第19回定檢にてセーフエンド接続部を 60台全数に亘り検査。 (重大事故等クラス2機器)	
B7_20	B-G-2	マンホールの取付けボルト	VT-1	2.5%	16	VT-1 (漏えい時又は 取外し時)	2.5% 4	-	1	-	1	-	1	-	1	-	2	-	-	(重大事故等クラス2機器)	
B8_20	B-H	支持部材や容器への取付け溶接継手 (スカート溶接継手)	表面	7.5%	1	PT	7.5%	2.5%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(重大事故等クラス2機器)	
B15_20	B-P	圧力保持範囲	VT-2	100%	-	VT-2	可能範囲 100%	100%	可能範囲 100%	可能範囲 100%	-	可能範囲 100%	-	可能範囲 100%	-	可能範囲 100%	-	可能範囲 100%	-	可能範囲 100%	可能範囲 100%
F1_41	F-A	支持構造物(スカート、基礎ボルト)	VT-3	2.5%	1	VT-3	2.5%	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1 (重大事故等クラス2機器)	

※1：新規制基準施行(H25年7月)後は、維持規格 JSME S MA1-2008を適用する。  
※1：新規制基準施行(H25年7月)後は、維持規格 JSME S MA1-2008を適用し、mmはmm以外も許可される。

## 検査間隔延長プログラム

3. 蒸気発生器(／＼)

発電用原子力設備規格 維持規格(2002年改訂版) JSME S NA1-2002※

高浜発電所第3号機検査計画(10カ年)										備考					
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲及び程度	第1回	第16回	第17回	第18回	第19回	第20保全サイクル	第21保全サイクル	第22保全サイクル
B2_40	B-B	管板と水室鏡との溶接継手	体積	1基の2.5%	3	UT	1基の2.5%	C 9%	-	C 8%	-	-	-	C 8%	(重大事故等クラス2機器)
B3_80	B-D	冷却材入口管台の内面のえみの部分、冷却材出口管台の内面のえみの部分	体積	1基の2.5%	6	UT	1基の1%	-	-	C入口1	-	-	-	-	(重大事故等クラス2機器)
B5_70	B-F	冷却材入口管台とセーフエンドの溶接継手、冷却材出口管台とセーフエンドの溶接継手(呼び径100mm以上)※1	体積及び表面	1基の2.5%	6	UT PT	1基の2.5%	A出ロ1 [UT]*1	A出ロ3 [CT]*2 B出ロ2 [UT]*1	-	-	-	-	-	第1回にて入口管台の600合金による構成実施。 第1回にて出口管台のUDPを実施。 第1回にて出入口管台のUDPを実施。
B7_30	B-G-2	1次側マンホールの取付けボルト	VT-1	1基の2.5%	9.6	VT-1 (漏えい時又は脱外し時)	1基の8	C入ロ3	-	C入ロ2	-	C入ロ3	-	-	(重大事故等クラス2機器)
B15_30	B-P	圧力保持範囲	VT-2	可能範囲10.0%	-	VT-2	可能範囲10.0%	可能範囲10.0%	-	可能範囲10.0%	-	可能範囲10.0%	-	可能範囲10.0%	(重大事故等クラス2機器)
F1_41	F-A	支持構造物、ベースプレート、基礎ボルト	VT-3	1基の2.5%	1.2	VT-3	1基の2.5%	C 1	-	-	-	-	-	-	(重大事故等クラス2機器)

※1 NISA文書「加圧水型沸水炉の第一次冷却材圧力容器出入口管台溶接部の内面の点検実施について」に基づく検査を実施。

※2 NISA文書「蒸気発生器出入口管台溶接部の内面の点検実施について」(平成17.06.10原院第7号)に基づく検査を実施。

※3 鋼製制御盤施行(H25年7月)後は、維持規格 JSME S NA1-2008を適用する。

※4 鋼製制御盤施行(H25年7月)後は、維持規格 JSME S NA1-2008を適用、mmはmと読み替える。

## 検査間隔延長プログラム

高浜発電所第3号機検査計画(10カ年)												備考		
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数			
												H 1 7 年 第1回	H 1 8 年 第1回	
B7_50	B-G-2	圧力保持用ボルト締付け部 (直径も0mm以下) 配管の同種金属溶接継手 (呼び径10.0mm以上)※1 1次冷却材ポンプ封水注入ライン A、B、Cループ (21.5INID 836.00mm-29INID 31INID) 1次冷却材サージ管 (19B 355.80mm)	体 積	2.5%	4.6	UT	2.5% 1	A 1	A 1	-	A 1 B 1 C 1	-	-	-
B9_11	B-J	加工器サージ管 (68.355.80mm) 加工器安全弁ライン A、B、Cライン 加工器逃がし弁ライン (68) 加工器スプレーライン A、B、Cループ (48) 余熱除却ポンプ入口ライン B、Cループ (19B) 余熱除却ポンプ入口ライン B、Cループ (19B) S1-S磨耗法入ライン A、B、Cループ (68.165.98.50mm) S1-S温制低圧注入ライン A、Bループ S1-S温制低圧注入ライン A、B、Cループ (68) S1-S温制補助注入ライン A、B、Cループ (68) 配管の同種金属溶接継手 (呼び径10.0mm未満)※1 加工器逃がし弁ライン (36) 加工器取付スプレーライン (28.60.50mm) R-Tローワル及び閉止分岐管 A、B、Cループ 抽出・挿入及びドレンライン A、B、Cループ (38) CVC充てんライン (38.69.10mm) Bループ 1次冷却材ポンプ封水注入ライン A、B、Cループ (17B) 余熱除却ポンプ入口ライン A、B、Cループ (14B) 新規制基準施行(以降5年7月)後は、維持規格JSME S NA1-2008を適用する。 ※1 新規制基準施行(以降5年7月)に伴い、R-Cループ大により、全数実施する。 ※2 新規制基準施行(以降5年7月)に伴い、C1-C2に該当する。	表 面	2.5%	2.0	PT	2.5% 5	1	-	2	-	1	1	1
B9_21	B-J	表 面	2.5%	1.9	PT	2.5% 5	1	-	1	-	1	2	2	
		表 面	2.5%	7	PT	2.5%	2	-	B 1	-	A 1	C 1	A 1	
		表 面	2.5%	3.1	PT	2.5% 8	B 1	C 1	-	B 1	-	C 2	C 1	
		表 面	2.5%	8	PT	2.5% 2	A 1	-	B 1	-	A 1	-	※2 B 2 C 2	
		表 面	2.5%	3	PT	2.5% 1	-	-	A 1	-	※2 B 2 C 2	※2 B 2 C 2	※2 B 2 C 2	

## 検査間隔延長プログラム

高浜発電所第3号機検査計画(10カ年)												備考												
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲及び程度	第16回	第17回	第18回	H18年	H19年	H20年	H21年	H22年	H23年	H24年	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年		
												第20保全サイクル	第21保全サイクル											
B9.21	B-J	配管の同種金属溶接継手、※1 (呼び径100mm未満)、※1 SIS温制補助注入ランプ (A、B、Cループ) SIS温制補助注入ライン (A、B、Cループ)	表面	2.5%	12	P-T	2.5% 3	B1	-	C1	-	B1	-	B1	-	B1	-	B1	-	B1	-	B1	第22保全サイクル	
B9.31	B-J	母管と管台との溶接継手、※1 (呼び径100mm以上)、※1 1次金属性管 (A、B、Cループ) 母管と管台との溶接継手、※1 (呼び径100mm未満)、※1	体積	2.5%	11	UT	2.5% 3	A1	-	B1	-	B1	-	B1	-	C1	-	C1	-	C1	-	C1	(重大事故等クラス2機器)	
B9.32	B-J	1次金属性管 (A、B、Cループ) SIS温制低圧注入ランプ (A、Bループ) SIS温制低圧注入ライン (A、B、Cループ) 余熱排汽ポンブ入口ライン (11/4) B-Cループ	表面	2.5%	17	P-T	2.5% 5	A1	-	B1	C1	-	A1	-	B1	(重大事故等クラス2機器)								
B9.40	B-J	抜出手すり 抽出余巻袖出し及びドレンライン (A、B、Cループ) 1次金属性管ポンプ封水注入ライン (1/2B、48.60mm) A-B-Cループ SIS温制補助注入ランプ (A、B、Cループ) SIS温制補助注入ライン (A、B、Cループ) SIS温制補助注入ライン (A、B、Cループ)	表面	2.5%	3	P-T	2.5% 1	A1	-	A1	-	A1	-	A1	-	C1	-	C1	-	C1	-	C1	※2 ※2回全数実施	
B10.20	B-K	配管の支持部取付け接続部 抽出ライ 抽出ライ (38.10mm) Cループ	表面	7.5%	1	P-T	7.5% 1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	C1	(重大事故等クラス2機器)

4. 配管(2/3)

発電用原子力設備規格 基本規格(2002年改訂版) JSME S NAI-2002※

※1 新規制基準施行(25年7月)後は、維持規格 JSME S NAI-2008を適用する。  
 ※2 新規制基準施行(25年7月)に伴い、R-C-B拡大により、全数実施する。

## 検査間隔延長プログラム

4. 配置(3/3)

高浜発電所第3号機検査計画(10カ年)										備考								
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	設備数	検査の範囲及び頻度	検査の範囲及び頻度	H 17 年 第1回	H 18 年 第16回	H 19 年 第17回	H 20 年 第18回	H 21 年 第19回	H 22 年 第20保全サイクル	H 23 年 第20保全サイクル	H 24 年 第20保全サイクル	H 25 年 第20保全サイクル	H 26 年 第20保全サイクル	H 27 年 第22保全サイクル	H 28 年 第22保全サイクル
B15.50	B-P	圧力保持範囲	VT-2	可能範囲 100%	-	VT-2	可能範囲 100%	可能範囲 100%	可能範囲 100%	可能範囲 100%	可能範囲 100%	可能範囲 100%	可能範囲 100%	可能範囲 100%	可能範囲 100%	可能範囲 100%	可能範囲 100%	
		支持構造物																
		加工工具サージ管	VT-3	2.5%	9	VT-3	2.5% 3	1								-	1	
		加工工具油がし弁ライン	VT-3	2.5%	19	VT-3	2.5% 5	1								2	-	
		加工工具フレイライン A. Cループ	VT-3	2.5%	62	VT-3	2.5% 16	A.2	C.2	C.1	-	A.3 C.3	-	A.2	C.3			
		余熱除蒸シップローライン B. Cループ	VT-3	2.5%	15	VT-3	2.5% 4		B.1	-		C.1	-	B.1		日1		
		余熱除蒸シップローライン B. Cループ	VT-3	2.5%	22	VT-3	2.5% 2.2									※1 ※2回全数実施 (重大事故等クラス2機器)		
		加工工具油スプレイライン	VT-3	2.5%	22	VT-3	2.5% 6									※1 ※2回全数実施 (重大事故等クラス2機器)		
		CVCSホーンライン Bループ	VT-3	2.5%	6	VT-3	2.5% 2		A.1			B.1	-	2	-	2		
		抽出・金剛抽出及びドレンライン A. B. Cループ	VT-3	2.5%	32	VT-3	2.5% 8	A.1	B.1	C.1	-	A.1 C.1	B.1	-	A.1	C.1		
		1次ホースガング封水注入ライン A. B. Cループ	VT-3	2.5%	19	VT-3	2.5% 5	A.1				B.1	C.1	-	A.1	B.1		
		SIS警報注入ライン A. B. Cループ	VT-3	2.5%	32	VT-3	2.5% 8	A.1	B.1	-	C.1	A.1 B.1	-	B.1	C.2	(重大事故等クラス2機器)		
		SIS警報低圧注入ライン A. B. Cループ	VT-3	2.5%	21	VT-3	2.5% 6	A.1	B.1			A.2	-	A.1	B.1			
		SIS低圧注入ライン A. B. Cループ	VT-3	2.5%	27	VT-3	2.5% 7	A.1	B.1			C.1	A.1	-	B.1	C.2	(重大事故等クラス2機器)	
		SIS警報補助注入ライン A. B. Cループ	VT-3	2.5%	22	VT-3	2.5% 6	A.1	B.1			C.1	B.1	-	C.1	C.1		
		SIS低圧補助注入ライン A. B. Cループ	VT-3	2.5%	13	VT-3	2.5% 4					A.1	-	B.1	-	C.1		
		SIS警報低圧注入ライン A. B. Cループ	VT-3	2.5%	24	VT-3	2.5% 6	A.1	B.1	-	C.1	A.1	-	B.1	C.1			

※「新規制基準施行(5年7月)後は、維持規格「SHE S MA-2008」を適用する。  
※1 新規制基準施行(5年7月)に伴い、RCF 日拡大により、全数実施する。

## 検査間隔延長プログラム

5. 1次結合部用ボンブ(1／1) 発電用原子力設備機器 維持規格(2002年改訂版) JSME S MAI-2002※		高浜発電所第3号機検査計画(10カ年)												備考				
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び割合	設備構造	検査方法	検査の範囲及び割合	H17年 第1回	H18年 第1回	H19年 第1回	H20年 第1回	H21年 第1回	H22年 第1回	H23年 第1回	H24年 第1回	H25年 第2回全サイクル	H26年 第2回全サイクル	H27年 H28年 H29年
B6_180	B-G-1	スタッドドボルト	体積	1台の25%	7.2	UT (接続又は取外し時)	1台の25% 6								-	第22保全サイクル		
B6_190	B-G-1	フランジ表面	VT-1	1台の25%	7.2	VT-1	1台の25% 6								-	C6		
B6_200	B-G-1	ナット	VT-1	1台の25%	7.2	VT-1 (漏えい時又は取外し時)	1台の25% 6								-	C6		
		ワッシャ	VT-1	1台の25%	7.2	VT-1 (漏えい時又は取外し時)	1台の25% 6								-	C6		
B12_20	B-L-2	ケーシングの内表面	VT-3	1	3	VT-3	1								-	C1		
B15_60	B-P	圧力保持範囲	VT-2	可能範囲 10.0%	-	VT-2	可能範囲 10.0%	-	可能範囲 10.0%	可能範囲 10.0%								
F1_41	F-A	支持構造物(支持脚、ベースプレート、基礎ボルト)	VT-3	1台の25%	9	VT-3	1台の25% 1								-	C1		

※：新規制基準施行(H25年7月)後は、維持規格 JSME S MAI-2008を適用する。

## 検査間隔延長プログラム

6. 井(1／2)

発電用原子力設備規格 維持規格(2002年改訂版) JSME S MAI-2002※

項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び割度	設備数	検査方法	高 洋 発 電 所 第 3 号 機 構 施 計 画 (10カ年)						備考	
							H 1 8 年	H 1 9 年	H 2 0 年	H 2 1 年	H 2 2 年	H 2 3 年	H 2 4 年	
		圧力保全用ボルト継付部 (直径 50mm 以下)												
	加工機工具ライン A, B, C ライン 3V-RC-055 3V-RC-056 3V-RC-057	VT-1	類似弁ごとに 1台の25%	2.4	VT-1 (漏えい時又は 取外し時)	3V-RC-057 8	-	-	-	-	-	-	-	(重大事故等クラス 2 機器)
	加工機過送がし弁ライン 3V-RC-054A 3V-RC-054B 3V-RC-054C 3PC-455A 3PC-455B	VT-1	類似弁ごとに 1台の25%	3.0	VT-1 (漏えい時又は 取外し時)	3V-RC-054A 1.0	-	-	-	-	-	-	-	(重大事故等クラス 2 機器)
	加工機スケーリング A, C ライン 3PC-454A 3PC-454B	VT-1	類似弁ごとに 1台の25%	1.8	VT-1 (漏えい時又は 取外し時)	3V-RC-455B 6	-	-	-	-	-	-	-	(重大事故等クラス 2 機器)
	加工機構部スプレーライン 3V-CS-225	VT-1	類似弁ごとに 1台の25%	6	VT-1 (漏えい時又は 取外し時)	3V-RC-454A 8	-	-	-	-	-	-	-	(重大事故等クラス 2 機器)
	CVC-S 気吹んじん B ライン 3V-CS-233 3V-CS-234	VT-1	類似弁ごとに 1台の25%	2.0	VT-1 (漏えい時又は 取外し時)	3V-CS-225 6	-	-	-	-	-	-	-	(重大事故等クラス 2 機器)
	抽出・余剰抽出及びドレンライン A, B, C ライン 3V-RC-019A 3V-RC-019B 3V-RC-019C	VT-1	類似弁ごとに 1台の25%	2.4	VT-1 (漏えい時又は 取外し時)	3V-RC-017 1.0	-	-	-	-	-	-	-	(重大事故等クラス 2 機器)
B7.70	B-6-2	3V-RC-017	VT-1	類似弁ごとに 1台の25%	1.0	VT-1 (漏えい時又は 取外し時)	3V-RC-017 1.0	-	-	-	-	-	-	3V-CS-234 1.0
	3LCV-451 3LCV-452	VT-1	類似弁ごとに 1台の25%	1.2	VT-1 (漏えい時又は 取外し時)	3LCV-451 6	-	-	-	-	-	-	-	(重大事故等クラス 2 機器)
	余熱除湿ポンプ入ロラン B, C ライン 3PC-420 3PC-430	VT-1	類似弁ごとに 1台の25%	3.6	VT-1 (漏えい時又は 取外し時)	3V-RC-430 1.8	-	-	-	-	-	-	-	(重大事故等クラス 2 機器)
	S1S 壓力注入ライン A, B, C ライン 3V-SL-134A, 136A 3V-SL-136B, 138B 3V-SL-136C, 138C	VT-1	類似弁ごとに 1台の25%	9.6	VT-1 (漏えい時又は 取外し時)	3V-SL-136B 1.6	-	-	-	-	-	-	-	(重大事故等クラス 2 機器)
	S1S 温度制御注入ライン A, B ライン 3V-SL-208A, 208B 3V-SL-208A, 209B	VT-1	類似弁ごとに 1台の25%	5.6	VT-1 (漏えい時又は 取外し時)	3V-SL-136B 1.4	-	-	-	-	-	-	-	(重大事故等クラス 2 機器)
	S1S 温度低圧注入ライン A, B, C ライン 3V-SL-202A, 203A 3V-SL-202B, 203B 3V-SL-202C, 203C	VT-1	類似弁ごとに 1台の25%	8.4	VT-1 (漏えい時又は 取外し時)	3V-SL-136B 1.4	-	-	-	-	-	-	-	(重大事故等クラス 2 機器)

※ 削減実施計画(井 5 年 7 月)後は、維持規格 JSME S MAI-2008 を適用する。  
※ 1 新規制基準施行(井 5 年 7 月)に伴い、RC-0 大により、全数実施する。

## 検査間隔延長プログラム

6. 井(2)／2  
発電用原子力設備規格 執持規格(2002年改訂版) JSGE S MAI-2002※

高 洋 発 電 所 第 3 号 機 檢 査 計 画 (10か年)										備考										
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び頻度	設備数	検査方法	検査の範囲及び頻度	H 17 年	H 18 年	H 19 年	H 20 年	H 21 年	H 22 年	H 23 年	H 24 年	H 25 年	H 26 年	H 27 年	H 28 年	H 29 年
		(圧力保持用ガントリ等付帯部) S 1-S プラット	V T-1	類似弁ごとに1台の25%	1.4	V T-3 (閥室は取外し時)	類似弁ごとに1台の25%	第1回	第16回	第18回	-	第19回	第20回	第21回	第22回	サイクル	第20回	サイクル	第21回	サイクル
B7.70	B-G-2	弁本体の内表面	V T-3 A. B. C ライブ 3V-SI-088	類似弁ごとに1台の25%	1.4	V T-3 (閥室は取外し時)	類似弁ごとに1台の25%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3V-SI-088 1.4
B12.50	B-H-2	S 1-S 管道配管ライン A. B. C ライブ 3V-SI-154A, 36A 3V-RH-0356 3V-SI-154C, 36C	V T-3 A. B. C ライブ 3V-SI-154B, 36B 3V-SI-154C, 36C	類似弁ごとに1台の25%	1.4	V T-3 (閥室は取外し時)	類似弁ごとに1台の25%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(重大事故等クラス2機器)
B15.70	B-P	支待構造物	V T-3 A. B. C ライブ 3V-SI-088	類似弁ごとに1台の25%	1.00%	-	V T-2 可能範囲	V T-3 可能範囲	3V-SI-203C 1											
F1.41	F-A	抽出手ライブ A. C ライブ 3L-CV-454 3P-CV-454B 3V-CS-225	V T-3 A. B. C ライブ 3P-CV-455A 3P-CV-455B 3P-CV-455C 3P-CV-456 3P-CV-456C 3P-CV-457	類似弁ごとに1台の25%	1.00%	V T-3 A. B. C ライブ 3P-CV-454 3P-CV-454B 3V-CS-225	類似弁ごとに1台の25%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(重大事故等クラス2機器)
		加压器スプレーライン A. C ライブ 3L-CV-451 3L-CV-452	V T-3 A. B. C ライブ 3P-CV-420 3P-CV-430	類似弁ごとに1台の25%	1.00%	V T-3 A. B. C ライブ 3P-CV-454 3V-RH-033A 3V-SI-088	類似弁ごとに1台の25%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3P-CV-451 1
		余熱除蒸ボンブローライン A. B. C ライブ 3V-SI-088	V T-3 A. B. C ライブ 3V-SI-088	類似弁ごとに1台の25%	1.00%	V T-3 A. B. C ライブ 3V-SI-088	類似弁ごとに1台の25%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3V-SI-088 1

※1 新規制基準施行(平成25年7月)後は、維持規格「JSGE S MAI-2008」を適用する。  
※1 新規制基準施行(平成25年7月)に伴い、R C-1 日拡大により、全数実施する。

# クラス2機器供用期間中検査

## 1. 余熱除去冷却器 (1/1)

		高浜発電所第3号機検査計画(10ヵ年)										備考				
項目番号	項目カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲及び程度		第21保全サイクル	第22保全サイクル	第23保全サイクル	第24保全サイクル	第25保全サイクル	第26保全サイクル	第27保全サイクル	
							H27年	H28年	H29年	H30年	H31年	H32年	H33年	H34年	H35年	H36年
C1.10	C-A	管側胴と管側フランジとの周溶接継手	体積	1基の7.5%	2	UT	1基の7.5%	A 7.5%								(重大事故等クラス2機器)
C1.20	C-A	管側鏡と管側胴との溶接継手	体積	1基の7.5%	2	UT	1基の7.5%	A 7.5%								(重大事故等クラス2機器)
C2.21	C-B	管側入口管台及び管側出口管台と管側胴との溶接継手	体積及び表面	7.5%	4	UT PT	7.1									(重大事故等クラス2機器)

## 2. 配管 (1/4)

高浜発電所第3号機検査計画(10カ年)												備考		
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲及び程度	H27年 H28年 H29年 H30年 H31年 H32年 H33年 H34年 H35年 H36年						
								H27年	H28年	H29年	H30年	H31年	H32年	
		配管の支持部材取付け溶接継手												
		余熱除去ポンプ入口ライン (318.50mm, 355.60mm) A、Bライン	表面	7. 5% 1.2	P T	7. 5% 1	A 1							
		余熱除去ポンプ出口ライン (267.40mm) A、Bライン	表面	7. 5% 3	P T	7. 5% 1	A 1							
		S1S高温制低圧注入ライン (267.40mm) Aライン	表面	7. 5% 4	P T	7. 5% 1	A 1							
		S1S低温制低圧注入ライン (165.20mm, 267.40mm) A、B、Cライン	表面	7. 5% 1.1	P T	7. 5% 1								
		S1S高温制助注入ライン (60.50mm, 68.10mm) A、B、C、共通ライン	表面	7. 5% 1.0	P T	7. 5% 1								
		S1S低温制助注入ライン 井通ライン	表面	7. 5% 2	P T	7. 5% 1								
		補助注入ライン (99.10mm, 114.30mm)	表面	7. 5% 4	P T	7. 5% 1								
		S1S低温制ほうう酸注入ライン 共通ライン	表面	7. 5% 3	P T	7. 5% 1	共通1							
		充てん／高压注入ポンプ入ロライン (216.30mm)	表面	7. 5% 3	P T	7. 5% 1								
		充てん／高压注入ポンプ出ロライン (89.10mm, 114.30mm)	表面	7. 5% 3	P T	7. 5% 1								
		1次冷却材管高压注入ライン (89.10mm)	表面	7. 5% 2	P T	7. 5% 1								
		1次冷却材管低温制高压注入ライン (89.10mm)	表面	7. 5% 2	P T	7. 5% 1								
		1次冷却材管高压注入ライン ほうう酸注入タンク入口制	表面	7. 5% 2	P T	7. 5% 1								
		1次冷却材管低温制高压注入ライン (89.10mm)	表面	7. 5% 2	P T	7. 5% 1								
		格納容器再循環サンプル出口制 (355.50mm) A、Bライン	表面	7. 5% 8	P T	7. 5% 1	A 1							

## 2. 配管 (2/4)

高浜発電所第3号機検査計画(10カ年)										備考							
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲及び程度	H27年	H28年	H29年	H30年	H31年	H32年	H33年	H34年	H35年	H36年
05.11	C-F	配管の耐圧部分の溶接継手(呼び径100Aを超えるもの) (12B, 4B, 318, 50mm) A. Bライン	体積又は表裏面	7. 5 %	6.2	P T	7. 5 %	A.1				第24保全サイクル	第25保全サイクル	第26保全サイクル	第27保全サイクル	第28保全サイクル	第29保全サイクル
		S 1 S 寒温制低圧主入ライン (B.108, 267, 40mm) A. B. Cライン	体積及び表裏面	7. 5 %	1.7	U T P T	7. 5 %	A.1				A.1	-	B.1	-	B.1	(重大部改修クラス2機器)
		S 1 S 低温制低圧主入ライン (B.108, 165, 20mm, 267, 40mm) A. B. Cライン	体積及び表裏面	7. 5 %	6.0	U T P T	7. 5 %	A.1 B.1	A.1 (P.T.)						A.1	-	
		格納容器再循環サンプ出口ライン (14B, 355, 60mm) A. B. Cライン	体積又は表裏面	7. 5 %	2.5	P T	7. 5 %					A.1		B.1	-		(重大部改修クラス2機器)

## 2. 配管 (3 / 4)

## 2. 配管 (4/4)

発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSME S MA1-2008		高浜発電所第3号機検査計画(10カ年)										備考					
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲及び程度	H27年	H28年	H29年	H30年	H31年	H32年	H33年	H34年	H35年	H36年
F1.21 F-A	支持構造物	余熱除害ポンプ入ロライン A、Bライン	VT-3	7. 5%	5.2	VT-3	7. 5%	A.1									
		余熱除害ポンプ出ロライン A、Bライン	VT-3	7. 5%	8.0	VT-3	7. 5%	B.1									
		SIS高温側低圧注入口ライン Aライン	VT-3	7. 5%	2.0	VT-3	7. 5%										
		SIS低温側低圧注入口ライン A、B、Cライン	VT-3	7. 5%	4.6	VT-3	7. 4%										
		補助注入ライン	VT-3	7. 5%	2.3	VT-3	7. 5%										
		充てん／高压注入ポンプ出ロライン	VT-3	7. 5%	2.7	VT-3	7. 5%										
		充てん／高压注入ポンプ出ロライン	VT-3	7. 5%	2.3	VT-3	7. 5%										
		格納容器再循環サンプ出ロライン A、Bライン	VT-3	7. 5%	1.6	VT-3	7. 5%										

## 3. 余熱除去ポンプ (1/1)

発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版)		JSME S NAI-2008		高浜発電所 第3号機検査計画(10カ年)										備考			
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲及び程度	H27年	H28年	H29年	H30年	H31年	H32年	H33年	H34年	H35年	H36年
C6.10	C-G	ケーシングの接続部	表面	1台の7.5%	4	P T	1台の7.5%										
F1.43	F-A	ポンプの台板脚	VT-3	1台の7.5%	4	VT-3	1台の7.5%								A.1		

## 4. 幷(1/1)

発電用原子力設備規格(2008年版) 維持規格(JSME S NAI-2008)		高浜発電所第3号機検査計画(10カ年)																
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲及び程度	H27年	H28年	H29年	H30年	H31年	H32年	H33年	H34年	H35年	H36年	備考
F1.43 F-A	支持構造物	余熱除去ポンプ入口ライン A、Bライン 3V-RH-041A 3V-RH-041B	VT-3	類似弁ごと に1台の 7.5%	4	VT-3	類似弁ごと に1台の 7.5%	3V-RH-041A 1										(重大事故等クラス2機器)
		余熱除去ポンプ出口ライン A、Bライン 3V-RH-024A 3V-RH-024B	VT-3	類似弁ごと に1台の 7.5%	2	VT-3	類似弁ごと に1台の 7.5%	3V-RH-024A 1										(重大事故等クラス2機器)
		余熱除去ポンプ出口ライン A、Bライン 3PV-601 3PV-611	VT-3	類似弁ごと に1台の 7.5%	2	VT-3	類似弁ごと に1台の 7.5%	3PV-611 1										(重大事故等クラス2機器)
		余熱除去ポンプ出口ライン A、Bライン 3FCV-603 3FCV-613	VT-3	類似弁ごと に1台の 7.5%	4	VT-3	類似弁ごと に1台の 7.5%	3FCV-603 1										(重大事故等クラス2機器)
		余熱除去ポンプ出口ライン A、Bライン 3FCV-604 3FCV-614	VT-3	類似弁ごと に1台の 7.5%	4	VT-3	類似弁ごと に1台の 7.5%	3FCV-614 1										(重大事故等クラス2機器)
		SIS低圧注入ライン A、Cライン 3V-SI-197A 3V-SI-197B	VT-3	類似弁ごと に1台の 7.5%	2	VT-3	類似弁ごと に1台の 7.5%	3V-SI-197B 1										(重大事故等クラス2機器)
		SIS高温副注入ライン 3V-SI-082 3V-SI-101 3V-SI-301 3V-SI-303	VT-3	類似弁ごと に1台の 7.5%	8	VT-3	類似弁ごと に1台の 7.5%	3V-SI-101 1										(重大事故等クラス2機器)
		SIS低温副注入ライン 3V-SI-094 3V-SI-302	VT-3	類似弁ごと に1台の 7.5%	4	VT-3	類似弁ごと に1台の 7.5%	3V-SI-094 1										(重大事故等クラス2機器)
		SIS低温副注入ライン 3V-SI-042A 3V-SI-042B	VT-3	類似弁ごと に1台の 7.5%	4	VT-3	類似弁ごと に1台の 7.5%	3V-SI-042A 1										(重大事故等クラス2機器)

## 5. クラス2機器漏えい検査 (1/7)

発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSME S NA1-2008		高浜発電所第3号機検査計画(10か年)										備考 (漏えい区分)				
項目番号	カテゴリ	漏えい検査範囲 ライン名称	検査方法	運転圧力又は 最高使用圧力 MPa	検査圧力 MPa	検査方法	H27年	H28年	H29年	H30年	H31年	H32年	H33年	H34年	H35年	H36年
C7.10 C7.30 C7.70	化学体積制御システム															
C7.10 C7.30 C7.50 C7.70	体積制御タンク及び出入口ライン	VT-2	0.11	0.11	VT-2											
C7.10 C7.30 C7.50 C7.70	A-充てん／高压注入ポンプ出ロライン	VT-2	17.76	17.76	VT-2											
C7.30 C7.50 C7.70	B-充てん／高压注入ポンプ出ロライン	VT-2	17.76	17.76	VT-2	○										
C7.10 C7.30 C7.70	抽出ライン(1)	VT-2	15.41	15.41	VT-2	○										
C7.10 C7.30 C7.70	抽出ライン(2)	VT-2	2.16	2.16	VT-2	○										
C7.30 C7.70	抽出ライン(3)	VT-2	0.46	0.46	VT-2								○			
C7.30 C7.70	封水廻りライン(PEN#217)	VT-2	0.20	0.20	VT-2	○										
C7.10 C7.30 C7.70	体積制御タンク入ロライン	VT-2	0.19	0.19	VT-2	○										
C7.30 C7.50 C7.70	もう酸タンク出入口ライン	VT-2	大気圧	水張り	VT-2	○										
C7.10 C7.30 C7.50 C7.70	もう酸ポンプ出ロライン	VT-2	0.71	0.71	VT-2										○	

## 5. クラス2機器漏えい検査(2/7)

		高浜発電所第3号機検査計画(10か年)										(漏えい区分)					
項目番号	カテゴリ	漏えい検査範囲 ライン名称		検査方法	運転圧力又は 最高使用圧力 MPa	検査圧力 MPa	検査方法	H27年	H28年	H29年	H30年	H31年	H32年	H33年	H34年	H35年	H36年
C7.30 C7.50 C7.70	C-H	余熱除去系統															
A-余熱除去ポンプ入ロライン B-余熱除去ポンプ出ロライン		VT-2	2.75	2.75	VT-2												
C7.10 C7.30 C7.50 C7.70	C-H	A-余熱除去ポンプ出ロライン B-余熱除去ポンプ出ロライン		VT-2	2.75	2.75	VT-2					○	-	-	-	(3-11)	
C7.30 C7.70	C-H	燃料取替用水系統															
		燃料取替用水タンク出ロライン 燃料取替用水タンク原子炉キャビティ連絡ライン(PEN#222)		VT-2	大気圧	水張り	VT-2	○									
C7.30 C7.70	C-H			VT-2	0.14	0.14	VT-2	○									

## 5. クラス2機器漏えい検査(3/7)

発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSME S NA1-2008

高浜発電所第3号機検査計画(10カ年)

項目番号	カテゴリ	漏えい検査範囲 ライン名称	検査方法	運転圧力又は 最高使用圧力 MPa	検査圧力 MPa	検査方法	高浜発電所第3号機検査計画(10カ年)						備考 (漏えい区分)	
							H27年	H28年	H29年	H30年	H31年	H32年	H33年	
C7.10 C7.30 C7.70	C-H	安全注入系統	VT-2	4.22	4.22	VT-2	○	○	-	-	-	-	-	一部又は全部を気圧により検査 (3-16)
C7.10 C7.30 C7.70	C-H	蓄圧タンク及び出入口ライン 〔ほう酸注入タンク及び出入口ライン〕	VT-2	8.00	8.00	VT-2	-	○	-	-	-	-	-	(3-17)
C7.10 C7.30 C7.70	C-H	蓄圧タンク注入ライン(PEN#216) 蓄圧タンクテストライン(PEN#227)	VT-2	4.40	4.40	VT-2	-	-	-	-	-	-	-	(3-43)
C7.10 C7.30 C7.70	C-H	充てんノ高压注入ポンプ出口安全注入ライン(2) 充てんノ高压注入ポンプ出口安全注入ライン(3)	VT-2	8.00	8.00	VT-2	-	○	-	-	-	-	-	(3-44)
C7.10 C7.30 C7.70	C-H	充てんノ高压注入ポンプ出口安全注入ライン(4)	VT-2	8.00	8.00	VT-2	-	○	-	-	-	-	-	(3-19)
C7.10 C7.30 C7.70	C-H	格納容器再循環サンプ出ロライン(余熱除去ポンプ側)	VT-2	4.91kPa	4.91kPa	VT-2	-	-	-	-	-	-	-	(3-22)
C7.10 C7.30 C7.70	C-H	格納容器スプレイ系統	VT-2	34.4kPa	34.4kPa	VT-2	-	-	-	-	-	-	-	(3-23)
C7.10 C7.30 C7.70	C-H	よう素除去薬品タンク及び出入口ライン	VT-2	34.4kPa	34.4kPa	VT-2	-	○	-	-	-	-	-	一部又は全部を気圧により検査 (3-24)
C7.10 C7.30 C7.70	C-H	よう素除去薬品タンク出口ライン	VT-2	34.4kPa	34.4kPa	VT-2	-	○	-	-	-	-	-	(3-85)
C7.10 C7.30 C7.70	C-H	A-格納容器スプレイボンブ出ロライン B-格納容器スプレイボンブ出ロライン	VT-2	0.36	0.36	VT-2	-	○	-	-	-	-	-	(3-25)
C7.10 C7.30 C7.50 C7.70	C-H	A-格納容器スプレイボンブ出ロライン B-格納容器スプレイボンブ出ロライン	VT-2	1.97	1.97	VT-2	-	○	-	-	-	-	-	(3-26)
C7.10 C7.30 C7.70	C-H	格納容器スプレイボンブ出ロライン	VT-2	1.97	1.97	VT-2	-	○	-	-	-	-	-	(3-27)
C7.10 C7.30 C7.70	C-H	格納容器再循環サンプ出ロライン(格納容器スプレイボンブ側)	VT-2	1.64	1.64	VT-2	○	-	-	-	-	-	-	(3-28)
C7.10 C7.30 C7.70	C-H	格納容器再循環サンプ出ロライン(格納容器スプレイボンブ側)	VT-2	4.91kPa	4.91kPa	VT-2	-	○	-	-	-	-	-	(3-29)

## 5. クラス2機器漏えい検査 (4/7)

発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSME S NA1-2008

		高浜発電所第3号機検査計画(10カ年)												(備考) (漏えい区分)												
項目番号	カテゴリ	漏えい検査範囲 ライン名称	検査方法	運転圧力又は 最高使用圧力 MPa	検査圧力 MPa	検査方法	H27年		H28年		H29年		H30年		H31年		H32年		H33年		H34年		H35年		H36年	
							H21保全 サイクル	第21保全 サイクル	H22保全 サイクル	第22保全 サイクル	H23保全 サイクル	第23保全 サイクル	H24保全 サイクル	第24保全 サイクル	H25保全 サイクル	第25保全 サイクル	H26保全 サイクル	第26保全 サイクル	H27保全 サイクル	第27保全 サイクル	H28保全 サイクル	第28保全 サイクル	H29保全 サイクル	第29保全 サイクル	H30保全 サイクル	第30保全 サイクル
C7.10 C7.30 C7.70	C-H	主給水系統																								
A-蒸気発生器給水入口ライン B-蒸気発生器給水入口ライン		VT-2	5.30	5.30	VT-2								O	-												
		主蒸気系統																								
		A-蒸気発生器出口ライン B-蒸気発生器出口ライン	VT-2	5.30	5.30	VT-2																				
C7.30 C7.70	C-H	1次系補給水系統																								
		加圧器逃がしタンクPMW供給ライン(PEN#279)	VT-2	0.80	0.80	VT-2							O	-												
C7.30 C7.70	C-H	1次系補給水ライン(PEN#268)	VT-2	0.60	0.60	VT-2																				
		廃棄物処理系統																								
		蓄圧タンク窒素ガスライン(PEN#218)	VT-2	4.40	4.40	VT-2																				
C7.30 C7.70	C-H	格納容器冷却材ドレンポンプ出ロライン(PEN#225) 格納容器サンプポンプ出ロライン(PEN#234)	VT-2	0.70	0.70	VT-2							O	-												
				0.15	0.15	VT-2							O	-												

## 5. クラス2機器漏えい検査(5/7)

高浜発電所第3号機検査計画(10カ年)										備考 (漏えい区分)						
項目番号	カテゴリ	漏えい検査範囲 ライン名称	検査方法	運転圧力又は 最高使用圧力 MPa	検査圧力 MPa	検査方法	H27年 H28年 H29年 H30年 H31年 H32年 H33年 H34年 H35年 H36年			第27保全 サイクル	第26保全 サイクル					
							H27年	H28年	H29年	H30年	H31年	H32年	H33年	H34年	H35年	H36年
C730 C770	蒸気発生器プローダウンシステム															
	A-蒸気発生器プローダウンライン(PEN#319) B-蒸気発生器プローダウンライン(PEN#318) C-蒸気発生器プローダウンライン(PEN#317)	VT-2	4.80	4.80	VT-2	O			-							(3-45-1)
	試料採取系統															(3-45-2)
	A-蒸気発生器プローダウンサンブルライン(PEN#259L) B-蒸気発生器プローダウンサンブルライン(PEN#259M) C-蒸気発生器プローダウンサンブルライン(PEN#259R)	VT-2	4.80	4.80	VT-2	O			-							(3-45-3)
	加圧器底部サンブルライン(PEN#231R) 加圧器液相部・ループ高溫側サンブルライン(PEN#231M)	VT-2	4.80	4.80	VT-2											(3-46-1)
C730 C770	Aループ高溫側サンブルライン(PEN#235) 蓄圧タンクサンブルライン(PEN#231L)	VT-2	15.41	15.41	VT-2											(3-46-2)
																(3-46-3)
																(3-60)
																(3-61)
																(3-64)
																(3-65)

## 5. クラス2機器漏えい検査(6/7)

発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSME S MA1-2008		高浜発電所第3号機検査計画(10カ年)										備考 (漏えい区分)				
項目番号	カテゴリ	漏えい検査範囲 ライン名称	検査方法	運転圧力又は最高使用圧力 MPa	検査圧力 MPa	検査方法	H27年	H28年	H29年	H30年	H31年	H32年	H33年	H34年	H35年	H36年
		原子炉補機冷却水系統														
		CRDM冷却ユニット他冷却水入口ライン(PEN#313)	VT-2	0.60	0.60	VT-2							O	-		(3-56)
		CRDM冷却ユニット他冷却水出口ライン(PEN#314)	VT-2	0.07	0.07	VT-2							O	-		(3-57)
		RCP冷却水入口ライン(PEN#312)	VT-2	0.50	0.50	VT-2							-	-		(3-58)
		RCP冷却水出口ライン(PEN#311)	VT-2	0.07	0.07	VT-2							-	-		(3-59)
		A・B-C/V再循環ユニット冷却水入口ライン(PEN#255)	VT-2	0.60	0.60	VT-2	O						-	-		(3-87)
		A-C/V再循環ユニット冷却水出口ライン(PEN#256)	VT-2	0.50	0.50	VT-2	O						-	-		(3-88)
C7.30 C7.70	C-H	B-C/V再循環ユニット冷却水出口ライン(PEN#257)	VT-2	0.50	0.50	VT-2							O	-		(3-89)
		C-D-C/V再循環ユニット冷却水入口ライン(PEN#229)	VT-2	0.60	0.60	VT-2							-	-		(3-90)
		C-C/V再循環ユニット冷却水出口ライン(PEN#230)	VT-2	0.50	0.50	VT-2							O	-		(3-91)
		D-C/V再循環ユニット冷却水出口ライン(PEN#232)	VT-2	0.50	0.50	VT-2							-	O	-	(3-92)
		DRPI室冷却ユニット冷却水入口ライン(PEN#274)	VT-2	0.25	0.25	VT-2	O						-	-		(3-93)
		DRPI室冷却ユニット冷却水出口ライン(PEN#275)	VT-2	0.25	0.25	VT-2							-	O	-	(3-94)

## 5. クラス2機器漏えい検査 (7/7)

		高浜発電所第3号機検査計画(10カ年)												(備考) (漏えい区分)			
項目番号	カテゴリ	漏えい検査範囲 ライン名称	検査方法	運転圧力又は 最高使用圧力 MPa	検査圧力 MPa	検査方法	H27年	H28年	H29年	H30年	H31年	H32年	H33年	H34年	H35年	H36年	
							H27年	H28年	H29年	H30年	H31年	H32年	H33年	H34年	H35年	H36年	
C730 C770	C-H	空気系統 制御用空気ライン(PEN#260)	VT-2	0.66	0.66	VT-2	O										一部又は全部を気圧により検査 (3-74)
C730 C770	C-H	制御用空気加压器逃がし弁用供給ライン(1)(PEN#262)	VT-2	0.66	0.66	VT-2	O										一部又は全部を気圧により検査 (3-75)
C730 C770	C-H	制御用空気加压器逃がし弁用供給ライン(2)(PEN#284)	VT-2	0.66	0.66	VT-2	O										一部又は全部を気圧により検査 (3-76)
C730 C770	C-H	所内用空気供給ライン(PEN#265)	VT-2	0.71	0.71	VT-2	O										一部又は全部を気圧により検査 (3-77)
		消火水系統															
C730 C770	C-H	消火水ライン(PEN#271)	VT-2	1.30	1.30	VT-2	O										(3-78)
		炭酸ガス系統															
C730 C770	C-H	CO2消火ライン(PEN#316)	VT-2	4.40	4.40	VT-2								O	-		一部又は全部を気圧により検査 (3-79)

1. 配管 (1/1)		検査間隔延長プログラム														備考					
項目番号	カテゴリー	発電用原子力設備規格 維持規格(2002年改訂版) JSME S NAI-2002 ※		高浜発電所 第3号機検査計画(10カ年)																	
		検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲及び程度	H17年	H18年	H19年	H20年	H21年	H22年	H23年	H24年	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年	
F1.21	F-A	支持構造物														第19回	第20保全	第21保全	第22保全	サイクル	サイクル
	SIS高温側補助注入ライン A, B, C, 共通ライン	VT-3	7. 5%	8. 3	VT-3	7. 7	7. 5%	C 1	共通 1	-	共通 1	-	C 1	-							
	SIS低温側補助注入ライン A, B, C, 共通ライン	VT-3	7. 5%	5. 6	VT-3	7. 5	7. 5%	A 1	-	A 1	共通 1	-	共通 1	-	共通 1	-	共通 1	-	共通 2		
	SIS低温注入ライン A, B, C, 共通ライン	VT-3	7. 5%	5. 9	VT-3	7. 5	7. 5%	A 1	-	A 1	共通 1	-	A 1	-	A 1	-	A 1	-	A 1	(重大事故等クラス2機器) (重大事故等クラス2機器)	

※ : 新規制基準施行(H25年7月)後は、維持規格 JSME S NAI-2008を適用する。

## 検査間隔延長プログラム

2.弁(1/1)

発電用原子力設備規格 維持規格(2002年改訂版) JSME S NAI-2002 ※		高浜発電所第3号機検査計画(10ヵ年)												備考					
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法及び程度	設備数	検査方法及び程度	検査の範囲	H17年	H18年	H19年	H20年	H21年	H22年	H23年	H24年	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年
F1.43	F-A	支持構造物 S1S高溫側低圧注入ライン アライン 光てん／高圧注入ポンプ出ロライン 3V-SI-206 3V-SI-029A 3V-SI-029B	VT-3 に1台の 7.5%	1	VT-3 に1台の 7.5%	類似弁ごと に1台の 7.5%	-	-	-	-	-	-	-	-	3V-SI-206 1	3V-SI-029B 1	3V-SI-029B 1	第22保全サイクル	
																			第23保全サイクル

※ 新規制基準施行(H25年7月)後は、維持規格 JSME S NAI-2009を適用する。

## 検査間隔延長プログラム

発電用原子力設備規格 維持規格(2002年改訂版) JSME S NA1-2002 ※		高浜発電所第3号機検査計画(10カ年)												(備考)(漏えい区分)					
項目番号	カテゴリ	漏えい検査範囲 ライセンス	検査方法	運転圧力又は最高使用圧力 MPa	検査圧力 MPa	検査方法	H17年	H18年	H19年	H20年	H21年	H22年	H23年	H24年	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年
C7.30 C7.50 C7.70	化学体積制御系統						第16回	第17回	第18回	-	第19回	第20保全サイクル	-		第21保全サイクル		第22保全サイクル		
C7.30 C7.50 C7.70	C-H C-充てん／高圧注入ポンプ出ロライン	VT-2	17.76	17.76	VT-2														
C7.30 C7.50 C7.70	安全注入系統																		
C7.30 C7.50 C7.70	C-H 充てん／高圧注入ポンプ出ロ安全注入ライン(1)	VT-2	8.00	8.00	VT-2														(3-4)
C7.10 C7.30 C7.70	主給水系統																		
C7.10 C7.30 C7.70	C-H C-蒸気発生器給水入ロライン	VT-2	5.30	5.30	VT-2														(3-32)
C7.30 C7.70	主蒸気系統																		
C7.30 C7.70	C-H C-蒸気発生器出ロライン	VT-2	5.30	5.30	VT-2														(3-35)

※：新規制基準施行(H25年7月)後は、維持規格 JSME S NA1-2008を適用する。

# クラス3機器供用期間中検査

## 1.余熱除去冷却器(胴側) (1/1)

発電用原刃力設備規格 維持規格(2008年版) JISME S NAI-2008		高圧発電所第3号機検査計画 (10ヵ月)															
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲及び程度	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	H31年	H32年	H33年	H34年
D1.10	D A	脇と板との溶接継手	VT 3	1基の7.5%	4	VT 3	1基の7.5%	1									
F1.44	F A	支持脚	VT 3	1基の7.5%	4	VT 3	1基の7.5%	1									

## 2.容纳容器プレイヤー冷却器(胴側) (1/1)

発電用原刃力設備規格 維持規格(2008年版) JISME S NAI-2008		高圧発電所第3号機検査計画 (10ヵ月)															
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲及び程度	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	H31年	H32年	H33年	H34年
D1.10	D A	脇と板との溶接継手	VT 3	1基の7.5%	4	VT 3	1基の7.5%	1									
F1.44	F A	支持脚	VT 3	1基の7.5%	4	VT 3	1基の7.5%	1									

## 3.原子炉補機冷却水冷却器 (1/1)

発電用原 <sup>イ</sup> 力設備規格 維持規格(2008年版) JSME S NAI-2008		高圧発電所第3号機検査計画 (10ヵ月)																	
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	没偏数	検査方法	検査の範囲及び程度	H254:	H264:	H274:	H284:	H294:	H304:	H314:	H324:	H334:	H344:	備考	
D1.10	D A	胴と <sup>イ</sup> 板との溶接継手	VT 3	1枚の7.5%	8	VT 3	1枚の7.5%	1	第21保全 サイクル	第22保全 サイクル	第23保全 サイクル	第24保全 サイクル	第25保全 サイクル	第26保全 サイクル	–	–	–	–	
F1.44	F-A	支持脚	VT-3	1枚の7.5%	8	VT-3	1枚の7.5%	1	A1	A1	A1	A1	A1	A1	A1	A1	A1	A1	

## 4.非常用ディーゼル発電機清水冷却器 (1/1)

発電用原 <sup>イ</sup> 力設備規格 維持規格(2008年版) JSME S NAI-2008		高圧発電所第3号機検査計画 (10ヵ月)																	
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	没偏数	検査方法	検査の範囲及び程度	H254:	H264:	H274:	H284:	H294:	H304:	H314:	H324:	H334:	H344:	備考	
D1.10	D A	胴と補強板との溶接継手	VT 3	1枚の7.5%	4	VT 3	1枚の7.5%	1	第21保全 サイクル	第22保全 サイクル	第23保全 サイクル	第24保全 サイクル	第25保全 サイクル	第26保全 サイクル	–	–	–	–	
F1.44	F A	取付脚	VT 3	1枚の7.5%	4	VT 3	1枚の7.5%	1	A1	A1	A1	A1	A1	A1	A1	A1	A1	A1	

## 5.非常用ディーゼル発電機潤滑油冷却器 (1/1)

発電用原 <sup>イ</sup> 力設備規格 維持規格(2008年版) JSME S NAI-2008		高圧発電所第3号機検査計画 (10ヵ月)																	
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	没偏数	検査方法	検査の範囲及び程度	H254:	H264:	H274:	H284:	H294:	H304:	H314:	H324:	H334:	H344:	備考	
D1.10	D A	胴と補強板との溶接継手	VT 3	1枚の7.5%	4	VT 3	1枚の7.5%	1	第21保全 サイクル	第22保全 サイクル	第23保全 サイクル	第24保全 サイクル	第25保全 サイクル	第26保全 サイクル	–	–	–	–	
F1.44	F A	取付脚	VT 3	1枚の7.5%	4	VT 3	1枚の7.5%	1	A1	A1	A1	A1	A1	A1	A1	A1	A1	A1	

## 6. 配管 (1/1)

基準用原(ノ)設備規格 維持規格(2008年版) JSME S NAI-2008		高橋発電所第3号機検査計画(10ヵ年)																	
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲及び程度	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	H31年	H32年	H33年	H34年	備考	
D1.20	D A	配管の支持部材取付け溶接継手	VT-3	7.5%	78	VT-3	7.5% 6					第21保全 サイクル	第22保全 サイクル	第23保全 サイクル	第24保全 サイクル	-	第25保全 サイクル	第26保全 サイクル	
F1.31	F-A	原(ノ)ガブリ機合同期水系統	VT-3	7.5%	22	VT-3	7.5% 2							1	1	2	1		
		支持構造物																	
		原(ノ)ガブリ機合同期水系統	VT-3	7.5%	414	VT-3	7.5% 32							4	4	-	8	5	

## 7.原子炉補機冷却水ポンプ(1/1)

発電用原子炉設備規格 維持規格(2008年版) JSME S NAI-2008		高圧発電所第3号機検査計画(10ヵ月)																
項目 番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲 及び精度	検査箇数	検査方法	検査の範囲 及び精度	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	H31年	H32年	H33年	H34年	備考
F1.31	F A	ポンプ台板脚	VT 3	1台の 7.5%	20	VT 3	1台の 7.5%					A1						

## 8.弁 (1/1)

発電用原厂設備規格 維持規格(2008年版) JSME S NAI-2008		高額施設所第3号機検査計画 (10ヵ月)															
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び精度	検査方法	検査の範囲及び精度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	H34年度	備考
		支持構造物															
F1.31	F-A	原子炉補機冷却水系統 3TCV-2342A 3TCV-2342B 3TCV-2342C 3TCV-2342D	VT 3	1台の7.5% 7.5%	4	VT 3	1台の7.5% 1										3TCV 2342A 1
		原子炉補機冷却水系統 3V CC 043 3V CC-044	VT-3	1台の7.5% 7.5%	4	VT-3	1台の7.5% 1										3V CC -043 1

## 9.クラス3機器漏えい検査 (1/2)

		高浜発電所第3号機換熱計画 (10万kW)										(漏えい×2)	
項目番号	カテゴリ	漏えい検査範囲 ライン名稱	検査方法	適用圧力又は 最高使用圧力 MPa	検査方法	H254: H264: H274: H284:	H254: H264: H274: H284:	H294: H304: H314: H324:	H294: H304: H314: H324:	H334: H344:	備考	(漏えい×2)	
D2.30	D-B	使用燃料ビット冷却淨化・燃料検査ビット水移送系統	VT-2	0.10	0.10	VT-2	○						
D2.10	D-B	A-使用燃料ビットポンプ用11ライン	VT 2	0.59	0.59	VT 2	○						(4-1)
D2.30	D-B	B-使用燃料ビットポンプ用11ライン	VT 2	0.59	0.59	VT 2	○						(4-2)
		原子力補機冷却水系統											(4-3)
		A,B,C-原子力補機冷却水ポンプ用11ライン	VT-2	0.31	0.31	VT-2	○						(4-4)
		D,E-原子力補機冷却水ポンプ用11ライン	VT-2	0.31	0.31	VT-2		○					(4-5)
D2.10	D-B	原子力補機冷却水ポンプ用11A供給ライン	VT 2	0.80	0.80	VT 2		○					(4-6)
D2.30	D-B	原子力補機冷却水ポンプ用11B供給ライン	VT 2	0.80	0.80	VT 2		○					(4-7)
		原子力補機冷却水系統											
		A-海水ポンプ用11ライン	VT-2	0.18	0.18	VT-2		○					(4-8)
D2.10	D-B	B-海水ポンプ用11ライン	VT-2	0.18	0.18	VT-2		○					(4-9)
D2.30	D-B	C-海水ポンプ用11ライン	VT 2	0.18	0.18	VT 2		○					(4-10)

## 9.7.2ス3機器清潔度検査 (2/2)

登録用原寸方設備規格 維持規格(2008年版) JSME S NAI 2008		清潔度検査所第3分機検査計画 (10カ月)										備考 (備考欄)(K/J)	
項目番号	カテゴリ	測定用具の検査範囲 ライセンス名	検査方法 測定圧力又は最高使用圧力 MPa	検査方法 検査圧力 MPa	H254: H264: H274: H284:	H294: H304: H314: H324: H334: H344:	H254: H264: H274: H284:	H294: H304: H314: H324: H334: H344:	H254: H264: H274: H284:	H294: H304: H314: H324: H334: H344:	H254: H264: H274: H284:	H294: H304: H314: H324: H334: H344:	
		制御用空気系統											
D2.10 D2.30	D-B	A - 格納容器内制御用空気供給ライン B - 格納容器内制御用空気供給ライン	VT 2	0.66	0.66	VT 2					C		(4-1.1)
		A - 格納容器外制御用空気供給ライン B - 格納容器外制御用空気供給ライン	VT 2	0.66	0.66	VT 2					C		(4-1.2)
D2.10 D2.30	D-B	A - ディーゼル発電機始動用空気系統 B - ディーゼル発電機始動用空気ライ	VT-2	0.66	0.66	VT-2					C		(4-1.3)
		ディーゼル発電機始動用空気系統									C		(4-1.4)
D2.10 D2.30	D-B	A - ディーゼル発電機始動用空気ライ B - ディーゼル発電機始動用空気ライ	VT 2	2.65	2.65	VT 2					C		(4-1.5)
			VT-2	2.65	2.65	VT-2					C		(4-1.6)

# 供用期間中特別検査のうちクリアス1機器Ni基合金使用部位特別検査

## 検査間隔延長プログラム

### 1. 原子炉容器 (1/1)

項目番号	カテゴリ	NISA文書※1 検査対象箇所	高浜発電所第3号機検査計画（3ヵ年）						備考				
			検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲及び程度	H24年	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年
—	—	600系Ni基合金製の上蓋及び底部表面(600系Ni基合金製の各原子炉容器上蓋及び底部管台まわり360°を含む。)											第22保全サイクル
		底部表面(計測用管台)	BMV	100%	50	BMV	100%	50	50				(重大事故等クラス2機器)

※1：平成26年8月6日以降は、「実用発電用原子炉及びその附属施設における破裂を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(原規技発第1408063号(原規制委員会決定))を適用する。

# 供用期間中特別検査のうちク拉斯2管（原子炉格納容器内）特別検査

## 検査間隔延長プログラム

NISA文書※1			高近効率出力第3号機検査計画（10カ月：）												備考					
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	検査用設備及び耗材	検査の範囲及び程度	H21年 第19回	H22年 第20回	H23年 第21回	H24年 第22回	H25年 第23回	H26年 第24回	H27年 第25回	H28年 第26回	H29年 第27回	H30年 第28回	H31年 第29回	H32年 第30回	H33年 第31回	
		電気の耐圧性試験の接続手																		
	抽出ライン（3B）	体積	25%	18箇所	UT	25% 5	2	—									1	1	1	
	丸てんライン（3B）	体積	25%	53箇所	UT	25% 14	2	2	—								5	1	4	（重大事故等クラス2機器）
	再生熱交換器連絡管（3B）																			
	抽出手ライン連絡管	体積	25%	12箇所	UT	25% 3											1	1		
		光てんライン連絡管	体積	25%	12箇所	UT	25% 3										1	1		（重大事故等クラス2機器）

※1：平成26年8月6日以降は、「交付登録用原了か及びその附属施設における破壊を引き起こす危険その他の火傷の解説」(原規技発第1408063号(平成26年8月6日原了火災規制委員会承認))を適用する。

# 原子炉格納容器供用期間中検査

## 1. 原子炉格納容器(1／1)

発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSME S NA1-2008		高浜発電所第3号機検査計画(10万年)										備考					
項目番号	力テゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲及び程度	H29年	H30年	H31年	H32年	H33年	H34年	H35年	H36年	H37年	H38年
E8.10	E-G	機器搬入口圧力保持用ボルト締付け部	VT-4	25%	72	VT-4	25%	18	第22保全サイクル	第23保全サイクル	第24保全サイクル	—	第25保全サイクル	第26保全サイクル	—	第27保全サイクル	第28保全サイクル

重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画（クラス1機器供用期間中検査範囲）

1. 原子炉容器(1/2)

高浜発電所第3号機検査計画				備考
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度
B1. 102	B-A	下部胴の長手溶接継手	体 積	可能範囲 各100%
		上部胴と下部胴との周溶接継手	体 積	5%
B2. 111	B-B	下部胴とトランジションリングとの周溶接継手	体 積	5%
		トランジションリングと下部鍋板との周溶接継手	体 積	5%
B3. 105	B-C	上部胴と上部胴フランジとの溶接継手	体 積	可能範囲 各100%
B3. 10	B-D	冷却材入口管台と胴との溶接継手	体 積	可能範囲 各100%
		冷却材出口管台と胴との溶接継手	体 積	可能範囲 各100%
B3. 20	B-E	冷却材入口管台内面のみの部分	体 積	可能範囲 各100%
B5. 10	B-F	冷却材入口管台とセーフエンドの溶接継手（呼び径100mm以上）	体積及び 表 面	可能範囲 各100%
		冷却材出口管台とセーフエンドの溶接継手（呼び径100mm以上）	体積及び 表 面	可能範囲 各100%
B6. 10	B-G-1	ナット	V T - 1	100%
B6. 30	B-G-1	スタッドボルト	体 積	100%
B6. 40	B-G-1	胴フランジネジ穴のネジ部	体 積	100%
B6. 50	B-G-1	ワッシャ	V T - 1	100%
B7. 10	B-G-2	マーマンカップリング	V T - 1	2.5%

重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画（クラス1機器供用期間中検査範囲）  
1. 屋内容器 (2/2)

高浜発電所第3号機検査計画				備考
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法 及び程度	
G1.10	G-P-1	容器内部	V T-3 全範囲の 各部品部毎 7.5%	
G1.40	G-P-1	上部炉心支持構造物の内部取付け物 下部炉心支持構造物の内部取付け物 炉心内部取付け物	V T-3 V T-3 V T-3 全範囲の 7.5% 全範囲の 7.5% 全範囲の 7.5%	クラス1機器供用期間中検査で管理
G1.50	G-P-2	上部炉心支持構造物 下部炉心支持構造物	V T-3 V T-3 全範囲の 7.5% 全範囲の 7.5%	
B14.10	B-0	制御機器ハウ징の各接続手	体積又は 表面 2.5%	第18回定期にて上蓋取替え実施
B15.10	B-P	圧力保持範囲	V T-2 可能範囲 100%	
F1.41	F-A	支持構造物 支承サポーツブレケット、基礎ボルト	V T-3 2.5%	

重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画（クラス1機器供用期間中検査範囲）  
2. 加圧器(1/1)

高浜発電所第3号機検査計画				備考
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度
B2. 11	B-B	上部頭と上部鏡板との面締手	体 積	5%
		下部頭と下部鏡板との面締手	体 積	5%
B2. 12	B-B	上部頭の長手締手	体 積	各10%
		下部頭の長手締手	体 積	各10%
B2. 13	B-B	上部頭と下部頭との周辺手	体 積	5%
B3. 30	B-D	管台と容器との溶接締手	体 積	2.5%
B3. 40	B-D	管台外面の丸みの部分	体 積	2.5%
管台とセーフエンドの溶接締手 (呼び径100A以上)				クラス1機器供用期間中検査で管理
B5. 40	B-F	加圧器逃がし弁管台		
		加圧器安全弁管台	体積及び表 面	2.5%
		加圧器スプレイ管台		
		加圧器サービス管台		
B7. 20	B-G-2	マンホールの取付けボルト	V T - 1	2.5%
B8. 20	B-H	支持部材の容器への取付け溶接締手 (スカート溶接締手)	表 面	7. 5%
B15. 20	B-P	圧力保持範囲	V T - 2	可能範囲 100%
F1. 41	F-A	支持構造物(スカート、基礎ボルト)	V T - 3	2.5%

重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画（クラス1機器供用期間中検査範囲）  
3. 蒸気発生器（（／＼））

高浜発電所 第3号機検査計画				備考
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	
B2.40	B-B	管板と水室鏡との溶接継手	体 積	検査の範囲及 び頻度 1基の 2.5%
B3.60	B-D	冷却材入口管台の内面のひみの割分、 冷却材出口管台の内面のひみの割分	体 積	1基の 2.5%
B5.70	B-F	冷却材入口管端とセラーフェンンドの溶接継手、 冷却材出口管端とセラーフェンンドの溶接継手 (呼び径10φ以上)	体積及び 表面	第18回にて入口管台の690合金による 補修受付。 第16回にて出口管台のUSPを実施。
B7.30	B-G2	1次側マンホールの取付けガルト	V T - 1	1基の 2.5%
B15.30	B-P	圧力保持範囲	V T - 2	可能範囲 10.0%
F1.41	F-A	支柱構造物 (支持脚、ベースフレート、基礎ボルト)	V T - 3	1基の 2.5%

重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画（クラス1機器供用期間中検査範囲）  
4. 設置(1/3)

高浜発電所 第3号機検査計画				備考
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及頻度
B9.11	B-J	配管の同種金属接続手 (呼び径100A以上)		
		1次冷却材管 (呼び径100A以上) 31IND. A. B. Cループ	体 積	2.5%
		加圧器サーボ管 (呼び径35.60mm)	体 積	2.5%
		加圧器安全弁ライン (B)	体 積	2.5%
		加圧器逃がし弁ライン (B)	体 積	2.5%
		余熱除去ポンプ入口ライン (呼び径25mm) B. Cループ	体 積	2.5%
		SIS警報入ライン (呼び径31.8mm) A. B. Cループ	体 積	2.5%
		SIS低濃度低圧注へライン (B)	体 積	2.5%
		アシスト配管の同種金属接続手 (呼び径100A未満)		
B9.21	B-J	加圧器逃がし弁ライン (B) OVC-Sがんライ (B) 89.10mm) Bループ	表 面	2.5%
			表 面	2.5%

重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画（クラス1機器供用期間中検査範囲）  
4. 配管 (2-3)

高浜発電所 第3号機検査計画				備考	
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及 定期	
B9.21	B-J	配管の同種金属溶接継手 (呼び径100A未満) (Bb. 60-50mm) A. B. Cループ	S I S低温割ほう融注入ライン	表面	2.5%
B9.31	B-J	母管と管台との溶接継手 (呼び径100A以上) A. B. Cループ	1次冷却材管 (Bb. 60-140mm) A. B. Cループ	体積	2.5%
B9.32	B-J	母管と管台との溶接継手 (呼び径100A未満) A. B. Cループ	1次冷却材管 (Bb. 35-63-50mm) S I S低温割低圧注入ライン A. B. Cループ	表面	2.5%
B9.40	B-J	ソケット溶接継手	S I S低温割ほう融注入ライン (Bb. 60-50mm) A. B. Cループ	表面	2.5%

重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画（クラス1機器供用期間中検査範囲）  
4. 設置 (3-3)

高浜発電所第3号機検査計画				備考
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び頻度
B15.50	B-P	圧力保持範囲	V T-2	可能範囲 100%
		支持構造物		
		加圧器サーボ管	V T-3	2.5%
		加圧器逃がし弁ライン	V T-3	2.5%
		余熱除去ポンプ入ロライン B. Cループ	V T-3	2.5%
		C V C S 水循環ライン Bループ	V T-3	2.5%
F1.10	F-A	S I S 離注入ライン A. B. Cループ	V T-3	2.5%
		S I S 低温側離注入ライン A. B. Cループ	V T-3	2.5%
		S I S 低温側離注入ライン A. B. Cループ	V T-3	2.5%

重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画（クラス1機器供用期間中検査範囲）  
5. 一次冷却材ポンプ(1／1)

高浜発電所第3号機検査計画				備考
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度
B6.180	B-G-1	スタッフボルト	体 積	1台の25%
B6.190	B-G-1	フランジ表面	V T - 1	1台の25%
B6.200	B-G-1	ナット	V T - 1	1台の25%
		ワッシャ	V T - 1	1台の25%
B12.20	B-L-2	ケーシングの内表面	V T - 3	1
B15.60	B-P	圧力保持範囲	V T - 2	可能範囲 100%
F1.41	F-A	支持構造物（支持脚、ベースプレート、基礎ガルト）	V T - 3	1台の25%

重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画（クラス1機器供用期間中検査範囲）  
6. 井(1/2)

		高浜発電所第3号機検査計画				
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲 及び程度		備考
		圧力保持用ボルト締付け部 (直径5.0mm以下)				
		加压器安全弁ライン A. B. Cライン 3V-RG-055 3V-RG-056 3V-RG-057	V T - 1	類似#ことにして 1台の25%		
		加压器逃がし弁ライン 3V-RG-054A 3V-RG-054B 3V-RG-054C	V T - 1	類似#ことにして 1台の25%		
		3PCV-455A 3PCV-455B 3PCV-454C	V T - 1	類似#ことにして 1台の25%		
		O V C S 気てんライン ブループ	V T - 1	類似#ことにして 1台の25%		
		3V-CS-233 3V-CS-234				
		余熱除去ポンプ入口ライン B. Cブルーブ 3PQV-420 3PQV-430	V T - 1	類似#ことにして 1台の25%		
		余熱除去ポンプ入口ライン B. Cブルーブ 3V-RH-033A 3V-RH-033B	V T - 1	類似#ことにして 1台の25%		
		S I S 壓注込ライン A. B. Cブルーブ 3V-SI-134A, 136A 3V-SI-134B, 136B 3V-SI-134C, 136C	V T - 1	類似#ことにして 1台の25%		
		S I S 低圧制低圧注込ライン A. B. Cブルーブ 3V-SI-202A, 203A 3V-SI-202B, 203B 3V-SI-202C, 203C	V T - 1	類似#ことにして 1台の25%		
87.70	B-G-2					

## 重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画（クラス1機器供用期間中検査範囲）

高浜発電所第3号機検査計画				備考	
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法及び程度		
B12.50	B-4-2	弁本体の内表面 A. B. Cライン 余熱除ボンブ入口ライン B. Cループ 余熱除去ポンブ入口ライン B. Cループ SIS蓄圧注入ライン A. B. Cループ SIS低過剰圧注水ライン A. B. Cループ B15.70	加圧器安全弁ライン 3V-RC-055 3V-RC-055 3V-RC-057 余熱除ボンブ入口ライン 3PCV-420 3PCV-430 余熱除去ポンブ入口ライン 3V-RH-033A 3V-RH-033B SIS蓄圧注入ライン 3V-SI-134A, 136A 3V-SI-134B, 136B 3V-SI-134C, 136C SIS低過剰圧注水ライン 3V-SI-202A, 203A 3V-SI-202B, 203B 3V-SI-202C, 203C 圧力保持範囲	V T - 3 類似弁ごとに 1 V T - 2 可能範囲 100%	クラス1機器供用期間中検査で管理
F1.41	F-A	支持構造物 A. B. Cライン 加圧器逃がし弁ライン 3V-RC-055 3V-RC-056 3V-RC-057 加圧器逃がし弁ライン 3V-RC-055A 3V-RC-055B 3V-RC-055C 3V-RC-055A 3V-RC-055B 3V-RC-054C 余熱除ボンブ入口ライン B. Cループ 余熱除去ポンブ入口ライン B. Cループ	V T - 3 類似弁ごとに 1台の2.5% V T - 3 類似弁ごとに 1台の2.5%		

**重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画(クラス1機器Ni基合金使用部位特別検査範囲)**

1. 原子炉容器 (1/1)

NRA文書※1				高浜発電所第3号機検査計画	
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	備考
—	—	600系Ni基合金製の上蓋及び底部表面(600系Ni基合金製の各部(燃焼器上蓋及び底部管台まわり360°を含む。))	BMV	100%	クラス1機器Ni基合金使用部位特別検査で管理
		底盤表面(計測用管台)			

※1 : 「公用器皿用炉内及びその附属施設における破壊を引き起こす危険その他の欠陥の解説」(原規技答第1408063号(平成26年8月6日原干力規制委員会決定))

**重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画(クラス2管(原子炉格納容器内)特別検査範囲)**

NRA文書※1			福島第3号機検査計画	備考
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査の範用及び程度 方法	検査の範用及び程度 方法
		電管の耐圧部分の接続継手		
	光伝線(3B)	体積	25%	クラス2管(原子炉格納容器内)特別検査で管理!
	再生熱交換器通絡管(3B)	体積		
	光伝線通絡管	体積	25%	

※1 : 「公用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす危険その他の文脈の解釈」(原規技術第1408063号(平成26年8月6日原力規制委員会決定))

## 重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画(原子炉格納容器供用期間中検査範囲)

## 1. 原子炉格納容器(1/1)

発電用原子力設備規格 維持規格 (2008年版) JSME S NAI-2008		高浜発電所第3号機検査計画 (10ヵ年)										備考					
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲及び程度	H27年	H28年	H29年	H30年	H31年	H32年	H33年	H34年	H35年	H36年
E8.10	E-G	機器機入口圧力保持用ボルト継付け部	VT-4	25%	72	VT-4	25%	18									

重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画  
1. 格納容器スプレイ冷却器管側 (1/1)

発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSME S NA1-2008		高浜発電所第3号機検査計画(10カ年)												備考			
項目番号	カテゴリー	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲及び程度	H27年	H28年	H29年	H30年	H31年	H32年	H33年	H34年	H35年	H36年
C1.10	C-A	管側鏡と管側フランジとの周溶接継手	体積	1基の7.5%	2	UT	1基の7.5%	第21保全サイクル	第22保全サイクル	第23保全サイクル	第24保全サイクル	第25保全サイクル	第26保全サイクル	第27保全サイクル	-	-	-
C1.20	C-A	管側鏡と管側鏡との周溶接継手	体積	1基の7.5%	2	UT	1基の7.5%								A	7.5%	

重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画  
2. 余熱除去冷却器管側 (1/1)

発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSME S NA1-2008				高浜発電所 第3号機検査計画				備考	
項目番号	カテゴリー	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度					
C1.10	C-A	管側胴と管側フランジとの周溶接継手	体積	1基の7.5%					
C1.20	C-A	管側鏡と管側胴との溶接継手	体積	1基の7.5%					
C2.21	C-B	管側入口管台及び管側出口管台と管側胴 との溶接継手	体積及び 表面	7. 5 %					

重大事故等クラス2 機器供用期間中検査計画  
3. 配管 (1/3)

高浜発電所第3号機検査計画(10カ年)												備考						
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲及び程度	後着の範囲	H 27年	H 28年	H 29年	H 30年	H 31年	H 32年	H 33年	H 34年	H 35年	H 36年
C3. 20	C-C	配管の支持部材取付け溶接継手							第21保全サイクル	第22保全サイクル	第23保全サイクル	第24保全サイクル	第25保全サイクル	-	第26保全サイクル	-	第27保全サイクル	
C5. 11	C-F	格納容器再循環サンプ出ロライン (35.60mm) Aライン (格納容器スプレイ系 統)	表面	7. 5%	2	PT	7. 5%		A 1									
		配管の耐圧部分の溶接継手(呼び径1 00Aを超えるもの)																
		格納容器再循環サンプ出ロライン (48.355.60mm) Aライン (格納容器スプレイ系 統)	体積又は 表面	7. 5%	6	PT	7. 5%											
		格納容器スプレイボンブ入口ライ (48.355.60mm) A、Bライン	体積又は 表面	7. 5%	26	PT	7. 5%											
		支持構造物																
		S I S高温側低圧注入ライン Aライン	VT-3	7. 5%	3	VT-3	7. 5%									A 1		
		先でん／高压注入ボンブ入口ライ ン	VT-3	7. 5%	22	VT-3	7. 5%									1		
		原子炉建機冷却水ボンブ出入口ラ イン	VT-3	7. 5%	161	VT-3	7. 5%										5	
		格納容器再循環サンプ出ロライン Aライン (格納容器スプレイ系 統)	VT-3	7. 5%	1	VT-3	7. 5%										A 1	
		格納容器スプレイボンブ入口ライ ン Aライン	VT-3	7. 5%	7	VT-3	7. 5%										A 1	
		格納容器スプレイボンブ出ロライ ン A、Bライン	VT-3	7. 5%	10	VT-3	7. 5%										A 1	
		格納容器スプレイ冷却器出ロライ ン A、Bライン	VT-3	7. 5%	19	VT-3	7. 5%										B 1	
		格納容器スプレイ系余熱除去系 統連絡ライン	VT-3	7. 5%	13	VT-3	7. 5%											
F1. 21		恒設代替低圧注入水ボンブ出ロライ ン	VT-3	7. 5%	21	VT-3	7. 5%										1	
		可搬式代替低圧注入水ボンブ出ロライ ン	VT-3	7. 5%	2	VT-3	7. 5%										1	
		アニラス空気淨化ライン	VT-3	7. 5%	59	VT-3	7. 5%										A 2	

重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画  
3. 配管 (2/3)

高浜発電所第3号機検査計画				備考
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度
C3.20	C-C	配管の支持部材取付け溶接継手 余熱除去ポンプ入口ライン A、Bライン (35.50mm, 35.60mm) 余熱除去ポンプ出口ライン A、Bライン (26.7.40mm)	表面	7. 5 %
			表面	7. 5 %
			表面	7. 5 %
			表面	7. 5 %
			表面	7. 5 %
			表面	7. 5 %
			表面	7. 5 %
			表面	7. 5 %
			表面	7. 5 %
			表面	7. 5 %
C5.11	C-F	1次冷却水管低温側高压注入ライン (39.10mm) 1次冷却水管低温側高压注入ライン (39.10mm) 1次冷却水管低温側高压注入ライン (39.10mm) 1次冷却水管低温側高压注入ライン (39.10mm) 1次冷却水管低温側高压注入ライン (39.10mm)	表面	7. 5 %
			表面	7. 5 %
			表面	7. 5 %
			表面	7. 5 %
			表面	7. 5 %
		配管の耐圧部分の溶接継手(呼び径100φ Aを超える公称肉厚9.5mmを超えるもの) 余熱除去ポンプ入口ライン A、Bライン (35.50mm)	表面	7. 5 %
			表面	7. 5 %
			表面	7. 5 %
		S1 S低温側低圧注入ライン (68.10B, 165.20mm, 267.40mm) 格納容器用保護サンプル出口ライン A、Bライン (4B, 355.60mm)	表面	7. 5 %
			表面	7. 5 %
			表面	7. 5 %

重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画  
3. 計算 (3/3)

高浜発電所第3号機検査計画				備考
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度
C5.21	C-F	配管の耐圧部分の溶接継手 (呼び径50mm以上100mm以下で公称肉厚5mmを超えるもの) SIS低温側ほう酸注入口ライ ン A、B、C、共通ライン 充てん／高压注入ポンプ出口ライ ン (3B, 4B, 89, 10mm)	表面	7.5%
C5.30	C-F	配管の耐圧部分の溶接継手 (ソケット溶接継手) SIS低温側ほう酸注入口ライ ン A、B、Cライン	表面	7.5%
C5.41	C-F	配管の耐圧部分の溶接継手 (呼び径50mmを超える、母管と管台及び母管と枝管) 充てん／高压注入ポンプ出口ライ ン (3B)	表面	7.5%
		支持構造物		
F1.21	F-A	余熱除去ポンフローライン A、Bライン	VT-3	7.5%
		余熱除去ポンプ出口ライ ン A、Bライン	VT-3	7.5%
		SIS低温側低圧注入ライ ン A、B、Cライン	VT-3	7.5%
		SIS低温側ほう酸注入口ライ ン A、B、C、共通ライ ン 充てん／高压注入ポンプ出口ライ ン	VT-3	7.5%
		格納容器再循環サンプル出口ライ ン A、Bライン (余熱除去系統)	VT-3	7.5%

重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画  
4. 格納容器スプレイポンプ(1/1)

		高浜発電所第3号機検査計画(10カ年)												備考						
項目番号	カテゴリー	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲及び程度								第21保全サイクル	第22保全サイクル	第23保全サイクル	第24保全サイクル	第25保全サイクル	第26保全サイクル
							H27年	H28年	H29年	H30年	H31年	H32年	H33年	H34年	H35年	H36年				
C6.10	C-6	ケーシングの溶接継手	表面	1台の7.5%	4	PT	1台の7.5%	1												
F1.43	F-A	ポンプの合板脚	VT-3	1台の7.5%	4	VT-3	1台の7.5%	1												

重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画  
5. 余熱除去ポンプ(1/<sub>1</sub>)

発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSME S NA-2008				高浜発電所第3号機検査計画				備考	
項目番号	カテゴリー	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度					
C6.10	C-6	ケーシングの溶接継手	表面	1台の7.5%					クラス2機器供用期間中検査で管理
F1.43	F-A	ポンプの合板脚	VT-3	1台の7.5%					

重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画  
6. 原子炉補機冷却水ポンプ(1/1)

		高浜発電所第3号機検査計画(10カ年)										備考		
項目番号	カテゴリー	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲及び程度						対象はA、B、C原子炉補機冷却水ポンプ	
							H27年	H28年	H29年	H30年	H31年	H32年	H33年	
F1.43	F-A	ポンプの合板脚	VT-3	1台の7.5%	1	VT-3	1台の7.5%	1	1台の7.5%	1	1台の7.5%	1	1台の7.5%	A 1

**重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画**  
 7. 恒設代替低圧注水ポンプ(1/1)

		高浜発電所第3号機検査計画(10ヵ年)										備考							
項目番号	力テゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲及び程度						第21保全サイクル	第22保全サイクル	第23保全サイクル	第24保全サイクル	第25保全サイクル	第26保全サイクル	第27保全サイクル
							H27年	H28年	H29年	H30年	H31年	H32年	H33年	H34年	H35年	H36年			
F1.43	F-A	ポンプの合板脚	VT-3	1台の7.5%	2	VT-3	1台の7.5%	1						1					

重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画  
8. 井(1/2)

		高浜発電所第3号機検査計画(10カ年)												備考												
項目番号	カテゴリー	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲及び程度	H27年		H28年		H29年		H30年		H31年		H32年		H33年		H34年		H35年		
								第2保全サイクル	第22保全サイクル	第21保全サイクル	第22保全サイクル	第23保全サイクル	第24保全サイクル	第25保全サイクル	第26保全サイクル	-	第25保全サイクル	-	第26保全サイクル	-	第27保全サイクル	-	第27保全サイクル	-		
F1.43	F-A	支持構造物 原子炉構機冷却水ポンプ出入口ロラ イン	格納器スプレイ系統余熱除去系 統運転ライン	類似弁ごとに1台の 7.5%	2	VT-3	類似弁ごとに1台の 7.5%	2	VT-3	類似弁ごとに1台の 7.5%	2	VT-3	類似弁ごとに1台の 7.5%	2	VT-3	類似弁ごとに1台の 7.5%	2	VT-3	類似弁ごとに1台の 7.5%	2	VT-3	類似弁ごとに1台の 7.5%	2	VT-3	類似弁ごとに1台の 7.5%	
		3V-TCV-2312A 3V-TCV-2312B	3V-RH-100 3V-RH-101																							

重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画  
8. 弁(2/2)

		高浜発電所第3号機検査計画				備考
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度		
F1.43	F-A	支持構造物		類似弁ごとに1台の7.5%	クラス2機器供用期間中検査で管理	

重大事故等クラス2機器漏えい検査  
9. クラス2機器漏えい検査(1/4)

発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSME S NA1-2008		高浜発電所 第3号機検査計画(10カ年)												備考 (漏えい区分)		
項目番号	カテゴリ	漏えい検査範囲 ライン名称	検査方法	S A使用時圧力 MPa	検査圧力 MPa	検査方法	H 27年	H 28年	H 29年	H 30年	H 31年	H 32年	H 33年	H 34年	H 35年	H 36年
		化学体積制御系統														
C7.30	C-H	体積制御タンク及び出入ロライン	VT-2	1.4	1.4	VT-2								O		(SA-1)
C7.10	C-H	A-充てん／高压注入ポンプ出ロライン	VT-2	18.8	18.8	VT-2								O		(SA-2)
C7.50	C-H	B-充てん／高压注入ポンプ出ロライン	VT-2	18.8	18.8	VT-2								O		(SA-3)
C7.30	C-H	C-充てん／高压注入ポンプ出ロライン	VT-2	18.8	18.8	VT-2								O		(SA-4)
C7.50	C-H	ほう酵タンク出入口ライン	VT-2	大気圧	水張り	VT-2								O		(SA-5)
C7.10	C-H	ほう酵ポンプ出ロライン	VT-2	0.98	0.98	VT-2								O		(SA-6)
C7.50	C-H	B-充てん／高压注入ポンプ自己冷却ライン(充てん高压注入ポンプ出ロ側)	VT-2	18.8	18.8	VT-2								O		(SA-7)
C7.30	C-H	B-充てん／高压注入ポンプ自己冷却ライン(充てん高压注入ポンプ入ロ側)	VT-2	1.4	1.4	VT-2								O		(SA-8)

重大事故等クラス2機器漏えい検査  
9. クラス2機器漏えい検査(2/4)

発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSME S NAI-2008		高浜発電所 第3号機検査計画(10ヵ年)												備考 (漏えい区分)		
項目番号	カテゴリ	漏えい検査範囲 ライン名称	検査方法	S A使用時圧力 MPa	検査圧力 MPa	検査方法	H 27年	H 28年	H 29年	H 30年	H 31年	H 32年	H 33年	H 34年	H 35年	H 36年
C7.30 C7.50 C7.70	C-H	余熱除去系統														
C7.30 C7.50 C7.70	A-余熱除去ポンプ入口ライン B-余熱除去ポンプ入口ライン	VT-2	4.1	4.1	VT-2									O		
C7.10 C7.30 C7.50 C7.70	A-余熱除去ポンプ出口ライン B-余熱除去ポンプ出口ライン	VT-2	4.1	4.1	VT-2									O		
	燃料取扱用水系統	VT-2	4.1	4.1	VT-2									O		
C7.30 C7.70	C-H	燃料取扱用水タンク出口ライン	VT-2	大気圧	水張り	VT-2								O		
	安全注入系統															
C7.10 C7.30 C7.70	C-H	蓄圧タンク及び出入入口ライン ほう酸注入タンク及び出入入口ライン	VT-2	4.9	4.9	VT-2								O		
C7.30 C7.70	C-H	丸てんノ高压注入ポンプ出口安全注入ライン(2) 格納容器再循環サンプ出口ライン(余熱除去ポンプ側)	VT-2	18.8	18.8	VT-2								O		
			VT-2	4.1	4.1	VT-2								O		

重大事故等クラス2機器漏えい検査  
9. クラス2機器漏えい検査(3/4)

発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSME S MA1-2008		高浜発電所第3号機検査計画(10万年)										備考 (漏えい区分)					
項目番号	カテゴリ	漏えい検査範囲 ライン名称	検査方法	S A使用時圧力 MPa	検査圧力 MPa	検査方法	H27年	H28年	H29年	H30年	H31年	H32年	H33年	H34年	H35年	H36年	
C7.30 C7.50 C7.70	C-H	格納容器スプレーリー系統	VT-2	2.7	2.7	VT-2	○										(SA-18)
A-格納容器スプレーポンプ入ロライン B-格納容器スプレーポンプ入ロライン			VT-2	2.7	2.7	VT-2											(SA-19)
C7.10 C7.30 C7.50 C7.70	C-H	A-格納容器スプレーポンプ出ロライン B-格納容器スプレーポンプ出ロライン	VT-2	2.7	2.7	VT-2											(SA-20)
C7.30 C7.70	C-H	格納容器スプレーポンプ出ロライン	VT-2	2.7	2.7	VT-2											O
格納容器再循環サンプ出ロライン(格納容器スプレイポンプ側)			VT-2	0.35	0.35	VT-2											(SA-21)
C7.30 C7.50 C7.70	C-H	恒設代蓄低圧注水ポンプ入ロライン	VT-2	1.4	1.4	VT-2											(SA-22)
恒設代蓄低圧注水ポンプ出ロライン			VT-2	0.35	0.35	VT-2											(SA-23)
C7.30 C7.50 C7.70	C-H	可搬式代蓄低圧注水ポンプ出ロライン	VT-2	1.55	1.55	VT-2											(SA-24)
換気空調装置系統																	(SA-25)
C7.30 C7.70	C-H	アニュラス空気淨化ライン	VT-2	0.01	0.01	VT-2											(SA-26)
																	(SA-27)

重大事故等クラス2機器漏えい検査  
9. クラス2機器漏えい検査(4/4)

発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSME S MA1-2008		高浜発電所第3号機検査計画(10万年)										備考 (漏えい区分)				
項目番号	カテゴリー	漏えい検査範囲 ライン名称	検査方法	S A使用時圧力 MPa	検査圧力 MPa	検査方法	H27年	H28年	H29年	H30年	H31年	H32年	H33年	H34年	H35年	H36年
C7.10 C7.30 C7.50 C7.70	A、B、C-原子炉補機冷却水ポンプ入口ライン 原子炉補機冷却水ポンプ出口A供給ライン 原子炉補機冷却水ポンプ出口B供給ライン	VT-2	0.98	0.98	VT-2	0.98	0.98	0.98	0.98	0.98	0.98	0.98	0.98	0.98	0.98	(SA-42)
C7.30 C7.70	B-充てん／高圧注入ポンプ自己冷却ライン(原子炉補機冷却水側)	VT-2	0.98	0.98	VT-2	0.98	0.98	0.98	0.98	0.98	0.98	0.98	0.98	0.98	0.98	(SA-43)
	空気系統															(SA-44)
C7.30 C7.70	制御用空気加圧器逃がし弁用供給ライン(1) 制御用空気加圧器逃がし弁用供給ライン(2) アニユラスタンバイ作動用窒素供給ライン	VT-2	0.98	0.98	VT-2	0.98	0.98	0.98	0.98	0.98	0.98	0.98	0.98	0.98	0.98	(SA-45)
	補助給水系統															(SA-53)
C7.30 C7.50 C7.70	燃料取替用水タンク補給用移送ポンプ出口ライン	VT-2	0.98	0.98	VT-2	0.83	0.83	VT-2	0.83	0.83	VT-2	0.98	0.98	0.98	0.98	(SA-40)

重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画  
10.原子炉補機冷却水冷却器胴(1／1)

発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSME S NA1-2008		高浜発電所第3号機検査計画(10カ年)												備考			
項目番号	カテゴリー	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲及び程度	H27年	H28年	H29年	H30年	H31年	H32年	H33年	H34年	H35年	H36年
C1.10	C-A	脛側胴と胴側フランジとの周溶接継手	体積	1基の7.5%	4	UT	1基の7.5%	第21保全サイクル	第22保全サイクル	第23保全サイクル	第24保全サイクル	第25保全サイクル	第26保全サイクル	第27保全サイクル	第26保全サイクル	第27保全サイクル	対象はA、B原子炉補機冷却水冷却器
C3.10	C-C	脣側胴の周溶接継手	体積	1基の7.5%	4	UT	1基の7.5%								A 7.5%		対象はA、B原子炉補機冷却水冷却器
F1.43	F-A	脣と当板との溶接継手	表面	1基の7.5%	4	PT	1基の7.5%								A 1		対象はA、B原子炉補機冷却水冷却器
		支持脚	VT-3	1基の7.5%	4	VT-3	1基の7.5%								A 1		対象はA、B原子炉補機冷却水冷却器

重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画  
1.1. クラス2機器<sup>漏えい検査</sup>(1/2)

		高浜発電所第3号機検査計画(10カ年)												(備考) (漏えい区分)			
項目番号	カテゴリ	漏えい検査範囲 ライン名称		検査方法	S A 使用時圧力 MPa	検査圧力 MPa	検査方法	H 27年	H 28年	H 29年	H 30年	H 31年	H 32年	H 33年	H 34年	H 35年	H 36年
	主給水系統																
C7.10 C7.30 C7.70	A-蒸気発生器給水入口ライン B-蒸気発生器給水入口ライン C-蒸気発生器給水入口ライン			VT-2	8	8	VT-2										
	主蒸気系統																
C7.30 C7.70	A-蒸気発生器出口ライン B-蒸気発生器出口ライン C-蒸気発生器出口ライン			VT-2	8	8	VT-2										
	補助給水系統																
C7.30 C7.70	タービン動捕助給水ポンプ蒸気ライン タービン動捕助給水ポンプ燃料取替用移送ポンプ入ロライン			VT-2	8	8	VT-2										
C7.30 C7.70	タービン動捕助給水ポンプ出ロライン 電動捕助給水ポンプ入ロライン			VT-2	12.3	12.3	VT-2										
C7.30 C7.70	電動捕助給水ポンプ出ロライン 補助給水ポンプ出ロライン 2次系補助給水系統			VT-2	8.6	8.6	VT-2										
C7.30 C7.70	復水タンク給水ライン			VT-2	1.55	1.55	VT-2										

重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画  
1.1. クラス2機器漏えい検査(2/2)

		高浜発電所第3号機検査計画(10カ年)										(備考) (漏えい区分)				
項目番号	カテゴリ	漏えい検査範囲 ライン名称	検査方法	S A 使用時圧力 MPa	検査圧力 MPa	検査方法	H 27年	H 28年	H 29年	H 30年	H 31年	H 32年	H 33年	H 34年	H 35年	H 36年
C7.10 C7.30 C7.50 C7.70	A-H	原子炉種機冷却海水系統 A-海水ポンプ出口ライン(海水ストレーナ入口)	VT-2	0.7	0.7	VT-2							O			
C7.10 C7.30 C7.70	A-H	A-海水ポンプ出口ライン(A原子炉種機冷却海水冷却器海水出入口ライン) A-海水ポンプ出口ライン(B原子炉種機冷却海水冷却器海水出入口ライン)	VT-2	1.2	1.2	VT-2							O			(SA-47)
C7.30 C7.50 C7.70	C-H	B-海水ポンプ出口ライン	VT-2	0.7	0.7	VT-2							O			(SA-48)
C7.30 C7.50 C7.70	C-H	C-海水ポンプ出口ライン	VT-2	0.7	0.7	VT-2							O			(SA-49)
C7.30 C7.50 C7.70	C-H	A,B原子炉種機冷却海水冷却器海水出口ライン	VT-2	0.7	0.7	VT-2							O			(SA-50)
C7.30 C7.70	C-H	C,D原子炉種機冷却海水冷却器海水出口ライン	VT-2	0.7	0.7	VT-2							O			(SA-51)
																(SA-52)

## 長期保守管理方針実施状況総括表

**長期保守管理方針実施状況総括表**

長期保守管理方針※ No.	機器又は系統名	部位と経年劣化事象	活動項目	長期保守管理方針に基づく活動内容		実施時期	第22保全サイクル実施計画	進捗状況※※	( )内は実績を記載
				保全方法を検討する	蒸気発生器の伝熱管の損傷				
1	蒸気発生器	伝熱管の損傷	蒸気発生器の取替を含めた保全方法を検討する。			中長期	-	未実施	
2	原子炉容器	頭部(炉心領域部)の中性子照射脆化	原子炉容器の頭部(炉心領域部)の中性子照射脆化については、蒸気発生器取替を含めた保全方法を検討する。			中長期	-	未実施	
3	ドレン系統配管	母管(流れ加速度型腐食)	配管の腐食(流れ加速度型腐食)については、肉厚測定による実測データに基づき耐震安全今までに、耐震性が確認された後、これを反映した耐震安全性評価を実施する。なお、サポート改造等の設備対策が完了するまでは、減肉傾向の把握およびデータ蓄積を継続してを行い、減肉進展の実測データを反映した耐震安全性評価を実施する。		○	短期	-	未実施	
4		基準地震動による評価が必要な設備	* : ドレン系統配管 基準地震動に対する評価 * 1が必要な全ての機器・経年劣化事象 * 2について、継続して評価を実施する。 * 1: 弾性設計用地震動 Sd-2 ~ Sd-7に対する評価を含む。 * 2: 基準地震動 Sa-1に対する評価結果から評価が厳しいと考えられる機器・経年劣化事象等については、基準地震動 Sa-2 ~ Sa-7に対する評価を実施し、耐震安全性を確認している。			短期	-	済	(第21保全サイクルで実施済) (第22保全サイクルで実施済) 基準地震動 Sd-2 ~ 7に対する評価(弾性設計用地震動 Sd-1による評価を含む)が必要な全ての機器・経年劣化事象について、評価を実施した結果、耐震安全性に問題はないことを確認した。
5	主変圧器	コイル 絶縁低下	主変圧器のコイルの絶縁低下については、主変圧器の取替を実施する。			短期	-	未実施	第23回定期検査時に実施予定